資料3-1

1	取組の柱				ı	ı	1	ı				I	実が	する	機関		I	I		稲			
事	項	主な内容	目標時期	土浦	石岡	能ケ	鹿嶋	潮来	稲敷	かすみ	神栖	行方	鉾田	小美工	美浦	阿見	河内	利根	香取	村敷地方広	茨城	千葉	気象
	具体的な取組			市	市	崎市	市	市	市	市がう	市	市	市	玉市	村	町	田丁	町	市	組域合町	県	県	庁
ハードラ	対策の主な取組			•																			
(1)	洪水を河川内で安全	に流す対策	I	_																			
	①堤防整備	·無堤区間、堤防断面不足区間	H28年度から 実施																		0		
	②波浪対策	・波浪対策対象区間	H28年度から 実施																				
(2)	避難行動、水防活動	」、排水活動に資する基盤等の	の整備																				
	①雨量·水位等の観測 データ及び洪水時の状況 を把握·伝達するための基盤の整備	・雨量、水位、風向風速等の観測データ 及び洪水時の状況を把握・伝達するた めの基盤の整備	引き続き実施																		0		
	②防災行政無線の改良、 防災ラジオ等の配布	・防災無線の整備・改良、防災ラジオ等の配布	H28年度から 実施	•	•	•	•	•	•	0	•	•	0	•	Δ	•	•	•	0				
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水 防資機材等の配備	・水防活動を支援するための新技術を 活用した水防資機材等の配備	H28年度から 実施	•	•	0	•	Δ	0	0	Δ	•	0	0	•	•	0	0	•		0		
	④簡易水位計や量水標、 CCTVカメラ等の設置	・水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置 ・POTEKAの設置	H28年度から 実施	0	•	•	Δ	Δ	•	•	•	Δ	Δ	•	•	•	Δ	Δ	•		0		
	⑤浸水時においても災害 対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装 置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続する ための施設の整備及び自家発電装置等 の耐水化	H28年度から 実施	Δ	Δ	•	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ				
	⑥内水被害危険箇所の対 策	・移動式ポンプの増設等 ・消防車両ポンプの転用	H28年度から 実施	•	•	•	•	0	•	•	•	0	0	•	•	•	Δ	Δ	0		0		
ノフトダ	対策の主な取組 ①	逃げ遅れゼロに向けた迅速が	いつ的確な避難	推行動	のた	めのI	0組							•		•					•		
(1),	広域避難を考慮した	ハザードマップの作成・周知	等																				
	①想定最大規模降雨によ る浸水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	H28年度 H29年度(県)																		•		
	②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの 公表	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュ レーションの公表	H28年度から 実施																		0		
	③広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策 定する	H28年度から 実施	Δ	Δ	•	Δ	0	•	0	•	•	•	•	0	•	•	•	0		•	Δ	0
	④広域避難を考慮したハ ザードマップの作成・周知 等	・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援	H28年度から 実施	•	•	•	•	•	•	0	•	•	•	•	0	Δ	•	•	0		•	Δ	
	a+																						
	⑤まるごとまちごとハザー ドマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う	H28年度から 実施	Δ	Δ	0	•	0	0	0	0	Δ	Δ	0	0	Δ	•	0	0				
	(9)まることまちことハケードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の 促進	・洪水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・最配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する		Ο	Δ	0	•	0	0	0	•	•	•	0	Δ	0	•	0	0		•	0	Δ
	ドマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避 難計画の作成及び訓練の 促進	置に向けた検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対 をとして位置づけ、避難訓練を支援す	実施 H28年度から																		•	0	Δ
(2)	ドマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避 難計画の作成及び訓練の 促進	置に向けた検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援 ・要配信者利用施設において策定してい る避難計画の策定計画の中に水害も対 象として位置づけ、避難訓練等を支援す る	実施 H28年度から																		•	0	Δ
(2)	ドマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の 促進 群群動の作成及び訓練の 促進 び避難動告の発令に着し ①避難動告の発令に着目	置に向けた検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援 ・ 學配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対 参として位置づけ、避難訓練等を支援す ・ 作成に必要な水位情報等の提供 ・ 関東地差、市町村と協同し、策定を支	実施 H28年度から 実施 H28年度から	0	Δ	0	0	0	0	Δ	•	•	•	0	Δ	0	0	0	0				

具体的	的なI	取組の柱												実施	近する	機関									
	事	項	主な内容	目標時期	±	石	龍ケ	鹿	潮	稲	かすれ	神	行士	鉾	小美	美	阿	河中	利	香	稲敷 村敷地 事方	茨	千	気魚	関東
		具体的な取組			浦市	市	崎市	嶋市	来市	敷市	市がう	栖市	市	市	玉市	浦村	見町	内町	根町	市	務は域 合町	城県	葉県	象庁	地整
	(3)	防災教育や防災知調	哉の普及																						
		①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	H28年度から 実施	0	0	•	•	•	•	0	•	•	•	•	0	•	•	•	•		•		•	•
		②水防災に関する説明会 の開催	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく ・実施について検討する	H28年度から 実施	0	0	0	0	Δ	•	•	•	0	•	•	Δ	Δ	0	0	0		•	0	•	Δ
		③教員を対象とした講習会 の実施	-市町村の要請により出前講座等を積極 的に行っていく -実施について検討する	H28年度から 実施	•	Δ	0	0	0	•	Δ	•	0	0	0	Δ	Δ	0	0	0		0	•	•	0
		④小学生を対象とした防災 教育の実施	- 市町村の要請により出前講座等を積極 的に行っていく - 実施について検討する	H28年度から 実施	•	Δ	0	0	0	•	•	•	0	0	•	•	Δ	0	0	0		•	Δ	•	0
		⑤出前講座等を活用した 講習会の実施	・要請により出前講座等を積極的に行っていく	H28年度から 実施	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	•	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		•	Δ	•	0
		⑥プッシュ型の洪水予報等 の情報発信	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信 ・情報入手方法などの周知	H29年度	•	0	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	•	0	Δ	0		0			•
		⑦水位計やライブカメラ等 の情報をリアルタイムで提 供	・ホームページやスマートフォンなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する ・市公式サイトに川の防災情報をリンク付けし情報共有している	H28年度から 実施	0	•	•	•	0	•	•	•	•	•	•	•	•	Δ	Δ	0		•			•
		⑧許可工作物管理者への 防災教育の実施	・操作規則作成に必要な情報の提供及 び支援 ・履行検査における周知	H28年度から 実施	0	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	0	0	0	0	0	•	Δ	Δ	Δ		Δ			0
Г			 洪水氾濫による被害の軽減、 動の実施及び水防体制の強		保の	ための	の水防	方活動	 の取:	組															
		①水防団等への連絡体制 の再確認と伝達訓練の実 施	情報伝達訓練等の実施	H28年度から 実施	•	0	•	0	•	•	•	•	0	0	0	0	0	•	0	0					
		②水防団同士の連絡体制 の確保	・連絡体制の確保	H28年度から 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	•	0	0					
		③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	-国が実施する重要水防箇所等の共同 点検に参加 -人員不足、多くの対象箇所があること などから取り組み方法については、今後 検討していく必要がある。	H28年度から 実施	•	0	0	0	0	0	0	•	•	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0
		④関係機関が連携した実 働水防訓練の実施	- 水防管理団体が行う訓練への参加 - 利根川水系連合水防演習に参加する	引き続き 定期的に実施	•	Δ	•	0	Δ	•	0	•	0	Δ	0	0	0	•	0	0	0	0	0	•	0
		⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指 定を促進	・団員による声かけやコミュニティーFM での募集 ・広報誌やホームページ等で募集してい	引き続き実施	0	Δ	•	0	Δ	•	Δ	•	Δ	0	0	0	0	•	0	0					
		⑥地域の建設業者による 水防支援体制の検討・構 築	・地域の建設業者を組み込んだ水防支援体制の構築	H28年度から 実施	Δ	Δ	•	•	•	•	Δ	•	•	•	•	0	•	0	•	•					
		⑦内水被害危険箇所の把 握及び情報共有	-関係自治区との情報共有	H28年度から 実施	•	Δ	0	•	•	•	•	0	0	•	0	0	0	Δ	0	•		0	Δ		
2. ソ	フトダ	対策の主な取組 ③	一刻も早い生活再建及び社会	会経済活動の[回復を	可能	とする	らため	の排え	水活動	めの取	組													
	(1)		成及び排水訓練の実施 				ı	1			ı		ı	ı	1		1			ı		1	ı		T
		①排水機場・樋門・水門等の 情報共有、排水手法等の検 討を行い、大規模水害を想定 した排水計画(案)を作成	・作成に必要な情報の提供	H28年度から 実施	0	Δ	0	•	•	0	Δ	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		•	Δ	Δ	0
		②排水計画に基づく排水訓練の実施	・関係自治体が実施する訓練への参加	H28年度から 実施	0	Δ	0	•	•	•	Δ	Δ	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		•	Δ	Δ	0
		③内水被害危険箇所の排 水計画(案)の作成	・作成に必要な情報の提供	H28年度から 実施	0	Δ	Δ	0	0	0	Δ	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ	Δ	Δ	Δ
		• m**** • • m**																							

^{●:}実施済み、〇:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外、■:前年度からの変更点

1 1		関東地	整				気象庁							茨城県						(一):対象外またはR2年度 千葉県			
事項	内容	IXIXE	実施期	7		実施期間	_					実施	期間	90,200	T				実施期間	1 ***			
		実施内容	着手	実施	内容	着手 完	H31(R1)年度実	実施	状況 R2年度実績	実施状況	鬼 実施内容	着手		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	着手 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	美
ード対領	の主な取組	1	-				-							1					12.				l l
(1)洪	くを河川内で安全に流す対	対策																					
		・無堤区間	・H29年度	-							・流入7河川における河川改 の実施【継続実施】	:修・過年度より継続実	·H32年度 以降継続	・流入7河川において掘削・築堤・橋梁改築・用地取得等を実	0	・流入7河川において掘削 堤・橋梁改築・用地取得等	築 (実)	・県管理区間では予定なし					
(1	堤防整備	-堤防断面不足区間	·H28年度	_								施	実施	施した		施した							
		·波浪対策対象区間(約14km)	·H28年度 ·H:	32年度																			
(2	波浪対策																						
(2)避	推行動、水防活動、排水活 推行動、水防活動、排水活	↓ 動に資する基盤等の整値	Ė.			-													-				
		・雨量、水位、風向風速等の観 測データ及び洪水時の状況を	·H28年度 ·H	32年度							・雨量、水位、風向風速等の 測データ及び洪水時の状況	観 ・H28年度 を	·H32年度	・CCTVカメラを新設。	0	水位計の増設を実施。	0	・県管理区間に施設なし					
13	雨量·水位等の観測データ及び 水時の状況を把握·伝達するた	把握・伝達するための基盤の	ž.								把握・伝達するための基盤の 備を実施していく。	D整											
8	の基盤の整備																						
7	防災行政無線の改良、防災ラジ 等の配布																						
		・新技術(水のう等)を活用した	-H29年度 -H	22年度							・会後 水防資機材の補充・	追 •H28年度	-H32年度	各出先事務所へ新技術(水の	0	・資機材等の確認を行った	0	・配備予定なし					
(3	水防活動を支援するための新技	資機材等の配備		- 1.2							加等の際には、新技術を活 た水防資機材による配備充	用し		う)を配布し、訓練時の活用に ついて指導を実施		・水防活動等で使用した水 材を補充した。	坊資	7200					
有	を活用した水防資機材等の配備										を図る。												
		・量水標、カメラの設置	·H28年度 ·H	29年度							・カメラの設置	·H28年度		・水位計の増設工事を実施中。 CCTVカメラを設置し画像の配		危機管理型水位計及び簡 河川監視カメラについて、1	易型 〇	・県管理区間で設置予定なし					
	水位計や量水標、CCTVカメラ等 設置													信を実施		19号を踏まえた設置場所 討を実施。	D検						
		・自家発電装置等の耐水化	·H28年度 ·H	22年度							・県庁舎は浸水想定区域外							・県管理施設で予定なし					
(5	浸水時においても災害対応を継 するための施設の整備及び自家		1120-772 11	12-1-1 <u>2</u>							来月日6次小心定匹头/							来自生地政ですたると					
9	等るための施設の金舗及び自然 電装置等の耐水化																						
-		・移動式ポンプの増設等	·H28年度 ·H	28年度							内水被害危険箇所に関して 係機関と情報の共有化を図	で関・H28年度	H32年度	・水害統計調査により、市町村 との情報共有を図った	0	・水害統計調査により、市町 との情報共有を図った	r村 O	・予定なし					
(6	内水被害危険箇所の対策										いく。			COMMON HELD SIG		CON 18 48 74 76 12 71 2							
		99 ± 1.1	+4											#12.0									
		関東地	. 1 1€				気象庁																
東西	中容		1	99		中恢期問						中恢	#0 89	茨城県 	1 1				SP 16: 10 PB	千葉県			
事項	内容	実施内容	実施期	実施	内容	実施期間	H31(R1)年度実	績 実施	状況 R2年度実績	実施状态	兄 実施内容	実施		次	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実
			実施期着手	三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	内容	実施期間着手完	H31(R1)年度実	漬 実施	状况 R2年度実績	実施状态	兄 実施内容	実施着手			実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間 着手 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実
	内容の主な取組 ①逃げ遅れも		実施期着手	三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	内容		H31(R1)年度実	漬 実施	状況 R2年度実績	実施状	兄 実施内容				実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実
ソフト対策		ゼロに向けた迅速かつ的	実施期着手	三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	的容		H31(R1)年度実	漬 実施	状况 R2年度実績	実施状	兄 実施内容				実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実
ソフト対策	の主な取組 ①逃げ遅れ1		実施期 着手 :: 確な避難行動	完了 実施 のための取組	西内容		H31(R1)年度実	実施	状况 R2年度実績	実施状	・想定最大規模降雨による沿	着手	完了 -H29年度	- H31(R1)年度実績	. •	・指定17河川について、見		実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実
ソフト対策 (1)広 ^は	の主な取組 ①逃げ遅れ1 成避難を考慮したハザード 想定最大規模時雨による浸水想	世口に向けた迅速かつ的マップの作成・周知等 「・想定最大規模降雨による浸 規定区域図の公表	実施期 着手 :: 確な避難行動	完了 実施 のための取組	瓦内容		H31(R1)年度実	技 実施	状况 R2年度実績	実施状		着手	完了 -H29年度	- H31(R1)年度実績	. •			1.00.1		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実
ソフト対策 (1)広 ^は	の主な取組 ①逃げ遅れれ 成避難を考慮したハザード	世口に向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 「想定最大規模時期による法) 想定区域図の公表	実施期 着手 :: 確な避難行動	実施 実施のための取組	Ē 内容		H31(R1)年度実	実施	状况 R2年度実績	実施状	・想定最大規模降雨による沿	着手	完了 -H29年度	- H31(R1)年度実績	•	・指定17河川について、 見 及び新規公表を実施	直し	・県管理区間での予定無し		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実
(1)広 [‡]	の主な取組 ①逃げ遅れ1	世口に向けた迅速かつ的マップの作成・周知等 「・想定最大規模降雨による浸 規定区域図の公表	実施期 着手 :: 確な避難行動	実施 実施のための取組	5内容		H31(R1)年度実	実施	状况 R2年度実績	実施状	- 想定量大規模降雨による別 想定区域図の公表	着手 浸水 ・H29年度	完了 •H29年度	- H31(R1)年度実績	•	・指定17河川について、 見 及び新規公表を実施	直し	1.00.1		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実
ソフト対策 (1)広 ^は 「1 「1 「2 (2	の主な取組 ①逃げ遅れ1 成避難を考慮したハザード 想定最大規模時雨による浸水想	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大頻模降雨による浸 想定区域図の公表 ・想定長大頻模降雨による忍・	実施期 着手 :: 確な避難行動	実施 実施のための取組	巨内容		H31(R1)年度実	実施	状況 R2年度実績	実施状	- 想定量大規模降雨による別 想定区域図の公表	着手 浸水 ・H29年度	完了 •H29年度	H31(R1)年度実績 - 指定17河川について、見直し 及び新規公表を実施 - 氾濫シミュレーションの策定に	•	・指定17河川について、見及び斬規公表を実施・ ・氾濫シミュレーションの策	直し	・県管理区間での予定無し		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実
ソフト対策 (1)広 ^は 「1)	の主な取組 ①逃げ遅れ1 或避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による忍水想	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模障所による浸 想定区域図の公表 ・想定最大規模障所による氾 ・20で最大規模障所による氾 シミュレーションの公表	実施期 着手 :: 確な避難行動	完了 完了 のための取組 28年度 30年度		着手 完	H31(R1)年度実				・想定最大規模降雨による注 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討	着手 -H29年度 -H28年度	完了 ·H29年度 ·H30年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討	•	・指定17河川について、見 及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策 向けた検討	直し ●	・県管理区間での予定無し・県管理区間での予定無し	着手 完了	H31(R1)年度実績			
/フト対策 (1)広 (1)広 (3) (3)	の主な取組 ①逃げ遅れ1 及避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 起立最大規模降雨による氾濫 起立し一ションの公表	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模障所による浸 想定区域図の公表 ・想定最大規模障所による氾 ・20で最大規模障所による氾 シミュレーションの公表	実施期 着手 :: 確な避難行動	完了 完了 のための取組 28年度 30年度		着手 完	T H31(R1)年度実 了 ・現窓川・小貝川広域避 ・現場において支援作	種検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)		・想定最大規模降雨による3 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診 ・作成に必要な情報の提供、 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を	着手 ※ ・	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H32年度	・指定17河川について、見直し 及び新規公表を実施 ・氾濫シュュレーションの策定に 向けた検討 ・市町村の広域避難計画策定で 支援した・広域避難計画検討ワーキンク		・指定17河川について、見及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策向けた検討 ・市町村の広域避難計画第 支援した。 「広域避難計画検討一・ 「広域避難計画検討一・	直し●	・県管理区間での予定無し	着手 完了	H31(R1)年度実績		内閣府「首都圏における大 水害広域避難検討会」で 計・情報収率	大規での
ソフト対策 (1)広 (3) (3) (3)	の主な取組 ①逃げ遅れ1 或避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による忍水想	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時雨による浸 想定区域図の公表 ・想定最大規模時雨による浸 ・想定以図の公表 ・・作文に必要な情報の提供及	実施期 着手 :: 確な避難行動	完了 東施 のための取組 28年度 10年度 10年度		着手 完	了 H31(R1)年度実	種検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・担定最大規模降雨による分 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診 ・作成に必要な情報の提供、 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を するに当たっての課題等をま	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H32年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・市町村の広域避難計画策定を、広域避難計画検討ワーキングループを設置し、「大規模水等時における成連難整要で		・精変17河川について、見 及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策 向けた検討 ・市町村の広域避難計画 支援した・ に収壊避難計画検討つ乗り グループを設置し、「大規等	直し ● 定を ● シグルガガ	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	H31(R1)年度実績	ē	内閣府「首都圏における人が	大規での検
ソフト対策 (1) 広ゴ 原 原 の の の の の の の の の の の の の の の の の	の主な取組 ①逃げ遅れ1 或避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による浸水想 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 広域避難計画の策定	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模降雨による浸 想定区域図の公表 ・・想定最大規模降雨による浸 ・で成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動	実施 完了 実施 のための取組 28年度 30年度 - 作成に必要な び策定を支援		着手 完	T H31(R1)年度実 了 ・現窓川・小貝川広域避 ・現場において支援作	種検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・想定最大規模降雨による別 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供、 策定を支援 ・市町行が広域避難計画を するに当たっての課題等を したカイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供)	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H32年度 -H29年度	・指定17河川について、見直し 及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に 向けた検討 ・市断村の広域避難計画策定を 支援した・・広域避難計画検討ワーキンク グループを設定し、大規模が		・精変17河川について、見 及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策 向けた検討 ・市町村の広域避難計画 支援した・ に収壊避難計画検討つ乗り グループを設置し、「大規等	直し ● 定を ● シグルガガ	・県管理区間での予定無し・県管理区間での予定無し	着手 完了	度・内閣府「首都圏における大の 様水害広域避難検討会」での 検討情報収集 ・上記閣検討会受けた庁内 計組練の設置及び検討情報 ・上記閣検の設置及び時計情報	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	内閣府「首都圏における大 大水舎広域避難検討会」で 上記調体的をそ受けた庁 指継板の設置及び検討・1名大 別閣庁(首都圏の設置及び検討・1名大	大規の検報を表現している。
ソフト対策 (1) 広は (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 広域避難計画の策定	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模降雨による浸 想定区域図の公表 ・・想定最大規模降雨による浸 ・で成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動	完了 東施 のための取組 28年度 30年度 30年度 - 作成に必要な び策定を支援		着手 完	T H31(R1)年度実 了 ・現窓川・小貝川広域避 ・現場において支援作	種検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・担定最大規模降雨による分 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診 ・作成に必要な情報の提供、 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を するに当たっての課題等をま	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H32年度 -H29年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・ 市町村の広域避難計画策定を支援した、広域避難計画検討ワーキングループを設置し、「大規模水等時における機能を対しては必要を表現した。		・指定17河川について、見及び新規公表を実施 ・売ごとミュレーションの策 向けた検討 ・売買村の広域避難計画・ を担した・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	直し ● 定を ● シグルガガ	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	度 ・内閣府「首都圏における大郎 様水帯広域速建検討会」での 検討「精報なを受けた庁特 対域の関連及び検討「情報収 後、内閣府「首都圏における大規 検対・情報収集とを受けた庁特 検索と成場が「情報収集	ē · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	内閣府「首都圏における大 水害広域避難検討会と 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の	大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大の、検
ソフト対策 (1) 広北 (3) (3) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード、 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 広域避難計画の策定	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模降雨による浸 想定区域図の公表 ・・想定最大規模降雨による浸 ・で成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動 〈 ・	完了 東施 のための取組 28年度 30年度 30年度 - 作成に必要な び策定を支援		着手 完	T H31(R1)年度実 了 ・現窓川・小貝川広域避 ・現場において支援作	種検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・想定最大規模降雨による別 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供、 策定を支援 ・市町行が広域避難計画を するに当たっての課題等を したカイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供)	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H32年度 -H29年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・ 市町村の広域避難計画策定を支援した、広域避難計画検討ワーキングループを設置し、「大規模水等時における機能を対しては必要を表現した。		・指定17河川について、見及び新規公表を実施 ・売ごとミュレーションの策 向けた検討 ・売買村の広域避難計画・ を担した・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	直し ● 定を ● シグルガガ	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	度 ・内閣府「首都圏における大の 様水帯広域連種検討会」での 技計情報収集 ・上記閣検討会での 対対機のの復恵が検討情報 ・内閣府「首都圏における大り 様本帯広域連種検討会」での 検討情報な 検対情報な	ē · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	内閣府「首都圏における大 大書広域避難検討会」で お計・情報収集 上記国検討をを受けた庁 指数級の設置及び検討・情 大小書広域避難検討会」で 計・情報収集	大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大の、検
ソフト対策 (1) 広ま (1) 広ま (3) (3)	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード・ 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による浸水想 のは図の公表 地定最大規模降雨による氾濫 ユミュレーションの公表 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模降雨による浸 想定区域図の公表 ・・想定最大規模降雨による浸 ・で成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動 〈 ・	完了 東施 のための取組 28年度 30年度 30年度 - 作成に必要な び策定を支援		着手 完	T H31(R1)年度実 了 ・現窓川・小貝川広域避 ・現場において支援作	種検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・想定最大規模降雨による別 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供、 策定を支援 ・市町行が広域避難計画を するに当たっての課題等を したカイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供)	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H32年度 -H29年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・ 市町村の広域避難計画策定を支援した、広域避難計画検討ワーキングループを設置し、「大規模水等時における機能を対しては必要を表現した。		・指定17河川について、見及び新規公表を実施 ・売ごとミュレーションの策 向けた検討 ・売買村の広域避難計画・ を担した・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	直し ● 定を ● シグルガガ	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	度 ・内閣府「首都圏における大郎 様水帯広域速建検討会」での 検討「精報なを受けた庁特 対域の関連及び検討「情報収 後、内閣府「首都圏における大規 検対・情報収集とを受けた庁特 検索と成場が「情報収集	ē · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	内閣府「首都圏における大 水害広域避難検討会と 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の	大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大
ソフト対策 (1) 広ま (1) 広ま (3) (4) (5)	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 広域避難計画の策定 広域避難を考慮したハザードマッ の作成・周知等	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模降雨による浸 想定区域図の公表 ・・想定最大規模降雨による浸 ・で成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動 〈 ・	完了 東施 のための取組 28年度 30年度 30年度 - 作成に必要な び策定を支援		着手 完	T H31(R1)年度実 了 ・現窓川・小貝川広域避 ・現場において支援作	種検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・想定最大規模降雨による別 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供、 策定を支援 ・市町行が広域避難計画を するに当たっての課題等を したカイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供)	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度	- 指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 - 氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 - 市町村の広域避難計画策定を支援した。 - 広域避難計画検討ワーキンクグループを設定し、大規模水 書時における広域避難策定が、 イビニケールのは成立、大規模、 1 指定17河川の浸水想定区域 図の提供		・指定17河川について、見 及び新規公表を実施 ・児底シミュレーションの策 向けた検討 ・市町村の広域避難計画領 支援は流域避難計画検討ワー規 ・環境に対して、 ・ ・ ・ 市場では、 ・ 市場では、 の で の に の に の に の に の に の に の に の に の に	虚し ● 定を ● ング 水ガガ 乙城 ●	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	度 ・内閣府「首都圏における大郎 様水帯広域速建検討会」での 検討「精報なを受けた庁特 対域の関連及び検討「情報収 後、内閣府「首都圏における大規 検対・情報収集とを受けた庁特 検索と成場が「情報収集	ē · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	内閣府「首都圏における大 水害広域避難検討会と 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の 大部島の	大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大で、大
ソフト対策 (1) 広ま (1) 広ま (3) (4)	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード・ 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による浸水想 のは図の公表 地定最大規模降雨による氾濫 ユミュレーションの公表 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時間による浸り 想定区域図の公表 ・想定量大規模時間による泥シシミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及、策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動 (完了 東施 のための取組 28年度 30年度 30年度 52年度 ・作成に必要な び策定を支援 29年度		着手 完	す度 ・鬼怒川・小貝川広域避 会に参加 ・現時点において支援作 じていない。(銚子)	種検討 (業は生 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・想定最大規模降雨による別 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検討 ・作成に必要な情報の提供、 策定を支援 ・市町行が広域避難計画を するに当たっての課題等を したカイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供)	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度	- 指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 - 氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 - 市町村の広域避難計画策定を支援した。 - 広域避難計画検討ワーキンクグループを設定し、大規模水 書時における広域避難策定が、 イビニケールのは成立、 ・ 指定17河川の浸水想定区域 図の提供		・指定17河川について、見 及び新規公表を実施 ・児底シミュレーションの策 向けた検討 ・市町村の広域避難計画領 支援は流域避難計画検討ワー規 ・環境に対して、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 市 の に 成 の に を が し 、 に を が り に り に り 、 に り に り 、 に り に り 、 に り に り	虚し ● 定を ● ング 水ガガ 乙城 ●	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	度・内閣府「首都圏における大の 様水害広域避難検討会」での 検討・情報収集・ ・上記間検討金を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 ・内閣府「意図組検討会」での 検討・情報度・ ・人間原作・選組機材対会」での 検討・情報度・ ・上記間検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	是 検 □ □ ☆ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	内閣府「首都圏における大 水害広域避難検討会とで 小書広域避難検討会を 上記国検討会を 大部に前線収集 上記国検討会を ・記国検討会を受けた庁 ・記国検討会を受けた庁 ・記国検討会を受けた庁 ・記国検討会を受けた庁 ・記国検討をを受けた庁 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	大で、内積
ノフト対策 (1) 広 (1) 広 (3) (4) (5) (6) (6) (7) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード・ 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による浸水想 のは図の公表 地定最大規模降雨による氾濫 ユミュレーションの公表 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模降雨による浸が 地定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による浸が 地定区域図の公表 ・・想定最大規模降雨による氾 シミュレーションの公表 ・・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動 (完了 東施 のための取組 28年度 30年度 30年度 52年度 ・作成に必要な び策定を支援 29年度		着手 完	中域	理検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・想定量大規模降雨による分割を区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診・作成に必要な情報の提供、策定を支援・市町村が広域避難計画をするに当たっての課題等を要したガイドラインを作成・作成に必要な情報の提供人策定を支援	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 ・市町村の広域避難計画策定・支援した ・広域避難計画を対し、「大規模な、「大規模な、「大規模な、「大規模な、「大規模な、「持度で、「大規模な、「持定「フ河川の浸水処定区域図の提供 ・市町村担当課への説明会開 ・・市町村担当課への説明会開 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・指定17河川について、見及び新規公表を実施 ・ 心悪シミュレーションの策 向けた検討 ・ 市町村の広域 避難計画・ ・ 市町村の広域 選替計画・ ・ 市町村25回回、「大味料 ・ 市町村25回回、「大味料 ・ 市町村25回回、「大味料 ・ 市町村担当課への説明を ・ 市町村担当課への説明が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	産に ○ 定を ● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了		是 校 Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q Q	内閣府「首都圏における大 大学医に増進難検討会」で 計・情報収票 上記国検討会を受けた庁 内閣府「首都圏における大 大等医域避難検討会で 上記国検討を受けた庁 情報収票 上記国検討を受けた庁 情報機の設置及び検討・情 連載機の設置及び検討・情 立 連載機の設置及び検討・信 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の	大便の 庁
(1) 広ず (1) 広ず (1) 広ず (2) シ (3) フ (8) 百 (8) 百 (の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード、 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による浸水想 思立ユレーションの公表 は減避難計画の策定 広域避難計画の策定 は成避難を考慮したハザードマップ 情 拡充 要配慮者利用施設の避難計画 要配慮者利用施設の避難計画	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時間による浸り 想定区域図の公表 ・想定量大規模時間による泥シシミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及、策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動 (完了 東施 のための取組 28年度 30年度 30年度 52年度 ・作成に必要な び策定を支援 29年度		着手 完	ア H31(R1)年度実 ア ・鬼怒川・小貝川広域社会に参加・現時点において支援作じていない。(終子)	理検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・想定量大規模降雨による分割を区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診・作成に必要な情報の提供、策定を支援・市町村が広域避難計画をするに当たっての課題等を要したガイドラインを作成・作成に必要な情報の提供人策定を支援	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度	- 指定17河川について、見直し 及び新規公表を実施 - 氾濫シミュレーションの策定に 向けた検討 - 市町村の広域避難計画策で 支払いる機能計画検討ワーキンク がよいた域避難計画検討ワーキンク がよいた域避難計画検討のキングループを改立は避難策定 ・ 指定17河川の浸水想定区域 図の提供 - 市町村担当課への説明会開 ・ 連難確保計画の策定等に関		・指定17河川について、見及び新規公表を実施 ・児産シミュレーションの策 向けた検討 ・市町村の広域避難計画第 支援して、大成域避難計画は、「大規算 等時における企成は多。」 ・企業17河川の浸水想定 ・の提供 ・市町村担当課への説明を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	産に ○ 定定 ● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	使・内閣府「首都圏における大規模が害広域型整核計会では 技術・電気型整核計会では 技術・電気型整核計会での 技術・情報収置を必検計・情報 は、内閣府「首都圏における大規模・書店の製造及必検計・情報 技術・書店製造検討会での 技計・情報収集を受けた庁内 計組織の設置及び検計・情報 技術・書店域型検討会での 技計・情報収集を受けた庁内 計組織の設置及び検計・情報 は、力量を受けた庁内 計組織の設置を受けた庁内 計組織の設置を受けた庁内 計組織の設置を受けた庁内 計画の設置を受けた庁内 が表現した。 第二十支	 2	内閣府「首都圏における大 水害に場理難検討会を受ける。 上記国検討を受けるを 中別原行首都圏における大 計・情報収集 上記国検討会を受けた庁 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	大での「内積 大での「内積 野筋管型」 「野筋管型」 「野筋管型」 「野筋管型」
(1)広ず (1)広ず (1)広ず (2) (3) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード、 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定 の作成・周知等 まるごとまちごとハザードマップ 優・拡充 要配慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時間による浸 想定区域図の公表 ・想定最大規模時間による浸 がシミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動 (完了 東施 のための取組 28年度 30年度 32年度 ・作成に必要な び策定を支援 29年度		着手 完	中域	理検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・想定量大規模降雨による分割を区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診・作成に必要な情報の提供、策定を支援・市町村が広域避難計画をするに当たっての課題等を要したガイドラインを作成・作成に必要な情報の提供人策定を支援	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度	- 指定17河川について、見直し 及び新規公表を実施 - 氾濫シュレーションの策定に 向けた検討 - 市町村の広域避難計画策定と - 広域避難計画検討ワーキンク ケループを設置し、「大規模水 等時における医し、「大規模水 等時における医し、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 ・ 心域避難計画検討ワーキンク ・ 市町村担当課への説明会開 ・ ・ 市町村担当課への説明会開 ・ ・ 連難権保計画の東定等等に関い 配置機能保計画の東定等等に関い 配置機能保計画の東定等等に関い 所能(県内か所で開催)		・	産に ○ 定定 ● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	世界 (RT)年度実績 (中国) (RT)年度実績 (中国) (RT)年度実績 (中国) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT	 2	内閣府「首都圏における大水・ 水・書店機関係 上記間線対象を受けます。 上記間線対象を受けます。 内閣府「首都圏における大水・書店地間線が おお・情報収集 上記間線対象を受けた庁・ 超離の設置及び検討・情 を対象に要配慮者判制能 本を対象に要配慮者判制能 は 本を対象に要配慮者判制能 の同行前防災罪令を実施。「作 を対象では、「係る「 の同行前防災罪令を実施」「 を対象では、「係る「 の同行前防災罪令を実施」「 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大での 内内線 野筋管ROIT 野筋管ROIT 野筋管ROIT 対抗
フト対策 (1)広ず (1)広ず (1)広ず (2) (2) (3) (4) (4) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード、 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による浸水想 思立ユレーションの公表 地域避難計画の策定 広域避難計画の策定 は成避難を考慮したハザードマップ 情 拡充 要配慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時間による浸 想定区域図の公表 ・想定最大規模時間による浸 がシミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動 (完了 東施 のための取組 28年度 30年度 32年度 ・作成に必要な び策定を支援 29年度		着手 完	中域	理検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・想定量大規模降雨による分割を区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診・作成に必要な情報の提供、策定を支援・市町村が広域避難計画をするに当たっての課題等を要したガイドラインを作成・作成に必要な情報の提供人策定を支援	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度	- 指定17河川について、見直し 及び新規公表を実施 - 氾濫シュレーションの策定に 向けた検討 - 市町村の広域避難計画策定と - 広域避難計画検討ワーキンク ケループを設置し、「大規模水 等時における医し、「大規模水 等時における医し、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 ・ 心域避難計画検討ワーキンク ・ 市町村担当課への説明会開 ・ ・ 市町村担当課への説明会開 ・ ・ 連難権保計画の東定等等に関い 配置機能保計画の東定等等に関い 配置機能保計画の東定等等に関い 所能(県内か所で開催)		・	産に ○ 定定 ● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	世界 (RT)年度実績 (中国) (RT)年度実績 (中国) (RT)年度実績 (中国) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT	 2	内閣府「首都圏における大水・ 水・書店機関係 上記間線対象を受けます。 上記間線対象を受けます。 内閣府「首都圏における大水・書店地間線が おお・情報収集 上記間線対象を受けた庁・ 超離の設置及び検討・情 を対象に要配慮者判制能 本を対象に要配慮者判制能 は 本を対象に要配慮者判制能 の同行前防災罪令を実施。「作 を対象では、「係る「 の同行前防災罪令を実施」「 を対象では、「係る「 の同行前防災罪令を実施」「 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大での 内線 規の 保証 野豚 医型 III が 原 Time Time Time Time Time Time Time Time
フト対策 (1)広は (1) 広は (2) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	の主な取組 ①逃げ遅れ1 及避難を考慮したハザード・ 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 広域避難を考慮したハザードマッ の作成・周知等 まるごとまちごとハザードマップ 情 拡充 要配慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進 ハザードマップポータルサイトを 用した周知サポート、地図情報の 用	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模降雨による浸) 地定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による浸) ・想定以図の公表 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動 (完了 東施 のための取組 28年度 30年度 32年度 ・作成に必要な び策定を支援 29年度		着手 完	中域	理検討 () ・令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	女生じ	・想定量大規模降雨による分割を区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診・作成に必要な情報の提供、策定を支援・市町村が広域避難計画をするに当たっての課題等を要したガイドラインを作成・作成に必要な情報の提供人策定を支援	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度	- 指定17河川について、見直し 及び新規公表を実施 - 氾濫シュレーションの策定に 向けた検討 - 市町村の広域避難計画策定と - 広域避難計画検討ワーキンク ケループを設置し、「大規模水 等時における医し、「大規模水 等時における医し、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 を関い、「大規模水 ・ 心域避難計画検討ワーキンク ・ 市町村担当課への説明会開 ・ ・ 市町村担当課への説明会開 ・ ・ 連難権保計画の東定等等に関い 配置機能保計画の東定等等に関い 配置機能保計画の東定等等に関い 所能(県内か所で開催)		・	産に ○ 定定 ● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	世界 (RT)年度実績 (中国) (RT)年度実績 (中国) (RT)年度実績 (中国) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT) (RT	 2	内閣府「首都圏における大水・ 水・書店機関係 上記間線対象を受けます。 上記間線対象を受けます。 内閣府「首都圏における大水・書店地間線が おお・情報収集 上記間線対象を受けた庁・ 超離の設置及び検討・情 を対象に要配慮者判制能 本を対象に要配慮者判制能 は 本を対象に要配慮者判制能 の同行前防災罪令を実施。「作 を対象では、「係る「 の同行前防災罪令を実施」「 を対象では、「係る「 の同行前防災罪令を実施」「 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大で 庁情報 大切の 検報 野筋管保(ROT)対 野筋管保(ROT)対 の 検報 日設理 目 いまか (ROT)対 の 検報 日 設定 日 いまか (ROT)対 の (ROT)対 の (ROT)対 の (ROT)が (ROT)
プラング (1) 広は (1) 広は (1) 広は (2) (2) (3) (4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード、 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定 の作成・周知等 まるごとまちごとハザードマップ 優・拡充 要配慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時雨による浸) 地定区域図の公表 ・想定最大規模時雨による浸) ・想定以図の公表 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 ::	表記 実施 のための取組 28年度 30年度 32年度 ・作成に必要な び策定を支援 29年度	情報の提供およ	着手 完	F度 ・鬼怒川・小貝川広域社会に参加・現時点において支援作じていない。(熱子) ・悪配慮者能秘の避難(法院・研究) ・悪配慮者能秘の避難(法院・研究) ・悪配慮者能秘の避難(法院・研究) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動)	種検討 (・ 令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	正生じ △	・想定最大規模降雨による分 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診 ・作成に必要な情報の提供 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を するに当たっての課題等を したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・氾濫シュュレーションの策定に向けた検討 ・市町村の広域避難計画策定で支援した。・広域避難計画後計ワーキングループを設置し、「大規模力・インループを設置し、「大規模力・大型、「大規模力・大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、関の提供 ・・市町村担当課への説明会開 ・・通難体保計画の策定等に関明を解析を対象の財産の関係を計画を対象が表現を対象が表現を対象が表現を対象が表現を対象がある。		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	直し	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	度 (内閣府「首都圏における大の 模水帯広域避難検討会」での 検討・情報収集・ ・上記閣検の設度及び検討・情報 ・上記閣検の設度及び検討・情報 ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の 検討・情報収 ・対制解析・動物における大の 検討・情報の設置及び検討・情報 ・上記閣検討会を受けた「庁内 対本 ・ 本 第一を対象・変配度者利用の の避難計画の作成に係る管 者向けの間景を実施。 市町村防災課長や担当者にが ・ と記録をも応放は ・ は知会や施放は ・ は知会や施放は ・ は知会を対象を提出者にが ・ は知会や施放は ・ は知会や施放は ・ は知会や施放は ・ は知会や施放は ・ は知会や施放は ・ は知会・ は知会・ はいます。		内閣府「首都圏における大 水害広域避難検討会を受ける大 ・情報収集 上記国検討をを受けた ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大	大で 庁情報 大切の 検報 野筋管保(ROT)対 野筋管保(ROT)対 の 検報 日設理 目 いまか (ROT)対 の 検報 日 設定 日 いまか (ROT)対 の (ROT)対 の (ROT)対 の (ROT)が (ROT)
ノフト対策 (1) 広は (2) 選挙 (2) 選挙 (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	の主な取組 ①逃げ遅れ1 及避難を考慮したハザード・ 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 広域避難を考慮したハザードマッ の作成・周知等 まるごとまちごとハザードマップ 情 協充 要配慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進 ハザードマップボータルサイトを 用した周知サポート、地図情報の 用	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模降雨による浸) 地定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による浸) ・想定以図の公表 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 ::	表記 実施 のための取組 28年度 30年度 32年度 ・作成に必要な び策定を支援 29年度	情報の提供およ	着手 完	F度 ・鬼怒川・小貝川広域社会に参加・現時点において支援作じていない。(熱子) ・悪配慮者能秘の避難(法院・研究) ・悪配慮者能秘の避難(法院・研究) ・悪配慮者能秘の避難(法院・研究) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動) ・悪配慮者能秘の避難(活動・の活動)	種検討 (保計 いて、 4 いっぱい () いっぱい	・ 令和2年度の支援作業 ていない水戸・銚子)	は生じ △	・想定最大規模降雨による分 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診 ・作成に必要な情報の提供 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を するに当たっての課題等を したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H32年度 -H32年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・氾濫シュュレーションの策定に向けた検討 ・市町村の広域避難計画演定で支援した。・広域避難計画演定で支援した。・広域避難計画後計で、大規模方グループを設置し、「大規模方グループを設置し、「大規模方グループを設置し、「大規模方が上では、「大規模方が上では、「大規模方が上では、「大規模方が上では、「大規模方が上では、「大規模方」と「大規模技」と「大規模方」と「大規模方」と「大規模方」と「大規模方」と「大規模方」と「大規模方」と「大規模方」と「大規模方」と「大規模技術技術技術を「大規模技術が、「大規模技術が、対域が、「大規模技術が、「大規模技術が、対域が、「大規模技術が、「大規模技術が、対域が、対域が、「大規模技術が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	虚し ●	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	度 (内閣府「首都圏における大の 模水帯広域避難検討会」での 検討・情報収集・ ・上記閣検の設度及び検討・情報 ・上記閣検の設度及び検討・情報 ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の 検討・情報収 ・対制解析・動物における大の 検討・情報の設置及び検討・情報 ・上記閣検討会を受けた「庁内 対本 ・ 本 第一を対象・変配度者利用の の避難計画の作成に係る管 者向けの間景を実施。 市町村防災課長や担当者にが ・ と記録会も ・ おいました。 ・ といました。 ・ といました。 ・ といました。 ・ おいました。 ・ といました。 ・ といました。 ・ おいました。 ・ おれました。 ・ おいました。 ・ おいました。 ・ おいました。 ・ またる。 ・ おいました。 ・ おいました。 ・ またる。 ・ またる。		内閣府「首都圏における大水・ 水・書店機関係 上記間線対象を受けます。 上記間線対象を受けます。 内閣府「首都圏における大水・書店地間線が おお・情報収集 上記間線対象を受けた庁・ 超離の設置及び検討・情 を対象に要配慮者判制能 本を対象に要配慮者判制能 は 本を対象に要配慮者判制能 の同行前防災罪令を実施。「作 を対象では、「係る「 の同行前防災罪令を実施」「 を対象では、「係る「 の同行前防災罪令を実施」「 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大での 内内線 野筋管ROIT 野筋管ROIT 野筋管ROIT 対抗
プラト対策 (1)広かり (3) (3) (3) (4) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	の主な取組 ①逃げ遅れ1 及避難を考慮したハザード・ 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 広域避難を考慮したハザードマッ の作成・周知等 まるごとまちごとハザードマップ 情 拡充 要配慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進 ハザードマップポータルサイトを 用した周知サポート、地図情報の 用	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時雨による浸) 地定区域図の公表 ・想定最大規模時雨による浸) ・想定以図の公表 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 ::	表記 実施 売了 のための取組 28年度 30年度 30年度 32年 32年	情報の提供およ	着手 完		種検討 (業は生 (保計 いて、 を情 こつい、)	・ 令和2年度の支援作業 ていない(水戸・銚子)	tot A	・想定量大規模降雨による2 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診 ・作成に必要な情報の提供、 策定を支援 ・市町村が広域避難計画を するに当たっての課題等を したガイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供人 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供人 ・作成に必要な情報の提供人 ・作成に必要な情報の提供人 ・作成に必要な情報の提供人	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H32年度 -H32年度	- 指定17河川について、見直し 及び新規公表を実施 - 氾濫シュレーションの策定に 向けた検討 - 市南村の広域避難計画策定。 - 広域避難計画を計りの上・ケットの主要にした。 - 市本計の広域避難計画を計りーキンクリループを設定し、大規模水業等によける広域避難策定が、 - 指定17河川の浸水想定区域 図の提供 - 市南村担当課への説明会開 - 遊離確保計画の策定等等に関 の関係(県内内がで開催) - 十 浦市到難避避針画作成現		・	虚し ●	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了	度 (内閣府「首都圏における大の 模水帯広域避難検討会」での 検討・情報収集・ ・上記閣検の設度及び検討・情報 ・上記閣検の設度及び検討・情報 ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の ・対制解析・動物における大の 検討・情報収 ・対制解析・動物における大の 検討・情報の設置及び検討・情報 ・上記閣検討会を受けた「庁内 対本 ・ 本 第一を対象・変配度者利用の の避難計画の作成に係る管 者向けの間景を実施。 市町村防災課長や担当者にが ・ と記録会も ・ おいました。 ・ といました。 ・ といました。 ・ といました。 ・ おいました。 ・ といました。 ・ といました。 ・ おいました。 ・ おれました。 ・ おいました。 ・ おいました。 ・ おいました。 ・ またる。 ・ おいました。 ・ おいました。 ・ またる。 ・ またる。		内閣府「首都圏における大 水害広域避難検討会を受ける大 ・情報収集 上記国検討をを受けた ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大	大での 内線 規の 保証 野豚 医型 III が 原 Time Time Time Time Time Time Time Time
ソフト対策 (1) 広ま (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3)	の主な取組 ①逃げ遅れ1 ま避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による浸水想 想定最大規模降雨による氾濫 ユミュレーションの公表 が成立が重難計画の策定 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定 小ザードマップ 作成及び訓練の促進 ハザードマップポータルサイトを 用した周知サポート、地図情報の 用 上間 開動告の発令に着目したタ 避難動告の発令に着目したタイ 避難動告の発令に着目したタイ	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時雨による浸) 地定区域図の公表 ・想定最大規模時雨による浸) ・想定以図の公表 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	実施期 着手 :: 確な避難行動 () H28年度 -H: - H28年度 -H: - H28年度 -H: - H28年度 -H: - H28年度 -H:	実施 売了 実施 のための取組 28年度 ・	情報の提供およ	着手 完	F度 ・鬼怒川・小貝川広域組 会に参加・現時点において支援作 じていない。(象子) ・要配慮者施設の避難に係る講言の別と 画作成に係る講言の別と 原贈的に発表するのが見 で記明(10/25土浦市ほど) ・現時点において支援作 にいる。(象子) ・現時点において支援作 にいる。(象子) ・現時点において支援作	重検討 (保計 (保計 (水水) (水水	・	tot A	・想定最大規模降雨による2 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診 ・作成に必要な情報の提供人 策定を支援 ・市町村が広域避難計画をするに当たっての課題等を したカイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供人 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供人 策定を支援	着手 A	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度	・指定17河川について、見面し及び新規公表を実施 ・児室シュュレーションの策定に向けた検討 ・市町村の広域避難計画検討ワーキンクループを設した。 は表現した。 古典は 計画検討ワーキングループを登成し、 大規模方ガループを登成し、 大規模方 が 音楽に対ける広域避難策定 反域 図の提供 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	虚し ● 定を ● シグ水が ● 図域 ● 管をを	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了 - H28年度 - H32年 -			内閣府「首都圏における大水・ 大水・ 大水・ 大水・ 大水・ 大水・ 大線・ 大線・ 大線・ 大線・ 大線・ 大線・ 大線・ 大線	大での 庁情 大で の 接機 The Table 1
ノフト対策 (1) 広 (3) (3) (6) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (7) (7) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	の主な取組 ①逃げ遅れ1 及避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 拡域避難計画の策定 広域避難を考慮したハザードマップ 情報充 要配虚者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進 ハザードマップポータルサイトを 用した周知サポート、地図情報の 用した周知サポート、地図情報の の発令に着目したタイ ラインの作成	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時雨による浸透を支援・標度に必要な情報の提供及、 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及、 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及	実施期 着手 :: 確な避難行動 () H28年度 -H: - H28年度 -H: - H28年度 -H: - H28年度 -H: - H28年度 -H:	表記 実施	情報の提供およ	着手 完	F度 ・鬼怒川・小貝川広域 会に参加・現時点において支援作 じていない。(象子) - 要配底者施設の避難症を ・現時点において支援作 じていない。(象子) - では、(象子) - では、(重検討 (保計 (保計 (水水) (水水	・今和2年度の支援作業 ていない(水戸・銚子) かか言に係る資料等は いる。 (水戸・銀序) ・毎和2年度の参加支援 (水戸・銀子)		・想定最大規模降雨による2 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診 ・作成に必要な情報の提供人 策定を支援 ・市町村が広域避難計画をするに当たっての課題等を したカイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供人 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供人 策定を支援	着手	+H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・沿変とミュレーションの策定に向けた検討 ・市町村の広域避難計画策定で支援した。「広域逆路計画検討ワーキンクが上一プを設置し、「大規模方がループを設置し、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大規模方が上で、「大型方で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	虚し ● 定を ● シガ水ガガ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了 - H28年度 - H32年 -	度 ・	 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日)	内閣府「首都圏における大水・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	大児の 守情 大児の 守情 大児の 守情 大児の 内線 一野路管 (Ren) 対 田路 田路 田路 田田
ノフト対策 (1) 広 (3) (3) (6) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (7) (7) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 地定最大規模降雨による氾濫 ュミュレーションの公表 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定 広域避難計画の策定 の作成・周知等 まるごとまちごとハザードマップ 債・拡充 要配慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進 ハザードマップボータルサイトを 用した周知サポート、地図情報の 用	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時雨による浸透を支援・標度に必要な情報の提供及、 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及、 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及	実施期 着手 :: 確な避難行動 () H28年度 -H: () H28年度 -H:	表	情報の提供およ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	着手 完		種検討 (保計 (保計 (保計 (保計 (保)		たって Δ 業は生 に Δ	・想定屋大規模降雨による分割を区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診・作成に必要な情報の提供、策定を支援・市町村が広域避難計画をするに当たっての課題等をしたガイデクンを作成したガイデクンを作成に必要な情報の提供人類定を支援 ・作成に必要な情報の提供人類定を支援 ・作成に必要な情報の提供人類を支援 ・作成に必要な情報の提供人類を支援 ・個上型防災訓練の実施支・・個上型防災訓練の実施支・・個上型防災訓練の実施支・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・沿変とミュレーションの策定に向けた検討 ・市町村の広域避難計画策定で支援した。 ・広域型整計画検討ワーキンクで、見渡した。 ・広域型整計画検討ワーキンクで、大規模方が、一定を適し、「大規模方が、一定を適し、「大規模方が、一定を適し、「大規模方が、一定を調した。「大規模方が、一定とでは、「大規模方が、一定と関い、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大型方で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型		・	直ししていた。 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了 - H28年度 - H32年 -	度 ・	 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日)	内閣府「首都圏におけるで 水・書広運難検討会で 計・情報収集 上記職検討会を受けるが 計・情報収集 上記職検討会を受けた庁 記書検討会を受けた庁 活動・情報収集 上部機の設置及び検討・情 が 記事検討をを受けた庁 ・ を対象に認起者制制整 を対象に要配慮者制制を を対象に変配慮者制制を で が が が が が が が が が が が が が が が が が が	大児の 守情 大児の 守情 大児の 守情 大児の 内線 一野路管 (Ren) 対 田路 田路 田路 田田
ソフト対策 (1) 広よ (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による氾濫 コミュレーションの公表 拡域避難計画の策定 広域避難を考慮したハザードマッ の作成・周知等 まるごとまちごとハザードマップ (情・拡充) 要配慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進 ハザードマップボータルサイトを 用 用 整動告の発令に着目したタイ ラインの作成 タタイムラインに基づく首長も参加 た実践的な訓練 気象情報発信時の「危険度の色 気象情報発信時の「危険度の色	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時雨による浸透を支援・標度に必要な情報の提供及、 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及、 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及	実施期 着手 :: 確な避難行動 () H28年度 -H: () H28年度 -H:	表	情報の提供およ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	着手 完	F度 ・鬼怒川・小貝川広域 会に参加・現時点において支援作 じていない。(象子) - 要配底者施設の避難症を ・現時点において支援作 じていない。(象子) - では、(象子) - では、(理検討 (保計	・今和2年度の支援作業 ていない(水戸・銚子) かか言に係る資料等は いる。 (水戸・銀序) ・毎和2年度の参加支援 (水戸・銀子)	たって △ 禁止性 △ 本って △ 本って △ 本 ※ は生 △	・想定最大規模降雨による2 想定区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診 ・作成に必要な情報の提供) 策定を支援 ・市町村が広域避難計画をするに当たっての課題等を したカイドラインを作成 ・作成に必要な情報の提供) 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供) で成に必要な情報の提供) ・作成に必要な情報の提供)	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度	- 指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 - 氾濫シミュレーションの策定に向けた検討 - 市町村の広域避難計画策定を受援した。 - 広域避難計画検討ワーキンクで展して、技機が、書時における佐城を選集を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、		・ 指定17河川について、見及び新規公表を実施 ・ 児童シミュレーションの策 ・ 市町村の広域 避難計画 第 大坂は東陸 計画 2 坂は電 建設 は 対 フー 共成 連 接 対 アー 大坂 に は 連 接 対 アー 大坂 に は 連 建 が アー 大阪 に は 連 を が に か い か い か い か い か い か い か い か い か い か	直ししていた。 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了 - H28年度 - H32年 -	度 ・	 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日)	内閣府「首都圏におけるで 水・書広運難検討会で 計・情報収集 上記職検討会を受けるが 計・情報収集 上記職検討会を受けた庁 記書検討会を受けた庁 活動・情報収集 上部機の設置及び検討・情 が 記事検討をを受けた庁 ・ を対象に認起者制制整 を対象に要配慮者制制を を対象に変配慮者制制を で が が が が が が が が が が が が が が が が が が	大児の 庁情 大児の 庁情 大児の 庁情 大児の 庁間 大児の 庁間 大児の 庁間 大児の 庁間 田窓垣 田窓
フト対策 (1) 広 は (2) 選択 (2) 選択 (2) 選択 (2) 選択 (2) (2) (2) (3) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	の主な取組 ①逃げ遅れ1 な避難を考慮したハザード 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 想定最大規模降雨による浸水想 区域図の公表 は域避難を考慮したハザードマックの作成・周知等 まることをまちごとハザードマップ 情。拡充 要配慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進 ハザードマップボータルサイトを 用した周知サポート、地図情報の 用 建動告の発令に着目したタイ ラインの作成 シャルラインに基づく首長も参加 と実践的な訓練	ゼロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・想定最大規模時雨による浸透を支援・標度に必要な情報の提供及、 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及、 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及	実施期 着手 :: 確な避難行動 () H28年度 -H: () H28年度 -H:	東施 売了 東施 のための取組 28年度 30年度 32年度 4度 22年度 32年度 22年度 22年度 22年度 22年度 32年度 32日度	情報の提供およ は最、県、市町村 を支援 る危険度の色分 象になる可能性」	着手 完		種検討 (保計・企業は生 (保計・企業を提供の) たって は 生 は 生 は 生 は 生 は 生 は 生 は 生 は 生 は ま を 提提の こうい (大きな) に ま できる は 生 は ま を は 生 は ま を は 生 は ま を は 生 は ま を は 生 は ま を は ま と は ま		たって △ ・	・想定屋大規模降雨による分割を区域図の公表 ・氾濫シミュレーションの検診・作成に必要な情報の提供、策定を支援・市町村が広域避難計画をするに当たっての課題等をしたガイデクンを作成したガイデクンを作成に必要な情報の提供人類定を支援 ・作成に必要な情報の提供人類定を支援 ・作成に必要な情報の提供人類を支援 ・作成に必要な情報の提供人類を支援 ・個上型防災訓練の実施支・・個上型防災訓練の実施支・・個上型防災訓練の実施支・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	着手	完了 -H29年度 -H30年度 -H32年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H29年度 -H32年度 -H32年度 -H32年度	・指定17河川について、見直し及び新規公表を実施 ・沿変とミュレーションの策定に向けた検討 ・市町村の広域避難計画策定で支援した。 ・広域型整計画検討ワーキンクで、見渡した。 ・広域型整計画検討ワーキンクで、大規模方が、一定を適し、「大規模方が、一定を適し、「大規模方が、一定を適し、「大規模方が、一定を調した。「大規模方が、一定とでは、「大規模方が、一定と関い、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大規模方が、「大型方で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型で、「大型		・	直ししていた。 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	・県管理区間での予定無し ・県管理区間での予定無し ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供 ・作成に必要な情報の提供	着手 完了 - H28年度 - H32年 -	度 ・	 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) 校 (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日)	内閣府「首都圏におけるで 水・書広運難検討会で 計・情報収集 上記職検討会を受けるが 計・情報収集 上記職検討会を受けた庁 記書検討会を受けた庁 活動・情報収集 上部機の設置及び検討・情 が 記事検討をを受けた庁 ・ を対象に認起者制制整 を対象に要配慮者制制を を対象に変配慮者制制を で が が が が が が が が が が が が が が が が が が	大で 内報 規の 作情 大で 内報 規

		関東地	<u>\$</u>			気象庁							茨城県						千葉県			
項	内容	実施内容	実施期間	実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施
			着手 完	7	着手 完了						着手	完了						着手 完了				\perp
防災都	教育や防災知識の普及	・問い合わせ窓口を設置する	-H28年度 -H28	年度 ・問い合わせ窓口の対応へ(の -H28年度 -H32年度	・問い合わせ窓口を設置してい		・問い合わせ窓口を設置してい	\	・問い合わせ窓口を設置する	-H28年度	-H28年度	窓口を設置し 随時間い合わ	1#	・問合せ内容に応じて、関係部		・設置予定なし		I			
①水 合わ	水災害に事前準備に関する問い わせ窓口の設置	IN DIVERSED OF	1125-1-26	サポート	112042	るが、現時点においてサポートは生じていない		るが、現時点においてサポート は生じていない(水戸・銚子)	`	INV DIVERSE / U	1125-7-72	1120-122	に対応する。		署が適宜対応した。		EXEL 1 AL GO					
		・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	·H28年度 ·H32	年度 ・関係機関と連携し、効果的 対応を検討する	は ・H28年度 ・H32年度	・関係機関と連携した防災対応を 行うため、毎年出水期前に気象防	. •	・関係機関と連携した防災対応を 行うため、毎年出水期前に気象®		・市町村の要請により出前講 等を積極的に行っていく	座 ·H28年度	・H32年度	・水害の危険性が高い箇所を する霞ヶ浦流域6市町で住民	· <u>有</u> 〇	・水害の危険性が高い箇所を有	<u> </u>	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	: ·H28年度 ·H32年度	・常陸川水門現地見学会に参加【H29】		・常陸川水門現地見学会に 加【H29】	-参
②水	水防災に関する説明会の開催	寺を根拠がに打りていく		XIIU CIXII Y V		災連絡会を開催している ・台風の接近に伴う影響や防災上 の留意事項について、台風説明会	:	災連絡会を開催しているが、令和 年度は書面開催となった(水戸) ・地域住民を対象として、茨城県・	12	寺を根盤がに行うていく			難力強化事業を実施 (県全体では17市町で実施)	201	地域で住民避難力強化事業を 実施(県全体12市町の住民に 対し、19回実施 今後も継続)		寺を根盤的に行うていく		MILTIZ9]		mrtuza1	
		・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	·H28年度 ·H32	年度 ・教育委員会と連携し、効果 な対応を検討する	的 ·H28年度 ·H32年度	を対象とした防災に関する講習	•	防災士会及び気象予報士会と共 ・学校に職員を派遣して、教員 を対象とした防災に関する講習	· · ·	・市町村の要請により出前講 等を積極的に行っていく。	座 ·H28年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継	続 △	・防災政権イベント「いばらき学・五霞町の小中学校教員を対象に実施した	k O	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	·H28年度 ·H32年度	·防災授業実践研修会(管理	職	・防災教育実践研修会(管理 対象の部)において、銚子地	地方
③教	教員を対象とした講習会の実施					会を実施している		会を実施している(水戸・銚子)							・県内の教員を対象とした講習 会の実施に向け調整中				対象の部)において、銚子地: 気象台の次長を講師として招き、「防災情報の活用についての課題を行い、多学校におけ	CJ - Z	気象台の次長から「防災情報 活用について」の研修資料を 供いただき、書面開催で研修 実施することで、各学校にお	を提修を
4/h	小学生を対象とした防災教育の	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	·H28年度 ·H32	年度 ・教育委員会と連携し、効果 な対応を検討する	的 -H28年度 -H32年度	災に関する講演を実施している ・小学生による気象台の見学を	5	・小学校に職員を派遣して、防災に関する講演を実施している (水戸・銚子)	5	・市町村の要請により出前講 等を積極的に行っていく。	座 ·H28年度	•H32年度	・一斉避難訓練時に防災教育 実施	īě O	・一斉避難訓練時に防災教育を 実施済み ・県庁見学のため来庁した小学		・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	-H28年度 -H32年度	・実施に向けた取り組みを継	売 △	・「防災意識高揚のための唇動画」を活用して啓発を行っいる。	啓発
実施	ite	· 英铼(C F l l 山前謙広笙左辖垣	.H28年度 .H39	年度 ・関係機関と連携し、効果的	けた 。山28年度 。山32年度	受け入れ、気象や防災に関して 説明を行っている ・ 本民職卒集の催しに難員を返		・小学生による気象台の見学を 受け入れ、気象や防災に関し 説明を行っている(水戸・銚子) ・市民講座等の催しに職員を ・市民講座等の催しに職員を	τ	・要請により出前講座等を積	區 .⊔22年度	.U28年度	,用前課座宝饰		生に対し防災教育を実施した (今後も継続) ・出前講座実施		・要請により出前講座等を積極	.U28年度 .U32年度	・実体に向けた取り組みを繰り	± ^	実施に向けた取り組みを総	经金本
⑤出 実施	出前講座等を活用した講習会の 施	りに行っていく	· H20年度 - H32	対応を検討する	1/4 -USO+196 -USS+19	造して、講習会を実施している		造して、講習会を実施している (水戸・銚子) ・対面による講演のほか、リ		的に行っていく。 ・住民避難力強化事業(マイマプ、マイ・タイムラインの作成等	マッ・H29年度		(行方市民生委員向け 2回)	有〇	・水害の危険性が高い箇所を有する地域で住民避難力強化事		的に行っていく	11204192 11324192	- 大肥に同けた取り組みを絶	90 4	- 天心に同じた収り組みを報	2490
		・ブッシュ型の洪水予報等の情	·H28年度 ·H29	年度				モート会議システムを活用した 謙濡も宝施した(水戸)	:	の開催 ・プッシュ型の洪水予報等の情		・H32年度	(県全体では17市町で実施) ・防災情報メール等の登録促		業を実施 (<u>県全体12市町の住民に対し</u> ・防災情報メール等の登録促進	0	・設置予定なし					
⑥プ 発信	プッシュ型の洪水予報等の情報 冒	報発信								報発信 ・情報入手方法などの周知												
		・ホームページやスマートフォン などに水位計やライブカメラの	·H28年度 ·H28	年度						などに水位計やライブカメラの	ン ·H28年度	・H29年度	・CCTVカメラを設置し画像の 信を実施	• 5ā	・水位計(危機管理型を含む)や カメラ(CCTV, 簡易型)の増設	•	・設置予定なし					H
⑦水リア	水位計やライブカメラ等の情報を アルタイムで提供	情報をリアルタイムで提供する								情報をリアルタイムで提供する。					を実施し、ホームページによりリアルタイムでの情報提供の拡充 を図った。	J E						
8.84	許可工作物管理者への防災教	・操作規則作成に必要な情報の 提供及び支援 ・履行検査における周知	·H28年度 ·H32	年度						・要請により出前講座等を積 的に行っていく。	極 ·H28年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継	続 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施予定なし					
育の	力実施	A& []1X.E.[~0317-070]A																				
対策の	D主な取組 ②洪水氾濫に	よる被害の軽減、避難時	間の確保のた	めの水防活動の取組																		
より効	効果的な水防活動の実施	及び水防体制の強化																				
		2 0 1,103 1 1,00 2 1,00																				
①水認と	水防団等への連絡体制の再確 と伝達訓練の実施																					
(2)7K	水防団同士の連絡体制の確保																					
③水 水に	水防団や地域住民が参加する洪 に対しリスクが高い区間の共同		•H28年度 •H32	年度 ・毎年、河川事務所が実施す 重要水防箇所等の共同点校 参加していく	する ・H29年度 ・H32年度 第12	視へ参加 ・H31(R1)年は当台の都合によ		・令和2年度は参加対応なし (水戸・銚子)	Δ	・人員不足、多くの対象箇所があることなどから取り組み方法 については、今後検討していく	去	•H32年度	検に毎年参加している。 ・県管理河川において実施す	る	・河川事務所が実施する共同点 検に毎年参加している。 ・県管理が開催して実施する	,	・国が実施する共同点検へのも 加	計H28年度 →H32年度	・国が実施する共同点検へ参	·hu O	・国が実施する共同点検へ	参加
点検	倹	・水防管理団体が行う訓練への	·H28年度 ·H32	年度 ・水防管理団体が行う訓練へ	への・H28年度 ・H32年度	り不参加(銚子) ・国及び自治体が行う水防訓練		・令和2年度は参加実績なし	Δ	必要がある。 ・水防管理団体が行う訓練へ	Ø -H28.5	-H32年度	減災対策協議会で、市町村と 同した点検方法等について検 財本進める ・水防管理団体が行う訓練へ	ŧ	減災対策協議会で、市町村と共 同した点検方法等について検 財本進める ・水防管理団体が行う訓練へ、		・水防管理団体が行う訓練への) ·H28年度 ·H32年度	・ 水防管理団体が行う訓練へ	* O	・水防管理団体が行う訓練	へ参
4関	関係機関が連携した実働水防訓 の実施	参加	1125-1-72	参加、支援	112042	へ参加している ・H31(R1)年は参加実績なし(釧子)		(水戸・銚子)	_	参加	7125.5	1102-120	参加した。		参加した。		参加【毎年】	1120-102	加 ・合同水防訓練の実施(香取 木)		加 ・合同水防訓練の実施(香耶木)	
	水防活動の担い手となる水防協 団体の募集・指定を促進																					
																						H
⑥地 体制	地域の建設業者による水防支援 制の検討・構築																					
⑦内	内水被害危険箇所の把握及び									・内水被害危険箇所に関して 係機関と情報の共有化を図っ	関・H28年度	•H32年度	・水害統計調査により、市町村 との情報共有を図った。	i O	・水害統計調査により、市町村 との情報共有を図った。	0	・関係自治体と情報共有していく	·H28年度 ·H32年度	・実施に向けた取り組みを継	売 △	・実施に向けた取り組みを組	建統
情報	般共有																					
対策の	り主な取組(3一刻も早い	生活再建及7%社会経済活	動の回復を可	「能とするための排水活動の	の取組																	
)排水	計画(案)の作成及び排水	訓練の実施																				
			·H28年度 ·H32	年度 ・排水ポンプの設置個所の過	醒定 •H28年度 •H32年度	: ・現時点において、作成への協	Δ	・現時点において、作成への協	ā <u></u>	・作成に必要な情報の提供	•H28年度	·H29年度	・排水ポンプ車設置の参考と	な	・実施に向けた取り組みを継続	•	・作成に必要な情報の提供	·H28年度 ·H32年度	・実施に向けた取り組みを継	売 △	・実施に向けた取り組みを組	継続
有、t	非水機場・樋門・水門等の情報共 排水手法等の検討を行い、大規模 者を想定した排水計画(案)を作成	まで行った排水計画(案)の作 成		まで行った排水計画(案)の 成への協力	作	力作業は生じていない		カ作業は生じていない(水戸・ਭ 子)	BE				る浸水継続時間を示した図面 作成した。	1 č								
F		・水防訓練と同様に各自治体持 ち回りで実施する	·H28年度 ·H32	年度 ・自治体訓練への支援	・H28年度 ・H32年度	・現時点において、訓練への支 援作業は生じていない	Δ	・現時点において、訓練への支援作業は生じていない(水戸・	ž A	・関係自治体が実施する訓練の参加	iへ・H28年度	・H29年度	・河川事務所が実施する排水 ンプ車の操作訓練へ参加し、	:ポ • 技	・河川事務所が実施する排水ホ ンプ車の操作訓練へ参加し、技		・関係自治体が実施する訓練へ の参加	、 ·H28年度 ·H32年度	・実施に向けた取り組みを継	売 △	・実施に向けた取り組みを総	継続
②排	非水訓練の実施	/ \				WILWINTO CA.490,		子)		2' //*			術の習得をした。	~	がある。 特の習得をした。		27 100					
		・作成に必要な情報の提供及び 支援	·H28年度 ·H28 ·H32	年度 ・排水計画(案)作成への支 年度	援 ·H28年度 ·H32年度	・現時点において、作成への協 力作業は生じていない	Δ	・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・	i A	・作成に必要な情報の提供	•H28年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継	続 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・作成に必要な情報の提供	·H28年度 ·H32年度	・実施に向けた取り組みを継	売 △	・実施に向けた取り組みを総	継続
(2) rts	内水被害危険箇所の排水計画 ()の作成							子)				1			1	1	1					

内容		実施期間	土浦市	1				宇施期間	石岡市					宇施期間	龍ケ崎市					宇施期間	鹿嶋市		
	実施内容	着手 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	着手 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績
*策の主な取組	. Arte																						
k水を河川内で安全に流す対:	· 策																						
①堤防整備						4 7																	
②波浪対策						4 7																	
 	 動に答する其般等の整備	#																					
①雨景・水位等の観測データ及び	ST-SC / DEEM (1971E)	т.																					
洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備						4 7																	
	・一部のアナログ波防災無線 を、H28~H29にかけてデジタノ			市	5内全域の防災無線のデジタ レ化済(H29年度)	タ ・ ・	既設アナログ波防災無線の ジタル化の検討	カデ ·H28年度 ·H34年度	・検討委員会でデジタル化及び 戸別受信機による多重化に向	び • ·検 戸5	会計委員会でデジタル化及で 別受信機による多重化に向	び • ・	アナログからデジタルに切りを 引予定(H32年度より実施・設	-H32年度 -H34年度	・防災行政無線については、 ジタル化整備を実施する業者		・防災行政無線については、 ジタル化整備を実施する業者	デ O -	防災行政無線はデジタル化 な良済み	比へ ·H28年度 ·H28年	度 身体障害者手帳の交付を受け ている聴覚障がい者又は視覚		体障害者手帳の交付を受いる いる聴覚障がい者又は初
	化する								けた方針を決定した ・戸別受信機の配布方法の検	け <i>†</i>	た方針を決定した ■別受信機の配布方法の検	è ⊕ Ä	け、H33~H34年度工事(この 期間は工事期間の為、アナログ	D T	選定が終わり、整備工事に向 て調整を実施中。	t)	選定が終わり、整備工事を実 中。	· 施 て	身体障害者手帳の交付を受 こいる聴覚障がい者又は視	覚	障がい者の属する世帯の代表 者に対し、引き続き音声放送・	i 5	tがい者の属する世帯の代 fに対し、引き続き音声放
									討を行った。		を行った。 方災行政無線の更新を行っ	7	無線とデジタル無線を同時並行 で稼動))。 防災ラジオについては防災無	Ī				者	章がい者の属する世帯の代: 者に対し、音声放送や防災? 数無線の内容を見ることがで	行	防災行政無線の内容を見るこ ができる。ディスプレイ機能が	あ が	i災行政無線の内容を見る 「できる。ディスプレイ機能 戸別受信機を無償で貸出
②防災行政無線の改良、防災ラジ オ等の配布										た。	カ炎行政無線の更新を行う。 。 方災ラジオを市内の希望した	● #	のダランオにったくにはの炎無 泉のデジタル化の後に検討を 〒う					8	3. ディスプレイ機能があるF 3. ディスプレイ機能があるF 別受信機を無償で貸出を実施	F	る戸別受信機を無償で貸出を 実施	実	产加支信機を無限で見り 施
A 400EU										全	世帯に貸与した。	, I							,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
	・水防団員の安全を確保するため、資機材等の充実を図る	- ·H28年度 ·H28年度	・消防団員用安全管理資機材 (ライフジャケット)配備済み		消防団員用安全管理資機材 ライフジャケット)配備済み		水防団員の安全を確保する う、資機材等の充実を図る		度・トランシーバーを2台配備	• •	ランシーバーを2台配備	• .	稲敷広域消防本部と連携しな がら水防資機材等の配備を検	·H28年度 ·H32年度	・新技術を用いた水防資機材 情報収集については利根川2	の O	・新技術を用いた水防資機材 情報収集については利根川:	の O ・:	水防団(消防団員)の安全を 果するための資機材の充実	を確・H28年度・H28年	度 水防団(消防団員)の安全を研 保するため、救命胴衣、無線	● 水	:防団(消防団員)の安全 はするため、救命胴衣、無
	,		() () () () ()									8	t d		系連合・総合水防演習におい て、水防団員が水嚢を用いた	_	系連合・総合水防演習において て、水防団員が水嚢を用いた	` - T	⊠ot:		を配布	ži	配布
③水防活動を支援するための新技 衛を活用した水防資機材等の配備															法に取り組み、また各河川事所が開催した水嚢工法現地を	見	法に取り組み、また各河川事所が開催した水嚢工法現地	児					
の と 10 71 C 72 70 月 50 月 50 月 50 月 50 日 50 円															察に参加するなど情報収集に 努めた		察に参加するなど情報収集! 努めた						
④水位計や量水標、CCTVカメラ等	・既存水位計を活用する。・POTEKA等の新規システム	·H28年度 ·H32年度	・POTEKA等導入済み自治体 に対しての聞き取り調査を実施	O .F	POTEKA等導入済み自治体 対しての聞き取り調査を実施	本 O ·P	POTEKAの導入	・H28年度 ・H29年度	POTEKA導入済み自治体に対しての聞き取り調査を実施	対し	POTEKA導入済み自治体に しての聞き取り調査を実施	1 1	L交通省に要望している。		・県に要望した結果, 市内2箇所(新利根川, 大正堀川)に能	i •	・県に要望した結果。市内3億 所(新利根川、大正堀川、小	・	国及び県が設置している既 D設備を活用出来るため、新	E存 断た			
の設置	について導入を検討する								・POTEKAを市内5箇所に設	· P·	POTEKAを市内5箇所に設		県管理河川に危機管理型水 立計設置を茨城県に要望する	・H30年度 ・H31年度	易水位計を設置した。		川)に簡易水位計を設置した	なし	な設置は今のところ考えてい ヽ	な			
⑤浸水時においても災害対応を継 続するための施設の整備及び自家	・実施済み						庁舎・避難所は地区外のた 対象なし	- W					新庁舎における耐水対策とし 、自家発電装置のかさ上げを		・H28.6.30に耐水対策として自 家発電装置のかさ上げを行っ	た	・H28.6.30に耐水対策として自 家発電装置のかさ上げを行	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	庁舎が浸水想定区域外であ 対象なし	50			
競争るための他成の登場及び自然 発電装置等の耐水化												3	ミ施		本庁舎 附属棟を新設した。		本庁舎附属棟を新設した。						
	おり、局地的大雨等の発生時	て ·H28年度 ·H28年度 に	・内水ハザードマップ作成済み ・災害時の巡視を継続実施	• .p	内水ハザードマップ作成済み 災害時の巡視を継続実施	危	揚水機場の有効活用のほか で陰箇所へ排水ポンプ(マン マールポンプ等)を導入する	,	度 ・排水ポンプを2台配備	排	非水ポンプを2台配備	7t	排水ポンプの保守点検の実施、水中 ペンプの準備 常総市八間堀川の内水氾濫(平成28		・担当課において、内水氾濫の発生 箇所については、側溝の改修やポン 場の整備を行った ・設置予定貯留管2台のうちの1台を		・担当課において、内水氾濫の発生 箇所については、 側溝の改修やポン 場の整備を行った	·ブ	を車した消防車両のポンプを	を排	度 消防団が内水被害個所の対応 を実施		防団が内水被害個所の 実施
⑥内水被害危険箇所の対策	巡回・点検を実施					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ヘールホンク寺/を導入する	·				1	F10月台風21号)を教訓に既存のタイ ムラインの追加改訂検討中 佐貫駅周辺に内水氾濫防止用の貯留		・設置予定貯留管2台のうちの1台を 置した。	lg O	・設置予定貯留管2台のうちの1台を 置した。	- 4	kポンプとして準備する。(H ∓度) 肖防団が内水被害個所の対				
												梧	きの整備中						実施している				
内容 策の主な取組 ①逃げ遅れゼ 気域避難を考慮したハザードマ		実施期間 着手 完了 確な避難行動のた		実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	石岡市 H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間 着手 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績
策の主な取組 ①逃げ遅れゼ 「域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想	l ヹロに向けた迅速かつ的		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		11111	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績
策の主な取組 ①逃げ遅れゼ 「域避難を考慮したハザードマ	l ヹロに向けた迅速かつ的		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		11111	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績
策の主な取組 ①逃げ遅れゼ 「域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想	l ヹロに向けた迅速かつ的		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		11111	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績
来の主な取組 ①逃げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表	でに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等	確な避難行動のた。	H31(R1)年度実績			統 Δ · ά	協議会の中で広域避難計	着手「完了	11111			ж. Δ -	現在, 小貝川・利根川洪水遊	着手 完了	小貝川・利根川洪水避難計		- 小貝川 - 利根川洪水避難計	■	協議会の中で広域避難計開	着手「完了	H31(R1)年度実績 度 実施に向けた取組みを継続		
接の主な取組 ①逸げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広端避難計画は未作成であった。近端避難計画は未作成であかが、災害協定を頼んでいる目:	確な避難行動のた。	H31(R1)年度実績 めの取組			統 Δ · ά		着手「完了	H31(R1)年度実績			続 △ ***	現在 小貝川・利根川洪水遊 総計画・経定中 東窓川・小貝川流域滅災対策	着手 完了	・小貝川・科様川洪水避難計を策定した。 ・広域謝韓の一端として 稲原	• by • • by • • • • • • • • • • • • • •	・小貝川・科根川洪水道館計 を変更した。 広域遊館の一端として、稲	画 · (:		着手「完了			
	では、災害協定を結んでいる自分が、災害協定を結んでいる自分が、災害協定を結んでいる自分が、災害協定を結んでいる自分が、災害協定を結んでいる自分が、災害協定を結んでいる自分が、災害協定を結んでいる自分が、災害協定を結んでいる自分が、災害協定を結んでいる自分が、災害協定を結んでいる自分を	確な避難行動のた。	H31(R1)年度実績 めの取組			統 Δ · ά	協議会の中で広域避難計	着手「完了	H31(R1)年度実績			焼 △ ・	現在, 小貝川・利根川洪水遊 豊計師を領定中	着手 完了	・小貝川・利根川洪水避難計 を策定した。 ・広域避難の一端として、稲野 地方広域市可料圏で相互応に に関する災害協定を結び、広 郷齢計画を参定」と、	画を変え	・小貝川・科根川洪水道難計 を策定した。 広域道線の一線として、稲地 に関する災害協定を続び、瓜 環幹1番を指定を	画	協議会の中で広域避難計開	着手「完了			
家の主な取組 ①逸げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模時雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模時雨による氾濫 シュミュレーションの公表	プロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であ が、災害協定を結んでいる自 体への受け入れを会顕に置き つつ、新たる自治体との協定と	確な避難行動のた。	H31(R1)年度実績 めの取組			統 Δ · ά	協議会の中で広域避難計	着手「完了	H31(R1)年度実績			焼 △ ・	現在. 小貝川・利根川洪水遊 着計画を策定中 鬼怒川・小貝川流域減災対策 品線会の中で広心運難計画	着手 完了	・小貝川・利根川浅水避難計 を策定した。 ・広域避難の一端として、程序に に関する災害協定を結び、広 連整計画を定した。 ・鬼怒川・小貝川減災対策協 会の中で茨根県主導で広始	面欠要域違	・小貝川・科根川洪水避難計 を策定した。 心域避難の一端として、稲間 に関する災害協定を結び、反 選替計画を実施で、 鬼怒川・小貝川減災対策協 会の中で茨根県で	画 ◆ · (;	協議会の中で広域避難計開	着手「完了			
家の主な取組 ①逃げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表	プロに向けた迅速かつ的で、アップの作成・周知等 マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であった、災害協定を結んでいる自 体への受け入れを全頭に置き つつ、新たる自治体との協定 結を検討する	確な避難行動のた。	H31(R1)年度実績 めの取組	Δ -3	実施に向けた取り組みを継が	統 Δ · túc	協議会の中で広域避難計 家)を策定する	着手 完了	H31(R1)年度実績	·ф. Δ	実施に向けた取り組みを継続	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小貝川・利根川洪水避 能計画を策定中 鬼怒川・小貝川流域減災対策 総議会の中で広域避難計画 案)を策定する	着手 完了	・小貝川・利根川洪水避難計を策定した。 ・広域避難の一端として、稲野地方広域市可料圏で相互応に に関する災害協定を結び、広 運動計画を変定した。 ・鬼怒川・小貝川減災対策協 をの中で茨城軍で広域、 難計画を策定した。	面 を受域 議員	・小貝川・科様川洪水道難計 を策定した。 広域道線の一塊として、開 地方成場市前門で相互応 に関する災害協定を続び、原 選挙計画を策定、 ・ 県多川・小貝川減災分策協 会の中で茨城県主導で広域 離計画を策定した。	画 ◆ ・ (:	位議会の中で広域避難計画 案)を策定する	着手 完了	度実施に向けた取組みを継続	Δ **	を 施に向けた取組みを 継
	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れる会頭に置き 対なへの受け入れる会頭に置き 結を検討する ・想定最大規模降雨における。 水を対象に、広域避難計画を 使いた洪水ハゲードマップを	確な避難行動のた。 る。 - H29年度 - H32年度 素 - H30年度 - H30年度	H31(R1)年度実績 めの取組	Δ -3	実施に向けた取り組みを継が	続 △ · 協 (*	協議会の中で広域避難計画 業)を策定する 程定最大規模降雨(「おける を対象に、広域避難計画 とた済水小学・マップを	着手 完了	H31(R1)年度実績 使・実施に向けた取り組みを継続 を・実施に向けた取り組みを継続 を・実施に向けた取り組みを継続 を・実施に向けた取り組みを継続 を・実施に向けた取り組みを継続 を・実施に向けた取り組みを継続	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続	www. △ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小貝川・利根川洪水避 能計画を策定中 鬼怒川・小貝川流域減災対策 総議会の中で広域避難計画 案)を策定する	着手 完了	・小良川・利根川洪水避難計を策定した。 ・広域遊聴の一端として、稲髪 地方広域市の一帯圏で相互応は、広 地方広域市が設定を続け、広 場場というで、東京では、 連路が一次は県土海で広域、 銀路が一次で、 ・小良川・利根川の最新の浸 地定版図を基に市で発行 ・地度に関係する。	面を受域 議世 水でツ	・小貝川・利根川洪水避難計 を策定した。 な英祖鏡の一端として、稲地 な英祖鏡の一端として、稲地 な英祖鏡の一端として、稲地 な方成場であり、西域 を表した。 建設計・10年に大きなた。 は一般ので大坂県主導で広域 変の中で天坂県主導で広域 変の中で天坂県主導で広域 で表した。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	画画 を選ば 議継 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	協議会の中で広域避難計画 業)を策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 状と対象に、広域避難計画	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 ・浜水ハザードマップの見面し 完了、区長への配布は類及び 公民館、図書館、庁舎等、必予	Δ ¥	洗水ハザードマップの見 ボアン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア
	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れる会頭に置き 対なへの受け入れる会頭に置き 結を検討する ・想定最大規模降雨における。 水を対象に、広域避難計画を 使いた洪水ハゲードマップを	確な避難行動のた。 る。 - H29年度 - H32年度 素 - H30年度 - H30年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、湯水ハザードマップを改定	Δ -3	実施に向けた取り組みを継材 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	続 △ · 協 (*	協議会の中で広域避難計 業)を策定する 思定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画。	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継続 g ・実施に向けた取り組みを継続 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する取明会を実施	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 株水ハザードマップの策定に する説明会を実施	www. △ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在. 小貝川・利根川洪水避 豊計画を策定中 東窓川・小貝川流域減災対策 高線会の中で広域避難計画 楽)を策定する 関東地整において、大規模氾 佐賀空区域見面し後, 洪水ハ	着手 完了	・小貝川・利根川洪水避難計 を策定した。一端として、稲男 地方広域市両村圏で相互応に関する災害協定した。 ・境形川・小貝川浦県主導で広域 難計画を策定した。 地では、 地では、 地では、 地では、 地では、 地では、 地では、 地では、 で発行した。 地では、 地では、 地では、 地では、 に関するいで、 を発行した。 地で、 地で、 地で、 に、 に、 に、 に、 の中で実施した。 地で、 地で、 地で、 に、 に、 に、 が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	面を受域議員・水でツ	・小貝川・利根川洪水避難計 を減定した。 広域避難の一端として、稲 砂力広境市向付額で相互応 ・原する災害協定を補い、近 最終計画を実立しか 競技・研究を を が、一大り川・利根川の最新の浸 別定区域図を基に市で発行 、 のお飲災の手引、が、サード プレアは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	画画	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 想定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度・洪水ハザードマップの見面し 完了、区長への配布依頼及び	△ 実	洗水ハザードマップの見 ボアン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア
	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れる会頭に置き 対なへの受け入れる会頭に置き 結を検討する ・想定最大規模降雨における。 水を対象に、広域避難計画を 使いた洪水ハゲードマップを	確な避難行動のた。 る。 - H29年度 - H32年度 素 - H30年度 - H30年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、浅水ハザードマップを改定	Δ -3	実施に向けた取り組みを継材 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	続 △ · 協 (*	協議会の中で広域避難計画 業)を策定する 程定最大規模降雨(「おける を対象に、広域避難計画 とた済水小学・マップを	着手 完了	H31(R1)年度実績 使・実施に向けた取り組みを継続 を・実施に向けた取り組みを継続 を・実施に向けた取り組みを継続 を・実施に向けた取り組みを継続 を・実施に向けた取り組みを継続 を・実施に向けた取り組みを継続	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 株水ハザードマップの策定に する説明会を実施	www. △ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在. 小貝川・利根川洪水避 豊計画を策定中 東窓川・小貝川流域減災対策 高線会の中で広域避難計画 楽)を策定する 関東地整において、大規模氾 佐賀空区域見面し後, 洪水ハ	着手 完了	・小貝川・科根川洪水避難計を策定した。 ・広域避難の一端として、稲泉 ・広域速離の一端として、稲泉 ・地方広域市町村圏で相互応に に関する災害に定た。 ・現窓川・小気城県主導で広域。 雑計画を策定した。 ・小貝川・科根川の暴新の浸 ・球区は域のを参に市で発行し、る防災の手引きいサードで ・フトシアンプ囲知股の会に ・(430.4) ・(430.4) ・(430.4) ・大学ンプ囲和股会会に、たり、大学ンプ囲和股会会に、たり、大学、大学・ドマップ囲和股会会に、たり、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、	面 な 受域 議論 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・小貝川・科根川洪水道難計 を寮実した。 広域避難の一端として、稲砂 地方広域市村原型で展生を に関する災害協定を結び、広 避難計画を策定した。 現窓川・小貝川・料租川の最新の浸 かった。 かった。 が、の手引きの・手引きの・手引きの・手引きの・手引きの・手引きの・手引きの・手引きの	画画	協議会の中で広域避難計画 業)を策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 状と対象に、広域避難計画	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続 完了、区長への配布依頼及び 公民館、図書館、庁舎等、公子 能設への設度により、全产を	△ 実	推水ハザードマップの見 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、
家の主な取組 ①透げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模時雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模時雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である。 が、次書を増えている自治体との協定を がた、次書を増えたを頭に置き かが、次書を持えている自治体との協定を がまた。広域避難計画を ・思定是大規模降雨における。 ・思によりたが、ケードマップを策 戻した洪水ハゲードマップを策 定する。	確な避難行動のた。	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、浅水ハザードマップを改定	△ -3	実施に向けた取り組みを継髪 浸水懸定区域の見直しに伴 、 洗水・ザードマップを改定 、 市内全戸に配布する	続 △ ·協(案 型) · 協(表	協議会の中で広域避難計 業)を策定する 思定量大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とした決水ハザードマップを した決水がサードマップを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定。 戸配布	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継髪 地球のサードマップの策定に する説明会を実施 共ないザードマップを策定。: 記載	iii (現在、小貝川・利根川洪水避 自計画を策定中 鬼怒川・小貝川流域減災対策 高級金の中で広域避難計画 業)を策定する 関東地撃において、大規模犯 と想定な場別面し後、洪水ハ デードマップを策定	着手 完了	・小貝川・科根川洪水避難計を策定した。 ・広域避難の一端として、稲泉 ・広域速離の一端として、稲泉 ・地方広域市町村圏で相互応に に関する災害に定た。 ・現窓川・小支城県主導で広域。 雑計画を策定した。 ・小貝川・科根川の暴新の浸 ・球区は域のを参に市で参げし、る防災の手引きいポートで、 ・バリン・ドードマップの活動と会にで、ハザードマップの活力 ・大きについては議会関係者 ・世界ので、大きない、大きない、大きない。 ・ボース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■ な 夏域 議員 水でツ 月月月 こ 長	・小貝川・科様川洪水避難計 を寮宝した。 広域連載の一端として、稲 地方広域市村間密等線でした。 理解計画を第定した。 東部川・小貝川・科様川の最新の景 がある。 がある。 小貝川・科様川の最新の景 がある。 小り川・科様川の最新の景 は、全下配が一ド (村20 A・ゲードマンブの送 会にて、パザードマンブの送 方法について協議を関係者 即明した。(1438)	画数を接続を表示しています。	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 想定是大規模際兩における &を対象に、広域避難計画 &した洗水ハ・ゲードマップの もしをする は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度・洗水ハザードマップの見重し デア「区長への配布改導及 小民族(の設置により、全戸を) 象に配布した。 度・今後県のモデル事業を取り)	△ 実	集水ハザードマップの見 東水ハザードマップの見 でア、区長への配布体類 にア、区長への配面により、全戸 に配布した。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
家の主な取組 ①透げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマッ ブの作成・周知等	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れるを調に置き 対体への受け入れるを制に置き が、災害協定を結んでいる自治体との協定 結を検討する ・想定最大規模降雨における。 水を対象に、広域避難計画を 快とた洪水、・ザードマップを策 定する	確な避難行動のた。	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、湯水ハザードマップを改定 し、市内全戸に配布する	△ -3	実施に向けた取り組みを継髪 浸水懸定区域の見直しに伴 、 洗水・ザードマップを改定 、 市内全戸に配布する	続 △ ·協(案 型) · 協(表	協議会の中で広域避難計画 業》を策定する 中定最大規模時間における を対象に、広域避難計画 にた法水ハザードマップを まする	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定。 戸配布	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継髪 地球のサードマップの策定に する説明会を実施 共ないザードマップを策定。: 記載	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小貝川・利根川洪水遊館計画を策定中 鬼怒川・小貝川流域減災対策 協議会の中で広域避難計画 業)を策定する 間東地撃において、大規模犯 監想定区域更直し後、洪水ハ ゲードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 組み中 大規模犯器区域見直し後、納	着手 完了	・小貝川・利根川洪水避難計を策定した。一端として福見からな災害協定を続び、広場では、「原子の対象を設する災害協定した。」 境路川・小貝県土壌では、広盟難計画を策定した。 ・境路川・小貝川・東線土壌で成場 大会防災の手引・を小子に、マンマン・リートマンフの場の・リードマンフの場合、大学、大学、アン・地区、大学、アン・ルールールールールールールールールールールールールールールールールールールー	前 女叉域 議議 水でツ 月9日 こ 長 弁	・小貝川・利根川洪水避難計 を販売した。 広域避難の一端として、稲 地方成域市両で相互応 に関する災害協定を結び、近 集影川・小貝川・環境が会が、 地方で東京では、 地方で東京では、 地方で東京では、 地方で東京では、 地方で東京であり、 地方で東京であり、 地方で東京であり、 地方で東京であり、 地方で東京であり、 地方で東京であり、 地方は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	画	協議会の中で広域避難計画 業)を策定する 想定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とたが水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 : 洗水ハザードマップの見直し 完了、区 是への配布依頼及び 公民館、図書館、庁舎等、公施設への設置により、全戸を女 象に配布した。	△ 実	施に向けた取組みを継げ 東水ハザードマップの見 ボア・医長の館に下なり で、医長の館に下が等等 設への設置により、全戸 に配布した。
 仮の主な取組 ①逸げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であった。災害協定を結んでいる自治体への受け入れた念頭に置き 特への受け入れた念頭に置き が、災害協定を結んでいる自治体への協定と が、災害協定と対している。 ・想定最大規模降雨における。 が、水を対象に、広域避難計画を 検した洪水ハザードマップを策 定する	確な避難行動のた。 る。	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに作い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する	Δ -3	実施に向けた取り組みを継射 浸水粉定区域の見直しに伴 、洗水・ザードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを継射	· 協	協議会の中で広域避難計画 業,を策定する 地定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洪水・ゲードマップを ました洪水・ゲードマップを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定。 戸配布	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継髪 地球のサードマップの策定に する説明会を実施 共ないザードマップを策定。: 記載	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在,小員川・利根川洪水避 着計画を策定中 鬼影川・小貝川流域減災対策 最影響を変更を 変更を 変更を を変更する 関東地壁において、大規様犯 差型定域見直し後、洪水ハ チードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 最み中 大規模氾濫区域見直し後、納 利果三条市等のハザードマップ 参考に拡充学 参考に拡充学	着手 完了	・小良川・利根川洪水避難計 を策定した。一端として、稲泉地方広域市間医で相互応・ に関する災害協定した。 ・鬼窓川・小貝川海県主導で広域・ 建設川・小貝川海県主導で広域・ 建設・小貝川河場により、 建設・100円のでは、 地定になり、全国には、 ・洗水ハザードマップ周知説・ 市内の2地区(北文明地区) ・市内の2地区(北文明地区) ・市内の2地区(北文明地区) ・市内の2地区(北文明地区) ・原本の2地区(北文明地区) ・原本の2地区(北文明地区) ・原本の2地区(北文明地区) ・原本の2地区(北文明地区) ・原本の2地区(北文明地区) ・原本の2地区(北文明地区) ・原本の2地区(北文明地区) ・原本の3地区 ・原本の3地区 ・原本	面を受域機器・水でツーリリー・長…・柱曲	・小貝川・利根川洪水避難計 を推定した。 広域避難の一端として、稲地 に関する父音域定を補い、 に関する父音域定を補い、 に関する父音域定を補い、 に関する父音域にを持い、 のすで支域県主導で広域 健計画を実定した。 想定は「線型」では、 が表して、サード・ プラリー・ が見し、全戸配布した。 (トラリー・ (トラリー・ (トラリー・ (トラリー・ である。 ではないます。 ではないまする。 ではないまする。 ではないます。 ではないまする。 ではないます。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	画	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた済水ハザードマップの 気しをする 満水浸水総地図の公表後、 満れ浸水総地図の公表後、 満に向けた検討を行う	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 : 浜水ハザードマップの見面に 完了。区長への配布依頼及ひ 公民館、図書館、庁舎等、公 施設への設置により、全戸を 象に配布した。 度 : 今後県のモデル事業を取り れ、整備・拡充に努める。	△ 字	共水ハザードマップの見 共水ハザードマップの見 でで、区長への配布体報 では、庁舎等 に配布した。 今後県のモデル事業を収 今後県のモデル事業を収
	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であった。災害協定を結んでいる自治体への受け入れた念頭に置き 特への受け入れた念頭に置き が、災害協定を結んでいる自治体への協定と が、災害協定と対している。 ・想定最大規模降雨における。 が、水を対象に、広域避難計画を 検した洪水ハザードマップを策 定する	確な避難行動のた。 る。 -H29年度 -H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -3	実施に向けた取り組みを継射 浸水粉定区域の見直しに伴 、洗水・ザードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを継射	· 協	協議会の中で広域避難計 業)を策定する 思定量大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とした決水ハザードマップを した決水がサードマップを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ア配布	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継髪 地球のサードマップの策定に する説明会を実施 共ないザードマップを策定。: 記載	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小園川・利根川洪水避 自計画を策定中 鬼別川・小貝川流域減災対策 最高機会の中で広域避難計画 業)を策定する 関東地整において、大規様犯 差型定区域見直し後、洪水ハ チードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 表別様二級とは見直し後、朝 場別に受験であるの、ザードマップを 要形成者施設において策定し にも選難計画の対象災害の対象災害の対象災害の対象災害の対象災害の対象災害の対象災害の対象災害	着手 完了 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H30年度 -H29年度 -H29年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度	・小良川・利根川洪水避難計を策定した。 ・「広域遊離の一端として、稲野からないまた。 ・「広域変離の一端屋で相互応し、広場である災害協議を発情がある災害ない高災災策に減災策策に減災策策に対し、大量を設しが、大量に対し、大量に	画 k 表域 議盟 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・小貝川・利根川洪水避難計 を推定した。 地域型域の一端として、稲地 に関する災害協定を補い。 に関する災害協定を補い。 に関する災害協定を補い。 は大力を対害協定を補い。 を対象ができない。 を対象ができない。 が表現が一次では、対策協会の中で支域県主導で広域 をの中で支域県主導で広域 が変は、一大の大力・ が表現が一大で、カード・ が表現が一大で、カード・ が表現が一大で、カード・ が表現が一大で、カード・ のの一般区(施文間)面の別 市内区)で他区(施文間)面の一般 をはて、ハザードで、カード・ では、対策が一大力のある。 は、現場では、対策が一大力のの一般 をはて、水野・ に、北野・ は、現場では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	画 b 接域 議	協議会の中で広域避難計画 業)を策定する 想定最天規模降雨における 核を対象に、広域避難計画 を対象に、広域避難計画 を対象に、広域避難計画 を対象に、広域避難計画 を対象に、広域避難計画 を対象に、広域避難計画 をする 要配成者利用施設において 要配成者利用施設において 更配成者利用施設において 更配成者利用施設において 更配成者利用施設において 更配成者利用施設において 更配成者利用施設において 更配成者利用施設において 更配成者利用施設において 更配成者利用施設において 更配成者利用施設において 更配成者利用施設において 更配成者利用施設において	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 : 浜水ハザードマップの見直し 完了、区長への配布体類を公 の設備、庁舎等、公 施設への設置により、全戸を: 象に配布した。 度 : 今後県のモデル事業を取り れ、整備:拡充に努める。 度 : 変配虚者利用施設へ選携権 保計画の作成促進に向けたア	△ 字	洪水ハザードマップの見頼 東水ハザードマップの見頼 アイス
	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である。 ・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の	確な避難行動のた。 る。 -H29年度 -H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに年 し、沸水ハザードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -3	実施に向けた取り組みを機制 浸水想定区域の見直しに作 、洗水ハゲードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを機制	· 協	協議会の中で広域避難計画 業,を策定する 地定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洪水・ゲードマップを ました洪水・ゲードマップを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ア配布	· 读 Δ · 读 · 读 · 讲 · 讲 · 讲 · 讲 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · · · ·	実施に向けた取り組みを継髪 地球のサードマップの策定に する説明会を実施 共ないザードマップを策定。: 記載	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小貝川・利根川洪水避 自計画を策定中 鬼怒川・小貝川流域減災対策 最終金の中で広域避難計画 業)を策定する 関東地整において、大規様犯 差型定区域見直し後、洪水ハ チードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 最み中 大規模氾濫区域見直し後、朝 場界三条市等のハザードマンフ 要配慮者施設において、策定し にも避難計画の対象災害の りに人業者・対象として位置づ ・ 避難訓練を支援	着手 完了	・小貝川・利根川洪水避難計 を策定した。一端として、稲郷 が力広域市両村圏で相互応し、同 が成立域市面村圏で相互応し、 ・境窓川・小貝県主導で広域 難計画を策定した。 ・境窓川・小貝県主導で広域 難計画を策定した。 ・地大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	面を受域機能・水でツー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・小貝川・利根川洪水避難計 を販売した。一端として、稲 地方域が同時で相互応 に関する災害協定を相び、 ・場合で大型が高速を相び、 ・現るので、 を取るので、 を取るので、 を取るので、 を取るので、 を取るので、 ・の手に、 ・ので、	画 b 張城 議	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 型定是大規模障碍における を対象に、広域避難計画 とした洪水・・・ゲートマップの ましをする 満水浸水総地図の公表後、 調に向けた検討を行う 委配慮者利用施設において	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 : 派水ハザードマップの見面し 完了 [区長への配布体類及り 公民館、図書館、庁舎等、公施設への設置により、全戸を 象に配布した。 度 : 今後県のモデル事業を取り れ、整備・拡充に勢める。 度 : 受配信者利用施設へ過程修 便計画の作成促進に向けたア ・受配信者利用施設へ過程修 ・受配信者利用施設へ過程修 ・受配信者利用施設へ過程修 ・受配信者利用施設へ過程を	△ 実	
後の主な取組 ①逸げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ の作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である。 ・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の	確な避難行動のた。 る。 -H29年度 -H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -3	実施に向けた取り組みを機制 浸水想定区域の見直しに作 、洗水ハゲードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを機制	· 協	協議会の中で広域避難計画 業,を策定する 地定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洪水・ゲードマップを ました洪水・ゲードマップを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ア配布	· 读 Δ · 读 · 读 · 讲 · 讲 · 讲 · 讲 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · · · ·	実施に向けた取り組みを継髪 地球のサードマップの策定に する説明会を実施 共ないザードマップを策定。: 記載	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小貝川・利根川洪水避 自計師を策定中 鬼影川・小貝川流域減災対策 鬼影川・小貝川流域減災対策 職業との中で広域避難計画 業を策定する 関東地整において、大規模犯 差型定域見直し後、洪水ハ チードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 最早、皇本市等のハザードマップ 要配慮者施設において策定し、 いる避難計画の対象災害の 中に水害も対象として位置づ ・、避難訓練を支援と 水防法改正を基に、介護給 の、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾	着手 完了 -H28年度 -H28年度 -H30年度 -H29年度 -H39年度 -H29年度 -H29年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H31年度	・小夏川・利根川洪水避難計 を策定した。一端として、稲泉地では「地方広域市団を関係した」 ・「鬼ぷ川・小泉川・小泉川・小泉川・小泉川・小泉川・小泉川・小泉川・小泉川・小泉川・小泉	面を受域機能・水でツーリリニー・長…・柱構・第…・面・こら・●	・小貝川・利根川洪水避難計 を販売した。 地方域場向一端として、 地方域場向可機を持ち、 に関する災害協定を補い、 現を別する災害協定を補い、 最後別・小貝川・現場が対象 総計画を策定した。 地方政策の手引をでなり、 地方政策の手引が、 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表したが、 が表した。 が表したが、 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 がました。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表した。 が表したが一ドマンブの が表して、がザードマンブの が表して、がザードマンブの が表して、がずードマンブの が表して、がずードマンブの では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	画 版 選域 議社 水 ペー・カ 別 语 ・ 「 信 書 記 に る ・ 「 元 書 記 に る ● ・ 「 元 書 記 に る ● ・ 「 元 書 記 に る ● ・ 「 元 書 記 に る ● ・ 「 元 書 記 に る ●	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 想定最大規模降雨における を対象に広域避難計画 以上洗水、サードマップの 以上洗水、サードマップの 以上をする 選水浸水配地図の公表後、 調に向けた検討を行う 更配慮者利用施設において をしている選挙計画の中に対して を対象として回る対象として回るけ、避	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続 東京 「	★ ・	
	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である。 ・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の	確な避難行動のた。 る。 -H29年度 -H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -3	実施に向けた取り組みを機制 浸水想定区域の見直しに作 、洗水ハゲードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを機制	· 協	協議会の中で広域避難計画 業,を策定する 地定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洪水・ゲードマップを ました洪水・ゲードマップを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ア配布	· 读 Δ · 读 · 读 · 讲 · 讲 · 讲 · 讲 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · · · ·	実施に向けた取り組みを継髪 地球のサードマップの策定に する説明会を実施 共ないザードマップを策定。: 記載	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在。小貝川・科根川洗水産 総計画を策定中 鬼怒川・小貝川流域減災対策 協議会の中で広域避難計画 家)を策定する 関東地整において、大規模氾 造型定区域見面し後、禁水ハ デードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 最み中 大規模氾濫区域見面し後、新 料果、全木市等のハザードマップ 参考に拡充予定 ・ を登記を対象を回じたいて策定 にした著名が表記されて策定 にした著名が表記されて、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	着手 完了 -H28年度 -H28年度 -H30年度 -H29年度 -H39年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度	・小貝川・科程川洗水避難計 を策定した。 ・小貝川・科程川洗水避難計 ・広域避難の一機として、稲砂 ・地方広域市町村圏で相互応 ・に関する災害協定を結び、広 ・強怒川・小英城県土海・で ・小貝川・利皮川の最可発行・ ・小貝川・利皮川の最可発行・ ・カス・フト・マップ周加設・ ・カス・ア・ディー・ア・フラー ・カス・ア・ディー・ア・フラー ・カス・ア・ディー・ア・フラー ・カス・ア・ディー・ア・フラー ・カス・ア・ディー・ア・フラー ・カス・ア・ディー・ア・フラー ・カス・ア・ディー・ア・フラー ・カス・ア・ディー・ア・フラー ・カス・ス・ア・ディー・ア・フラー ・カス・ス・ア・ディー・ア・フラー ・カス・ス・フト・ファー ・カス・ス・フト・ファー ・カス・ス・フト・ファー ・カス・ス・フト・ファー ・カス・ス・フト・ファー ・フト・フト・ファー ・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・	面を受域機能・水でツーリリー・長…・柱庫策…面であってと	・小具川・科根川洪水避難計 を東定した。 ・広域避難の一線として、脳 地方広域計画料面で相互の に域が主要を構立した。 ・現を川・小具川・列根川の景新の浸 ・小見川・列根川の景新の浸 ・小見川・列根川の景新の浸 ・小見川・列根川の景新の浸 ・小見川・列根川の景新の浸 ・小見川・列根川の景新の浸 ・小見川・列根川の景新の浸 ・小見川・列根川の景新の浸 ・小見川・一川の一部 ・小見川・一川の一部 ・小見川・一川の一部 ・小見川・一川の一部 ・一川の一部 ・一川の一部 ・一川の一部 ・「一一一一一一一一一一一一一 ・「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	画 b 張城 講社 水 ペママ 月 月 こ 長 _を 3のの 第 3 3 2 3 3 4 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 想定最大規模降雨における を対象に広域避難計画 以上洗水、サードマップの 以上洗水、サードマップの 以上をする 選水浸水配地図の公表後、 調に向けた検討を行う 更配慮者利用施設において をしている選挙計画の中に対して を対象として回る対象として回るけ、避	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度・洗水ハザードマップの見面し 完了、医長への配所を等。 公民館、回路にから等。 な民態、の配所を等。 な民態、のを置により、全戸をう 象に配布した。 度・令後順のモデル事業を取り) れ、整備・拡充に努める。 ・要配慮者利用施設へ週間確 探計画の作成で進に向けたア ・プケート調査を実施する。 ・要配慮者利用施設において、 ・変配慮者利用施設において、 ・変配慮者利用施設において、 ・変配慮者利用施設において、 ・でしている週間計画の中に	★ ・	集水ハザードマップの現 大水ハザードマップの 大水ハザードマップの 大田、図巻のの設置により、全 に配布した。 今後県のモデル事業を担 、整備・拡充に勢める。 東配慮者利用施設に対 ・プレー制調を実施する。 東配慮者利用施設に対 ・プレーにある。
	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である。 ・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の	確な避難行動のた。 る。 -H29年度 -H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -3	実施に向けた取り組みを機制 浸水想定区域の見直しに作 、洗水ハゲードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを機制	· 協	協議会の中で広域避難計画 業,を策定する 地定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洪水・ゲードマップを ました洪水・ゲードマップを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ア配布	· 读 Δ · 读 · 读 · 讲 · 讲 · 讲 · 讲 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · · · ·	実施に向けた取り組みを継髪 地球のサードマップの策定に する説明会を実施 共ないザードマップを策定。: 記載	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小貝川・利根川洪水避 自計師を策定中 鬼影川・小貝川流域減災対策 鬼影川・小貝川流域減災対策 職業との中で広域避難計画 業を策定する 関東地整において、大規模犯 差型定域見直し後、洪水ハ チードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 最早、皇本市等のハザードマップ 要配慮者施設において策定し、 いる避難計画の対象災害の 中に水害も対象として位置づ ・、避難訓練を支援と 水防法改正を基に、介護給 の、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾	着手 完了 -H28年度 -H28年度 -H30年度 -H29年度 -H39年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度	・小貝川・科様川洪水避難計 を策定した。 、広域避難の一端として 稲穏 地方広域市町村圏で相互応に関する災害協定を総び、広 避難計画を策定した。 ・・小貝川・利度川の最可染付に関する災害などが、 ・・小貝川・利度川の最可染付に ・・小貝川・利度川の最可染付に ・・フトを見慮し、全戸配イルた。 ・・決水、パザードーマップ周の設済 が表にて、・ゲードなどの地区が、 ・・アンの場合といる。 ・・アンの場合に、・・アンののののののののののののののののののののののののののののののののののの	画 k 要域 議世 水でツ 月ヨニ 長. 柱繭 策. 置 こらりをとけて	・小具川・科根川洪水避難計 を策定した。 には避難の一線として、脳 地方広域は市町村置で相互の、 地方広域は市町村置で相互の、 建酸計画を策定した。 ・ 全の中で支城県主導で広域 難計画を策定した。 ・ 小貝川・利根川の景新の浸行 のため次の手引を開始した。 ・ 小貝川・利根川の景新の浸行 のため次の手引を加 ・ 小りにからかいです。 ・ 小りにからかいです。 ・ 小りにからかいです。 ・ 小りにかられている。 ・ 小りにかられている。 ・ 小りにかられている。 ・ 小りにかられている。 ・ いりにかられている。 ・ いりにかられている。 ・ いりにかられている。 ・ いりにかられている。 ・ いりにかられている。 ・ いりにかられている。 ・ いりにかられている。 ・ いりにかられている。 ・ いりにかられている。 ・ いりにないる。 ・ でしないる。 ・ でしないる。 ・ でしないる。 ・ いりにないる。 ・ でしないる。 ・	画 後援域 議社 水でマッ 月刊 こ 長 ○ ○ ・	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 想定最大規模降雨における を対象に広域避難計画 以上洗水、サードマップの 以上洗水、サードマップの 以上をする 選水浸水配地図の公表後、 調に向けた検討を行う 更配慮者利用施設において をしている選挙計画の中に対して を対象として回る対象として回るけ、避	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続 東京 「	★ ・	
後の主な取組 ①透げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ で作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である。 ・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の・ (水の	確な避難行動のた。 る。 -H29年度 -H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -3	実施に向けた取り組みを機制 浸水想定区域の見直しに作 、洗水ハゲードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを機制	· 協	協議会の中で広域避難計画 業,を策定する 地定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洪水・ゲードマップを ました洪水・ゲードマップを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ア配布	· 读 Δ · 读 · 读 · 讲 · 讲 · 讲 · 讲 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · · · ·	実施に向けた取り組みを継髪 地球のサードマップの策定に する説明会を実施 共ないザードマップを策定。: 記載	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小貝川・利根川洪水避 自計師を策定中 鬼影川・小貝川流域減災対策 鬼影川・小貝川流域減災対策 職業との中で広域避難計画 業を策定する 関東地整において、大規模犯 差型定域見直し後、洪水ハ チードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 最早、皇本市等のハザードマップ 要配慮者施設において策定し、 いる避難計画の対象災害の 中に水害も対象として位置づ ・、避難訓練を支援と 水防法改正を基に、介護給 の、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾	着手 完了 -H28年度 -H28年度 -H30年度 -H29年度 -H39年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度	・小夏川・利根川洪水避難計 を策定した。一端として、稲泉 が力広域市で相互応び、 に関する災害により、 ・境別川・小貝川東上準で広域が、 建設川・小貝川東上準で広域が、 地支に域の手を策定した。 地支に域の手を乗をした。 地支に域の手を乗をした。 地支に域の手を手が、 かり、一月川・和田の最新の浸した。 地支に域の手、全戸配布した。 (19304) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 大田・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・	画 大栗城 繊維 水でツ 月刊 - 長. 柱南 策… 酉 ころでとけ (動計	・小貝川・利根川洪水避難計 を複定した。 を放変した。 の域差距の一端として、稲砂か広域市市で相互の に関する災害協定を結び、 塩度が一い貝川環域対策なって、域 量を制一、大りに関するでは、 地方は、中で、大りに、 ・一、	画 放援域 議組 水 水 マッ 月 月 コ - 「長」のの 第 × 画 にる所を計 バ 条	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 想定最大規模降雨における を対象に広域避難計画 以上洗水、サードマップの 以上洗水、サードマップの 以上をする 選水浸水配地図の公表後、 調に向けた検討を行う 更配慮者利用施設において をしている選挙計画の中に対して を対象として回る対象として回るけ、避	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続 東京 「	★ ・	
来の主な取組 ①逃げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であった。第一次では、10年的 (大のでは、10年的 (大のでは、10年的) (大のでは	確な避難行動のた。 る。 -H29年度 -H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -3	実施に向けた取り組みを機制 浸水想定区域の見直しに作 、洗水ハゲードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを機制	· 協	協議会の中で広域避難計画 業,を策定する 地定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洪水・ゲードマップを ました洪水・ゲードマップを は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	着手 完了	H31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ア配布	· 读 Δ · 读 · 读 · 讲 · 讲 · 讲 · 讲 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · 计 · 进 · · · ·	実施に向けた取り組みを継髪 地球のサードマップの策定に する説明会を実施 共ないザードマップを策定。: 記載	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小貝川・利根川洪水避 自計師を策定中 鬼影川・小貝川流域減災対策 鬼影川・小貝川流域減災対策 職業との中で広域避難計画 業を策定する 関東地整において、大規模犯 差型定域見直し後、洪水ハ チードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 最早、皇本市等のハザードマップ 要配慮者施設において策定し、 いる避難計画の対象災害の 中に水害も対象として位置づ ・、避難訓練を支援と 水防法改正を基に、介護給 の、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾 、保育園、病院等・支軽尾	着手 完了 -H28年度 -H28年度 -H30年度 -H29年度 -H39年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度 -H28年度 -H32年度	・小貝川・科根川洪水避難計 を策定した。 ・小貝川・科根川洪水避難計 を策定した。 ・ は減避整の一機として、稲息 ・ 地方広域市町村圏で相互応。 ・ 企器が一点を設定した。 ・ 小貝川・利根川川流災対策が ・ 一般医川・小貝川流災対策が ・ 一般医川・小貝川流災対策が ・ 一小貝川・利根川の最可染付した。 ・ 小貝川・利根川の最可染付した。 ・ 小貝川・利根川の最可染付した。 ・ 小貝川・利根川の最可染付した。 ・ 一次で、フラロのは、一次で、フラロのは、一次で、フラロのは、一次で、フラロのは、一次で、フラロのは、一次で、フラロのは、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で	画 大栗城 繊維 水でツ 月刊 - 長. 柱南 策… 酉 ころでとけ (動計	・小見川・科相川洪水避難計 を原常した。 は中道線の一線として、総 地方広域市町村面で相互広、 地方広域市町村面で相互広、 理解計画を第定した。 ・現刻川・小貝川芸術はの姿態が、近 ・小夏川・利根川の最新の浸 ・沙夏川・一段川の最新の浸 ・小夏川・利根川の最新の浸 ・小夏川・利根川の最新の浸 ・小夏川・利根川の最新の浸 ・小夏川・利根川の最新の浸 ・小夏川・利根川の最新の浸 ・小夏川・利根川の最新の浸 ・小夏川・利保川の ・大多川の ・大の ・大多川の ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の ・大	画 放援域 議組 水 水 マッ 月 月 コ - 「長」のの 第 × 画 にる所を計 バ 条	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 想定最大規模降雨における を対象に広域避難計画 以上洗水、サードマップの 以上洗水、サードマップの 以上をする 選水浸水配地図の公表後、 調に向けた検討を行う 更配慮者利用施設において をしている選挙計画の中に対して を対象として回る対象として回るけ、避	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続 東京 「	★ ・	
来の主な取組 ①透げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模時間による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模時間による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の第定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成、周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であった。第一次では、10年的 (大のでは、10年的 (大のでは、10年的) (大のでは	確な避難行動のた。 る。 -H29年度 -H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -3	実施に向けた取り組みを機制 浸水想定区域の見直しに作 、洗水ハゲードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを機制	様 △ · (本	協議会の中で広域避難計画業を策定する 理定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洗水ハザードマップを 表が、では、大学ないである。 満水浸水総地図の公表後、 満に向けた検討を行う 浸水想定区域内に該当施計	着手 完了 ***********************************	H31(R1)年度実績 変・実施に向けた取り組みを継続 変・実施に向けた取り組みを継続 減水ハザードマップの策定に 関する説明会と実施 以水がザードマップを策定。 戸配布 変・実施に向けた取り組みを継続	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 東水ハザードマップの策定に する説明会を実施 表ないザードマップを策定。 配布	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小員川・利根川洪水避 自計画を策定中 現窓川・小員川流域減災対策 現窓川・小員川流域減災対策 系と報定する 関東地整において、大規模犯 若要に取り直し後、洪水ハイ デードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 最初、主義を持ちたいで、 大規模に登して、 地区の対象、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	着手 完了	・小良川・利根川洪水避難計を策定した。 ・「広域道館の一様として、稲建して、稲建して、稲建して、稲建山の一様として、稲建山の上間をでは近点域が高速を増立した。 ・「地域計画を策定した。 ・「地域計画を策定した。 ・「地域計画を策定した。 ・「地域計画を策定した。 ・「地域計画を策定した。 ・「地域計画を策定した。 ・「地域に、の最新の浸むに、の最新の浸むに、のよりに、のよりに、「サードでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	画 k 夏域 議選 水 パ プ リ リ コ ニ 長	・小貝川・利根川洪水避難計 を養定した。 の場として、細胞なな類様の可能として、細胞なな類様の可能を発す。 となる現場である。 となる現場でありません。 となった場所である。 となった場所である。 となって突城県主導で広域 となって突城県主導で広域 となって突城県主導で広域 となって突城県主導で広域 というが良の手引を開かる。 いうが良の手引を関いたり、1/103-04 にいったが良の手引を関いたり、1/103-04 にいったが良の手引をいる。 はいった。 はいった。 はいの一般をは、次計画をの分がため、 では、水が一ドマンプ 周のの高 では、水が一ドマンプ 周のの高 が表して、ハゲードマンプ 周のの高 が表して、ハゲードマンプ 周のの高 が表して、ハゲードマンプ 周の。 では、次計画を向いて、から、1/103-04 に、水番やが、近路では、1/103-04 に、1/103-04 に、1/1	画	協議会の中で広域避難計画 業)を策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 を対象に広域避難計画 もした決水、ゲードマップの もしたする 満水浸水総地図の公表後、 満に向けた検討を行う 要配慮者利用施設においる をしている避難計画の中に対 をしている避難計画の中に対 をしている避難計画の中に対 をしている避難計画の中に対 をしている過難計画の中に対	新手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続 東京 「	☆ 「	表水ハザードマップの見解 ま水ハザードマップの見解 にて、区区最高、関連の に関係、図書により、全戸 に配布した。 、整備・拡充に勢める。 の配慮者利用施設へ過ぎ が最高を表現する。 ・ の配慮者利用施設へ過ぎ が表記である。 を関係している。 の配慮者利用施設へ過ぎ を記している。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のでは、できない。 のできない
来の主な取組 ①透げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模時間による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模時間による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成、周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 非難勧告の発令に着目したタイ ①避難勧告の発令に着目したタイ ①避難勧告の発令に着目したタイ	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であらが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れを含動に置き が、災害協定を結んでいる自治体への場合に適き がを対象に、広域避難計画を引き がを対象に、広域避難計画を引き がと対象に、広域避難計画を引き が、決対象に、広域避難計画を引き でである。 ・選、大阪のの公表後、急 ・選、大阪の必要が ・要配慮者利用施設の避難計画のの企業 ・要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の必要が、 ・必要配慮者 ・必要性 ・	確な避難行動のた。 る。 -H29年度 -H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -3	実施に向けた取り組みを機制 浸水想定区域の見直しに作 、洗水ハゲードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを機制	様 △ · (本	協議会の中で広域避難計画業を策定する 理定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洗水ハザードマップを 表が、では、大学ないである。 満水浸水総地図の公表後、 満に向けた検討を行う 浸水想定区域内に該当施計	着手 完了 ***********************************	大部(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・実施に向けた取り組みを継	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 表水ハザードマップの策定に ま水ハザードマップを策定.: 配布 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在。小貝川・利根川洪水灌 総計画を策定中 鬼怒川・小貝川流域減災対策 協議会の中で広域避難計画 家)を策定する 関東地整において、大規模ル 造地区域見面し後、洪水ハ デードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 最外にないで、大規模ル とは、東京 地区防災計画策定に向け取り 最外にないで、 を表にないで、 を表にないで、 を表にないで、 を表にないで、 を表にないで、 を表にないで、 を表にないで、 を表にないで、 を表にないで、 を表にいて、 を表にいて、 を表にいて、 を表にいるといて、 では、 の、 が、 の、 の、 が、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の	着手 完了	・小良川・利根川洪水避難計を策定した。 ・「広域道轄の一端として、稲建して、稲建かの一端として、稲建かの一端として、稲建かの一端として、稲建かの上端を設定が高います。 ・「大阪大阪域市部設定等に対応が高います。 ・「大阪大阪域市部設定等に対応が高います。 ・「小り見川・利根川の最新の別では、1000円で表域した。 ・「小ります。」 ・「中じないないます。」 ・「中じないます。」 ・「中じないまするいます。」 ・「中じないます。」 ・「中じないまするいます。」 ・「中じないまするいまするいます。」 ・「中じないまするいまするいまするいまするいます。」 ・「中じないまするいまするいまするいまするいまするいまするいまするいまするいまするいまする	画 大麦城 満進 水でツ 月月こ 長… 柱庸 策… 置 こら デミ汁 くき計 はのし	・小貝川・利根川洪水避難計 を養定した。 の一級として、細胞なな類似の一級として、細胞なな類似の一級として、細胞なな類似の一級として、細胞なな類似の一般として、細胞を表して、現実を実施した。 20世末1年大学に次の一般として、近日の一般を表した。 20世末1年大学に次の一般を表した。 20世末1年大学に次の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の	画	協議会の中で広域避難計画 家と策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 を対象に広域避難計画 を対象に広域避難計画 直した決水ハザードマップの 対したする 選出向けた検討を行う 委配慮者利用施設においる をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしてい	新手 完了	度 ・無水ハザードマップの見面した。 定・無水ハザードマップの見面した。 定・の後風のモデル事業を取りした。 を使い拡充した。 定・今後風のモデル事業を取りした。 を使い拡充した。 定・今後風のモデル事業を取りした。 を使い拡充した。 定・今後風のモデル事業を取りした。 定・今後風のモデル事業を取りした。 を使い拡充した。 定・今後風のモデル事業を取りが、主要に応えている避難計画の中に欠選に向けたアンケー接着を実施する。 で表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 なようタイムラインの見直しを、 う。ようタイムライン作成済み、平成・アタイムライン作成済み、平成・アタイムライン作成済み、平成・アタイムライン作成済み、平成・アタイムライン作成済み、平成・アタイムライン作成済み、平成・アタイムライン作成済み、平成・アストロート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 文字 → ・	洪水ハザードマップの見類 洪水ハザードマップの見類 に配くの配布は板類、 設への設置により、全戸 を機備・拡充に努める。 を機備・拡充に努める。 を開かる。 を開かる。 を関いてデル事業を取 はに配布した。 を関いてデル事業を取 はに配布した。 を関いてデル事業を取 はに配布した。 を関いてデル事業を取 はに配って、 を関いてデル事業を取 はに配って、 を関いてデル事業を取 はに配って、 と対象としている連載性画の中は はでする。 は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性のである。 は、対象としている連載性のである。 は、対象としている。 は、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が
家の主な取組 ①逸げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模時間による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模時間による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であらが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れを含動に置き が、災害協定を結んでいる自治体への場合に適き がを対象に、広域避難計画を引き がを対象に、広域避難計画を引き がと対象に、広域避難計画を引き が、決対象に、広域避難計画を引き でである。 ・選、大阪のの公表後、急 ・選、大阪の必要が ・要配慮者利用施設の避難計画のの企業 ・要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の避難計画ので、 ・必要配慮者利用施設の必要が、 ・必要配慮者 ・必要性 ・	確な避難行動のた。 る。 -H29年度 -H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -3	実施に向けた取り組みを機制 浸水想定区域の見直しに作 、洗水ハゲードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを機制	様 △ · (本	協議会の中で広域避難計画業を策定する 理定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洗水ハザードマップを 表が、では、大学ないである。 満水浸水総地図の公表後、 満に向けた検討を行う 浸水想定区域内に該当施計	着手 完了 ***********************************	大部(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・実施に向けた取り組みを継 g ・実施に向けた取り組みを継	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 表水ハザードマップの策定に ま水ハザードマップを策定.: 配布 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小員川・利根川洪水避 自計画を策定中 現窓川・小員川流域減災対策 現窓川・小員川流域減災対策 系と報定する 関東地整において、大規模犯 若要に取り直し後、洪水ハイ デードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り 最初、主義を持ちたいで、 大規模に登して、 地区の対象、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	着手 完了	・小良川・利根川洪水避難計 を策定した。 ・「広域遊離の一端屋で相互応、広域遊離の一端屋で相互応、広域が広域で相互応、広場で加速では、広場では、広場では、広場では、近場では、近場では、近場では、近場では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	画 大阪域 満世 水でツ 月月こ 長… 柱庸 策… 置 こら デミ汁 く 2.5 デミ 1.5 デェ	・小貝川・利根川洪水避難計 を養産した。 の場として、稲地 な英雄時間中村間で相互な 近域が関係である。 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	画 数据域 議社 水でで 月刊 長長 100 第3 鷹 むる所を計 3 条 時 はのし 直	協議会の中で広域避難計画 家と策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 を対象に広域避難計画 を対象に広域避難計画 直した決水ハザードマップの 対したする 選出向けた検討を行う 委配慮者利用施設においる をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 をしている過難がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしている過速がある。 をしてい	新手 完了	度 ・洪水ハザードマップの見画を 度・洪水ハザードマップの見画を 先了、反長への配布を構及し 公民館、の配所が音等。 念民館、の設置により、全戸を 象に配布した。 度・金融偏・拡充に努める。 ・ 要配偏者利用施設へ過程確保計画の作名で変生的する。 ・ 要配慮者利用施設へ過程を 使以計画の作名で変生に向けたフ ・ であた。 ・ であた。	→ 3元公施家 - 4れ - 1元 - 1	洪水ハザードマップの見類 洪水ハザードマップの見類 に配くの配布は板類、 設への設置により、全戸 を機備・拡充に努める。 を機備・拡充に努める。 を開かる。 を開かる。 を関いてデル事業を取 はに配布した。 を関いてデル事業を取 はに配布した。 を関いてデル事業を取 はに配布した。 を関いてデル事業を取 はに配って、 を関いてデル事業を取 はに配って、 を関いてデル事業を取 はに配って、 と対象としている連載性画の中は はでする。 は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性画の中は は、対象としている連載性のである。 は、対象としている連載性のである。 は、対象としている。 は、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が
家の主な取組 ①逸げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 主難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であらが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れた念頭に置き 特体への受け入れた念頭に置き 動を検討する ・想定最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・提工最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・ 機した洪水ハザードマップを策 定する ・張い屋右利用施設の避難計 画の作成及び避難訓練の実施	確な避難行動のた。 - H29年度 - H32年度 - H30年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 し、湯水ハザードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・変に関する講習会を 開催。R21末時点で、作成率約 5096	Δ -3	実施に向けた取り組みを継射 浸水形定区域の見直しに伴 、洗水・ザードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを継射 所型コロナウイルス団染症の 響により削練未実施	様 △ ·協東	協議会の中で広域避難計画 業を策定する 可定量大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた漢水ハザードマップを 調に向けた検討を行う 浸水想定区域内に該当施 浸水想定区域内に該当施	着手 完了 ***********************************	#31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継続 g ・実施に向けた取り組みを継続 i 別する説明を実施 ・決水ハザードマップを策定 p 配布 *要能に向けた取り組みを継続 なって、表示。表演別に対応したタムラインを策定	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 表水ハザードマップの策定に ま水ハザードマップを策定.: 配布 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小員川・利根川洪水避 自計画を策定中 鬼影川・小員川流域減災対策 最高をの中で広域避難計画 業)を策定する 関東地整において、大規様犯 若要なな場見直し後、洪水ハ チードマップを策定 地及防災計画策定に向け取り 表現では現りでは、 地ののがデードマップを策定 地の高型雑計画では、 のののがデードマップを策定 が、 のののがデードマップを策定 が、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	着手 完了	・小良川・利根川洪水避難計を策定した。 ・「広域道轄の一端として、稲壁とした。 ・「広域道轄のの一端として、稲壁として、稲壁の広域では、広域を設立を設立を設立を設立を設立を設立を設立を設立を設立を設立を設立を設立した。 ・「大きないるで、大きないないるで、大きないるで、大きないるで、大きないるで、大きないるで、大きないるで、大きないるで、大きないるで、大きないるで、大きないない。 これには、大きないない。 これには、大きないない。 これには、大きないない。 これには、大きないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	画 友要域 議選 水でツ 月月 - 長… 柱庸 策… 置ったりとける **計 はひし 直の	・小貝川・利根川洪水避難計 を推定した。 「関する災害協定を補び、一般に 「関する災害協定を補び、一般に 「関する災害協定を補び、一般に 「関する災害協定を補び、一般に 「関する災害協定を補び、一般に 「関する災害協定を補び、一般に 「関する災害協定を補び、一般に 「関する災害協定を補び、一般に 「関する災害など、力が、一般に 「関連など、力が、一次で、一般に 「関連など、力が、一次で、一般に 「大きないで、一般に 「大きないで、一	画 b 接域 議	協議会の中で広域避難計画 東)を策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 とと対象に、広域避難計画 とした洪水ハザードマップの 生したする 選に向けた検討を行う 要配慮者利用施設においる をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 を対象として位置づけ、避 理等の判断基準は作成済 を終くタイトラインについても をを付くなう	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続	 ★ ★<td>ボルバザードマップの見観 東水バザードマップの見明 東水バザードマップの見明 デア。区長への配布な頻報 に配布した。 今後環のモデル事業を取 、整備・拡充に努める。 を構・拡充に努める。 を開・拡充に対け、 に配応を対けた。 に配応を対けた。 に記がませた。 のでは、 のでは、</td>	ボルバザードマップの見観 東水バザードマップの見明 東水バザードマップの見明 デア。区長への配布な頻報 に配布した。 今後環のモデル事業を取 、整備・拡充に努める。 を構・拡充に努める。 を開・拡充に対け、 に配応を対けた。 に配応を対けた。 に記がませた。 のでは、
家の主な取組 ①逸げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 主難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であらが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れた念頭に置き 特体への受け入れた念頭に置き 動を検討する ・想定最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・提工最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・ 機した洪水ハザードマップを策 定する ・張い屋右利用施設の避難計 画の作成及び避難訓練の実施	確な避難行動のた。 - H29年度 - H32年度 - H30年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・選土交通者と共催で、避難確保計解に関する議署会を 開催。R21末時点で、作成率約 50%	Δ -3	実施に向けた取り組みを継射 浸水形定区域の見直しに伴 、洗水・ザードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを継射 所型コロナウイルス団染症の 響により削練未実施	様 △ ·協東	協議会の中で広域避難計画業を策定する 理定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とた洗水ハザードマップを 表が、では、大学ないである。 満水浸水総地図の公表後、 満に向けた検討を行う 浸水想定区域内に該当施計	着手 完了 ***********************************	#31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継続 g ・実施に向けた取り組みを継続 i 別する説明を実施 ・決水ハザードマップを策定 p 配布 *要能に向けた取り組みを継続 なって、表示。表演別に対応したタムラインを策定	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 表水ハザードマップの策定に ま水ハザードマップを策定.: 配布 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	現在、小員川・利根川洪水避 自計画を策定中 鬼影川・列川流域減災対策 最終をの中で広域避難計画 薬)を策定する 関東地整において、大規模犯 デードマップを策定 地名の中 地名の 地名の 地名の 地名の 地名の 地名の 地名の 地名の	着手 完了	・小良川・利根川洪水避難計を策定した。 ・小良川・利根川洪水避難計を策定した。 ・「広域道轄の一端として、稲壁として、稲壁の大阪域で利益の、広域を設置を設定を設定を発展を表す。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	画 k 表域 議選 水でツ 月 n n − 長 柱庸 策 富 2.5 f ≥ t t t t t t t t t t t t t t t t t t	・小貝川・利根川洪水避難計 を表定した。 な英雄の可能として、稲地 な英雄の可能として、稲地 な英雄の可能とれて、紀地 な英雄の可能を発動した。 などの大きなできまった。 はままった。 はまままった。 はまままった。 はまままった。 はまままった。 はまままった。 はまままった。 はまままた。 はまままたまた。 はまままた。 はまままたまた。 はまままたまた。 はまままたまた。 はまままたまた。 はまままたまた。 はまままたまた。 はまままたまたまた。 はまままたまたまたまた。 はまままたまたまたまたまた。 はまままたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	画	協議会の中で広域避難計画 東)を策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 とと対象に、広域避難計画 とした洪水ハザードマップの 生したする 選に向けた検討を行う 要配慮者利用施設においる をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 を対象として位置づけ、避 理等の判断基準は作成済 を終くタイトラインについても をを付くなう	着手 完了	度・洪水ハザードマップの見画を ・洪水ハザードマップの見画を 先了、展長へ旬配作者等。 先了、展長へ旬配作者等。 を設定の設置により、全戸を 象に配布した。 度・金融価者利用施設へ週間確 保計画の作名で変生において、 ・ 電配価者利用施設へ週間ではよいで、 ・ 電配価者利用施設へ週間ではよいで、 ・ 電配価者利用施設へ週間ではよいで、 ・ 電配価者利用施設へ週間ではよいで、 ・ 電配価者利用施設でありた。 ・ 電配価者利用施設でありた。 ・ 電配価者利用施設でありた。 ・ であいる。 ・ であいる。 ・ であいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	 ★ ★<td></td>	
来の主な取組 ①透げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤妻配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 非難動告の発令に着目したタイムラインの作成	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であらが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れた念頭に置き 特体への受け入れた念頭に置き 動を検討する ・想定最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・提工最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・ 機した洪水ハザードマップを策 定する ・張い屋右利用施設の避難計 画の作成及び避難訓練の実施	確な避難行動のた。 - H29年度 - H32年度 - H30年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 し、湯水ハザードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・変に関する講習会を 開催。R21末時点で、作成率約 5096	Δ -3	実施に向けた取り組みを継射 浸水形定区域の見直しに伴 、洗水・ザードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを継射 所型コロナウイルス団染症の 響により削練未実施	様 △ ·協東	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 型定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とした洗水・ゲードマップを とする 満水浸水配地図の公表後 制に向けた検討を行う 浸水想定区域内に該当施 が タイムラインの策定を行う	着手 完了 ***********************************	#31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継続 g ・実施に向けた取り組みを継続 i 別する説明を実施 ・決水ハザードマップを策定 p 配布 *要能に向けた取り組みを継続 なって、表示。表演別に対応したタムラインを策定	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 表水ハザードマップの策定に ま水ハザードマップを策定.: 配布 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続		現在、小貝川・利根川洗水連 能計画を策定中 無窓川・小貝川流域減災対策 認識会の中で広域避難計画 東多策定する 関東地整において、大規模記 が発展して、大規模記 が発展して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模に が表現して、大規模に が表現して、 を考に、地方予定 を考に、地方予定 を考に、地方予定 を表して、が表現で が表現して、 が表現した。 を表現した。 がままれて、 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 がままれて、 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 がままれて、 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 がままままた。 がまままままた。 がまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	着手 完了 - H28年度 ・H28年度 - H28年度 ・H30年度 - H28年度 ・H39年度 - H28年度 ・H32年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度	・小貝川・科様川洪水避難計 を策定した。 ・ 「はは避難の一機として 稲穏 ・ 「はば避難の一機として 稲穏 ・ 「はば避難の一機として 稲穏 ・ 「は関する災害協定を結び、 広 避難計画を策定した。 ・ 小貝川・利度川にの最可発付に ・ 「かり長川・利度川にの最可発付に ・ 「かり長川・利度川にの最可発付に ・ 「かり長川・利度川にの最可発付に ・ 「から見し、全戸配イル」 ・ 「決水、パザードマップ 周知の活 ・ 「決水、パザードマップ 周知の活 ・ 「決水、パザードマップ 周知の活 ・ 「表で、パザードマップ 周知の活 ・ 「表で、パゲードで、アップ 周知の活 ・ 「表で、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので	画 k 要域 繊維 水 ボ ヤ	・小見川・料相川洪水避難計 を繁型した。 ・地方は域市町村間で相互の 地方に域市町村間で相互の 地方に域市町村間で相互の 原理する災害はたき。 ・小見川・利根川の最新の浸行 ・小見川・利根川の最新の浸行 ・小見川・利根川の最新の浸行 ・小見川・利根川の最新の浸行 ・小見川・利根川の最新の浸行 ・小見川・利根川の最新の浸行 ・小見川・利根川の最新の浸行 ・小見川・利根川の最新の浸行 ・小見川・小マングの活動 を登して、ハゲードマンプの活動 を受して、ハゲードマンプの活動 を関いて、19世ードマングの活動 を受して、19世ードマングの活動 を受して、19世ードマングの活動 を発して、19世ードマングの表面を ・では、19世ードでは、1	画	協議会の中で広域避難計画 東)を策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 とと対象に、広域避難計画 とした洪水ハザードマップの 生したする 選に向けた検討を行う 要配慮者利用施設においる をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 を対象として位置づけ、避 理等の判断基準は作成済 を終くタイトラインについても をを付くなう	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続	 ★ ★<td>東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 デア。区長への配布は常等。 「設施、回巻館、より、全戸 (会養・拡充に努める。) 東配慮者利用施設へ迎前 ナーの記念を実施される。 東配慮者利用施設へ過ずナー を表現を表現を表現を表現を表現している。 東配慮者利用施設へ過ずた。 「というなとしている。 「というなとしている。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。」 「は、一般等を支援する。</td>	東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 デア。区長への配布は常等。 「設施、回巻館、より、全戸 (会養・拡充に努める。) 東配慮者利用施設へ迎前 ナーの記念を実施される。 東配慮者利用施設へ過ずナー を表現を表現を表現を表現を表現している。 東配慮者利用施設へ過ずた。 「というなとしている。 「というなとしている。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。」 「は、一般等を支援する。
家の主な取組 ①逸げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 主難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であらが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れた念頭に置き 特体への受け入れた念頭に置き 動を検討する ・想定最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・提工最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・ 機した洪水ハザードマップを策 定する ・張い屋右利用施設の避難計 画の作成及び避難訓練の実施	確な避難行動のた。 - H29年度 - H32年度 - H30年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・選土交通者と共催で、避難確保計解に関する議署会を 開催。R21末時点で、作成率約 50%	Δ -3	実施に向けた取り組みを継射 浸水形定区域の見直しに伴 、洗水・ザードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを継射 所型コロナウイルス団染症の 響により削練未実施	技術 △ ・協業	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 型定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とした洗水・ゲードマップを とする 満水浸水配地図の公表後 制に向けた検討を行う 浸水想定区域内に該当施 が タイムラインの策定を行う	着手 完了 ***********************************	#31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継続 g ・実施に向けた取り組みを継続 i 別する説明を実施 ・決水ハザードマップを策定 p 配布 *要能に向けた取り組みを継続 なって、表示。表演別に対応したタムラインを策定	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 表水ハザードマップの策定に ま水ハザードマップを策定.: 配布 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続		現在、小貝川・利根川洪水避 自計画を策定中 鬼影川・外貝川流域減災対策 鬼影川・小貝川流域減災対策 高素との中で広域避難計画 薬)を策定する 関東地整において、大規様犯 若要なな規見直し後、洪水ハ チードマップを策定 地区防災計画策定に向け取り おか中 大規模犯濫区域見直し後、第 海県工会本市等のハザードマップを 要配慮者施設において、策定し いる避難計画作成を依 が、大力に必要を基に、介度を を を を のとして、 を が、 のとして、 のとして、 のとして、 のとして、 のとして、 のとして、 のとして、 のとして、 のとして、 のとして、 のとして、 のとして、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに	着手 完了 - H28年度 ・H28年度 - H28年度 ・H30年度 - H28年度 ・H39年度 - H28年度 ・H32年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度	・小貝川・科様川洪水 避難計 には場合の一端として 稲砂 には は	画 友 坂域 議選 水 ボブッ 月月 - 長… 柱南 策… 置 こら デェ 計 な 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・小具川・科根川洪水避難計 を東定した。 ・地方に政体制度の一線として、総 地方に政体制度の一線として、総 地方に政体制度の一線として、総 地方に政体制度の一線として、総 地方に政体制度の一線として、総 を関する実質になった。 ・小見川・利根川の最新のデバンが、 ・小見川・利根川のの一般であった。 ・小見川・利根川のの一般であった。 ・小見川・利根川のの一般であった。 ・小見川・利根川海の一般である。 ・小見川・利根川海の一般である。 ・小見が、は ・いのでは、 ・いのでは、 ・いのでは、 ・いのでは、 ・いのでは、 ・いのでは、 ・いのでは、 ・いのでは、 ・いのでは、 ・いのでは、 ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は ・は	画 放援域 議組 水で 月刊 - 長 - の	協議会の中で広域避難計画 東)を策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 とと対象に、広域避難計画 とした洪水ハザードマップの 生したする 選に向けた検討を行う 要配慮者利用施設においる をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 を対象として位置づけ、避 理等の判断基準は作成済 を終くタイトラインについても をを付くなう	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続	 ★ ★<td>東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 デア。区長への配布は常等。 「設施、回巻館、より、全戸 (会養・拡充に努める。) 東配慮者利用施設へ迎前 ナーの記念を実施される。 東配慮者利用施設へ過ずナー を表現を表現を表現を表現を表現している。 東配慮者利用施設へ過ずた。 「というなとしている。 「というなとしている。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。」 「は、一般等を支援する。</td>	東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 デア。区長への配布は常等。 「設施、回巻館、より、全戸 (会養・拡充に努める。) 東配慮者利用施設へ迎前 ナーの記念を実施される。 東配慮者利用施設へ過ずナー を表現を表現を表現を表現を表現している。 東配慮者利用施設へ過ずた。 「というなとしている。 「というなとしている。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。」 「は、一般等を支援する。
家の主な取組 ①逸げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模時雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模時雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 主難勧告の発令に着目したタイムラインの作成 ②タイムラインに基づく首長も参加	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であらが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れた念頭に置き 特体への受け入れた念頭に置き 動を検討する ・想定最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・提工最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・ 機した洪水ハザードマップを策 定する ・張い屋右利用施設の避難計 画の作成及び避難訓練の実施	確な避難行動のた。 - H29年度 - H32年度 - H30年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・選土交通者と共催で、避難確保計解に関する議署会を 開催。R21末時点で、作成率約 50%	Δ -3	実施に向けた取り組みを継射 浸水形定区域の見直しに伴 、洗水・ザードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを継射 所型コロナウイルス団染症の 響により削練未実施	技術 △ ・協業	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 型定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とした洗水・ゲードマップを とする 満水浸水配地図の公表後 制に向けた検討を行う 浸水想定区域内に該当施 が タイムラインの策定を行う	着手 完了 ***********************************	#31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継続 g ・実施に向けた取り組みを継続 i 別する説明を実施 ・決水ハザードマップを策定 p 配布 *要能に向けた取り組みを継続 なって、表示。表演別に対応したタムラインを策定	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 表水ハザードマップの策定に ま水ハザードマップを策定.: 配布 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続		現在、小貝川・利根川洗水連 能計画を策定中 無窓川・小貝川流域減災対策 認識会の中で広域避難計画 東多策定する 関東地整において、大規模記 が発展して、大規模記 が発展して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模に が表現して、大規模に が表現して、 を考に、地方予定 を考に、地方予定 を考に、地方予定 を表して、が表現で が表現して、 が表現した。 を表現した。 がままれて、 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 がままれて、 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 がままれて、 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 がままままた。 がまままままた。 がまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	着手 完了 - H28年度 ・H28年度 - H28年度 ・H30年度 - H28年度 ・H39年度 - H28年度 ・H32年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度	・小貝川・科根川洪水避難計を類定した。 ・小貝川・科根川洪水避難計を類定した。 ・小貝川・科根川洪水避難計を類定した。 ・小貝川・利根・国内に対して、一般を行って、一般を引き、	画 k 要域 繊維 水でツ Proning 長. 柱南 策…面 niantest to the t	・小長川・科様川洪水避難計 を繁党した。 ・地方は東市村田田・相互の 地方に東市市村田・相互の 地方に東京を構立した。 ・地方は東京の ・地方は東京の ・小良川・利根川の最新の浸行 ・小良川・利根川の最新の浸行 ・小良川・利根川の最新の浸行 ・小良川・利根川の最新の浸行 ・小良川・利根川の最新の浸行 ・小良川・利根川の最新の浸行 ・カルの形成の手手の形布 した。 ・小良川・利根川の最新の浸行 ・カルの下にまた。 ・小良川・利根川の最新の浸行 ・カルの下にまた。 ・小良川・利根川の最新の ・カルの下にない。 ・小良川・利根川県加州の ・電子の一般になりが ・では、一の一般になり ・では、一の一般にない。 ・では、一の一般にない。 ・では、一の一般にない。 ・では、一の一般にない。 ・では、一の一般にない。 ・では、一般にない。 ・の実践的な、本質がない。 ・の実践的な、本質がない。 ・の実践的な、本質がない。 ・の実践的な、本質がない。 ・の実践的な、本質がない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	画	協議会の中で広域避難計画 東)を策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 とと対象に、広域避難計画 とした洪水ハザードマップの 生したする 選に向けた検討を行う 要配慮者利用施設においる をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 を対象として位置づけ、避 理等の判断基準は作成済 を終くタイトラインについても をを付くなう	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続	 ★ ★<td>東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 デア。区長への配布は常等。 「設施、回巻館、より、全戸 (会養・拡充に努める。) 東配慮者利用施設へ迎前 ナーの記念を実施される。 東配慮者利用施設へ過ずナー を表現を表現を表現を表現を表現している。 東配慮者利用施設へ過ずた。 「というなとしている。 「というなとしている。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。」 「は、一般等を支援する。</td>	東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 東水ハザードマップの見頭 デア。区長への配布は常等。 「設施、回巻館、より、全戸 (会養・拡充に努める。) 東配慮者利用施設へ迎前 ナーの記念を実施される。 東配慮者利用施設へ過ずナー を表現を表現を表現を表現を表現している。 東配慮者利用施設へ過ずた。 「というなとしている。 「というなとしている。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。 「は、一般等を支援する。」 「は、一般等を支援する。
家の主な取組 ①逸げ遅れゼ 域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模時雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模時雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 主難勧告の発令に着目したタイムラインの作成 ②タイムラインに基づく首長も参加	プロに向けた迅速かつ的: マップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であらが、災害協定を結んでいる自治体への受け入れた念頭に置き 特体への受け入れた念頭に置き 動を検討する ・想定最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・提工最大規模降雨における記 が、水を対象に、広域避難計画を ・ 機した洪水ハザードマップを策 定する ・張い屋右利用施設の避難計 画の作成及び避難訓練の実施	確な避難行動のた。 - H29年度 - H32年度 - H30年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度 - H32年度	H31(R1)年度実績 めの取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・選土交通者と共催で、避難確保計解に関する議署会を 開催。R21末時点で、作成率約 50%	Δ -3	実施に向けた取り組みを継射 浸水形定区域の見直しに伴 、洗水・ザードマップを改定 、市内全戸に配布する 実施に向けた取り組みを継射 所型コロナウイルス団染症の 響により削練未実施	技術 △ ・協業	協議会の中で広域避難計画 案)を策定する 型定最大規模降雨における を対象に、広域避難計画 とした洗水・ゲードマップを とする 満水浸水配地図の公表後 制に向けた検討を行う 浸水想定区域内に該当施 が タイムラインの策定を行う	着手 完了 ***********************************	#31(R1)年度実績 g ・実施に向けた取り組みを継続 g ・実施に向けた取り組みを継続 i 別する説明を実施 ・決水ハザードマップを策定 p 配布 *要能に向けた取り組みを継続 なって、表示。表演別に対応したタムラインを策定	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施に向けた取り組みを継続 表水ハザードマップの策定に ま水ハザードマップを策定.: 配布 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続		現在、小貝川・利根川洗水連 能計画を策定中 無窓川・小貝川流域減災対策 認識会の中で広域避難計画 東多策定する 関東地整において、大規模記 が発展して、大規模記 が発展して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模記 が表現して、大規模に が表現して、大規模に が表現して、 を考に、地方予定 を考に、地方予定 を考に、地方予定 を表して、が表現で が表現して、 が表現した。 を表現した。 がままれて、 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 がままれて、 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 がままれて、 が表現した。 が表現した。 が表現した。 が表現した。 がままままた。 がまままままた。 がまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	着手 完了 - H28年度 ・H28年度 - H28年度 ・H30年度 - H28年度 ・H39年度 - H28年度 ・H32年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度 - H28年度 ・H31年度	・小貝川・科根川洪水避難計 を策定した。 ・広域避難の一端として、程度 ・広域速離の一端として、程度 ・広域速離の一端として、程度 ・地方広域地市町村圏で相互応広 連難配川・河域に関する受害を定した。 ・小貝川・ 科根川の最新の 浸する場合である。 ・小貝川・ 科根川の最新の 浸が上の。 ・ ア・ブラの影響 ・ ア・ブラの歌響 ・ ア・ブラー ・ 連 ・ 連 ・ 連 ・ 連 ・ 連 ・ 連 ・ 連 ・ 連 ・ ボール・・ ア・ブラー ・ 連 ・ ボール・・ ア・ブラー ・ 連 ・ ボール・・ ア・ブラー ・ でいる。 ・ ア・ブラー ・ ア	画 な 受域 議社 水 ボ プリ 月明 コー 長… 柱庸 策… 置 ごら 下と 計 く ル計 は かし 直の ル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・小貝川・科様川洪水避難計 を寮宝した。 ・地方広域計画中の線として、稲原 地方広域計画中高空集定した。 ・地方広域計画中高空集定した。 ・選野計画を第定した。 ・現野1・小貝川・科様川に最新の設 ・小貝川・科様川に最新の記 ・小野にからからい。 ・小野にからいた。 ・小野にからいた。 ・小野にからいた。 ・小野にからいた。 ・小野にからいた。 ・小野にからいた。 ・いがらいた。 ・いがいた。 ・いがいた。 ・いがいた。 ・いがいた。 ・いがいた。 ・いがいた。 ・いがいた。 ・いがいた。 ・いがいた。 ・いがいた。 ・いいには、 ・いいには、 ・いいには、 ・いいには、 ・のは、 ・のは、 ・がいた。 ・いいには、 ・のは、 ・のは、 ・がいた。 ・いいには、 ・のは、 ・がいた。 ・いいには、 ・のは、 ・がいた。 ・のは、 ・がいた。 ・が、 ・が、 ・が、 ・が、 ・が、 ・が、 ・が、 ・が、	画	協議会の中で広域避難計画 東)を策定する 想定最天規模降雨における を対象に、広域避難計画 とと対象に、広域避難計画 とした洪水ハザードマップの 生したする 選に向けた検討を行う 要配慮者利用施設においる をしている過難計画の中に対 をしている過難計画の中に対 を対象として位置づけ、通 理等の判断基準は作成済 を終くタイトラインについても をを分くなう	着手 完了	度 実施に向けた取組みを継続 度 実施に向けた取組みを継続	 ★ ★<td>ボ施に向けた取組みを継ぎ ボルバザードマップの見頼 アファ 医長への配合な頻等 での最高により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの表面であります。 ののまであります。 ののまでするであります。 ののまでするであります。 ののまでするであります。 ののまでするでするでするでするですで</td>	ボ施に向けた取組みを継ぎ ボルバザードマップの見頼 アファ 医長への配合な頻等 での最高により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの設置により、全戸 のの表面であります。 ののまであります。 ののまでするであります。 ののまでするであります。 ののまでするであります。 ののまでするでするでするでするですで

事項 内容	実施内容	実施期		実施状況	R2年度実績	実施状況	足 実施内容	実施		実施状況 R2年度実績	実施状況 実施内容		施期間	龍ケ崎市 H31(R1)年度実績	実施状況 R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		実施状況	R2年度実績
 (3)防災教育や防災知識の普及		着手	完了	X 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	NZ+IXX4R	X112 DV.	大池 14	着手	完了	八世十八人根	Zie viol	着手	完了	1101(117)十汉大明	大声	X115 W.70	大ルド1日	着手 完	7	X 85 0000	八七十八人根
①水災害に事前準備に関する問い 合わせ窓口の設置	せに対応できるよう、見本回答	·H28年度 ·H3	32年度 ・窓口について内部調整を実施	0	・窓口について内部調整を実施	0	・ケース(地域)ごとの問い合わせ窓口を明確にする	•H28年度	- H32年度 ・窓口について内部調整を実力	施 〇 ・窓口について内部調整を実施	○ ・問い合わせ窓口を設置	する ·H28年月	₹ •H28年度	・水災害等に関する問い合わせ 窓口を設置している。(平時に は市危機管理課で対応し、災害 対応時には相談窓口班による 対応としている)	 小災害等に関する問い合わせ 窓口を設置している。(平時に は市危機管理課で対応し、災害 対応時には相談窓口班による 対応としている) 		問合せ窓口を設置している。	•H28年度 •H28	年度・災害対応時には、交通防災 課、道路建設課、施設管理課に よる対応としている	: 8	災害対応時には、交通防災 果、道路建設課、施設管理課に よる対応としている
②水筋災に関する説明会の開催	する	-H28年度 -H3	92年度・防災講演会、自主防災訓練、 小中学校防災訓練・地域防災 訓練等での説明を継続実施	0	新型コロナウイルス感染症の 影響により訓練未実施	x	・地域防災訓練にて実施する	•H28年度	- H32年度 ・自治会や自主防災組織での 訓練時、出前講座等で講話を 実施	・自治会や自主防災組織での 訓練時、出前講座等で講話を 実施	○ -9/1~9/8下館河川事表 怒川・小貝川下流域大力 窓に関する減災対策協 連携、常総市水害に関 ネル経展示予定 ・浸水想定区域対象他の イ・タイムライン作成課員 し、住民の自動意識を啓 る。	模氾 会と るパ にてマ・H29年原 を実施	-H29.9 -H32年度	・9/1~9/8下館河川事務所(鬼窓川)・19/1~9/8下館河川事務所(鬼窓川) オース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カ	1-9/1~9/8下盤河川事務所(鬼窓 川・小貝川下海域大規模氾濫に関する成立対策協議を上連携し需 総市水害に関するパネルを展示。地域からの変型によるのを中心に、出前減廃の中で防災金銭に、その中で、日本の変量の変量が発生の場合である。 1		実施に向けて検討する	-H28年度 -H32	年度 一	# 4 - r - r - r - r - r - r - r - r - r -	茨城県の避難力強化事業を実施し、マイタイムラインの作成 や地域の危険的所の再確認を テった。 地域からの要望によるものを 中心に、出前講座の中で防災 を設についての説明会を実施 、その中で水災害の説明を デった。 、タイムライン作成の説明を 多度ヶ浦河川事務所の協力のも に、豊津小学校での別説訓練さ
③教員を対象とした講習会の実施	・例年、防災講演会への教員の参加要請を行っている	-H30年度 -H3	30年度・防災講演会に参加	•	新型コロナウイルス感染症の 影響により講演会中止	×	・浸水想定区域にある小学校を 対象に講習会を実施する。	•H29年度	・H32年度 ・実施に向けた取り組みを継続	読 △ ・実施に向けた取り組みを継続	△ -市内愛宕中学校におい 貝川水災害教育を実施 その他、学校担当課と調 実施を検討していく	定。	€ ·H32年度	(・小中学生への講習会を教員 も含め実施)	○ (・小中学生への講習会を教員 も含め実施)	O · i 対	浸水想定区域にある小学校 対象に講習会を実施する	を ·H29年度 ·H32	おいて、タイムライン作成講座 年度・小学校からの要望によるもの を中心に、説明会を実施し、そ の中で水災害の説明を行った	0	おいて、タイムライン作成講座 小学校からの要望によるもの を中心に、説明会を実施し、そ カ中で水災害の説明を行った
③小学生を対象とした防災教育の 実施	せて、防災士等に協力を要請 し、防災に対する講習等の実施		28年度 ・小中学校防災訓練にて防災 士等も参加し、地域住民と連携 した訓練を実施		小学校(2校)にて実施	•	・市内小中高校を対象に出前謎 座により実施する	*H28年度	·H32年度 -実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・平成28年6月5日市内 災別練において、水戸気 の支援を受けて、防災勢 施 ・市防災気象アドバイザ 託が市内小中学生に向 防災教育を実施	象台 育を実 ・H28年月 - (委		・市内小中学校を対象とした防 災教育を一部の学校で実施 ・市内一部の小中学校で実施 ・大宮地区の小学生を対象にマ イ・タイムライン作成講座を実施 した。(R1.6)	・市内小中学校を対象とした防 災教育を一部の学校で実施 ・市内一部の小中学校で実施 ・大宮地区の小学生を対象にマイ・タイムライン作成講座を実施 した。(R1.6)	対 O	浸水想定区域にある小学校 対象に実施する	を ・H28年度 ・H32	年度・漫水想定区域にある小学校で、洪水等に関する防災教室を実施		浸水想定区域にある小学校 で、洗水等に関する防災教室を 実施
⑤出前講座等を活用した講習会の 実施 ⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報	・広報誌等でのプッシュ型の洪 水予報等の情報入手手段の周 知を検討	-H28年度 -H2	28年度 - 市報掲載し、情報の入手方法 を答発する	•	・市報等により、情報取得手段 について適宜、周知している。	•	-情報の入手方法について啓発 していく。	-H28年度	-H32年度 -訓練や出前講座, 防災研修 などで啓発	会 ・訓練や出前講座、防災研修会 などで啓発	・広報車、防災行政無線 ル配信、エリアメールに、 発信 ・音声一斉配信 スを導入	メー ・H28年月 つて サービ・H29年月		信、エリアメールによって発信。 ・小貝川・利根川にてブッシュ型メール配信サービスを実施した。 ・一声一斉配信サービスを導入し、 土砂災害警戒区域住民に電話で	・広報車、防災行政無線、メール 信、エリアメールによって発信。 ・小見川・村根川にてブッシュ型 メール配信サービスを導入し、 ・音声一斉配信サービスを導入し、 土砂災害衰戍居様日に電話で	ル	広報車、防災行政無線、メー 配信、ツイッター、フェイス ック等によって配信。		年度・避難動告発令の際に、独居老人へ直接避難を促す電話連絡 及び連絡が付かない家への訪問を実施する。 ・広報車、防災行政無線、メー ル配信、ツィッター、フェイス	• .	避難勧告発令の際に、独居老 人へ直接避難を促す電話連絡 及び連絡が付かない家への訪 西を実施する 広報車、防災行政無線、メー ル配信、ツイッター、フェイス
発信	No. 11 and 16 of the control of the													土砂災害警戒情報を発表した。 (H29.6~)	土砂災害警戒情報を発表した。 (H28.6~) - 防災アプリの導入(R2.8)	•			ブック等によって配信。 ・ヤフー株式会社と災害時の協定を締結し、ブッシュ型の情報 発信による体制強化を図った。	• 5	ブック等によって配信。 ・ヤフ一株式会社と災害時のほ 定を締結し、プッシュ型の情報 発信による体制強化を図った。
⑦水位計やライブカメラ等の情報: リアルタイムで提供	を 等をリンク先で提供する		32年度 ・滅災対策協議会のリンクを設 定する ・川の防災情報をリンクして情 報提供を行なった。		・滅災対策協議会のリンクを設定する ・川の防災情報をリンクして情報提供を行なった。	0	情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報を提供している		・ 市公式サイトにて、川の防災情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報提供を行った。	情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報提供を 行った。	情報のリンクを付し、情報 供している	防災 ・H28年原 を提	E -H28年度	・市公式サイトにて、川の防災情報のリンクを付し、情報提供を行った	 市公式サイトにて、川の防災 情報のリンクを付し、情報提供 を行った 	情像で	青報(水位及びライブカメラ映 象)をリンクして、情報を提供し ∵いる	!	年度・市公式サイトにて、川の防災 情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報提供を 行った。	† † †	市公式サイトにて、川の防災 青報(水位及びライブカメラ映 象)をリンクして、情報提供を テった。
⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	・実施に向けて検討をする		32年度・実施に向け内部検討中	0	・実施に向け内部検討中	O	・情報収集を図り、実施に向けて検討する	・H29年度	・実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・霞ヶ浦では該当なし						国で行なつ腹行検査に合わせ 「実施する。	せ ・H29年度 ・H32	年度・許可工作物管理者への防災 教育の取組みについて、関係 機関と協議を行った。	4	許可工作物管理者への防災 教育の取組みについて、関係 機関と協議を行った。
対策の主な取組 ②洪水氾濫)より効果的な水防活動の実施		间の唯体の	/二&707/八月/7/四里/07月/7/四																		
①水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施	・水防訓練に併せ伝達訓練を身 施		消防団兼任のため、普段から 継続実施		・実施済み 消防団兼任のため、普段から 継続実施	•	おり、伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火災現場 等で行っている		実施	- T 日頃の訓練や火災現場等にで 実施	おり、伝達の確認や実施 ては、日頃の訓練や火災 等で行っている	現場		・消防団が、水防団を兼務して おり、伝達の確認や実施につい ては、日頃の訓練や火災現場 等で行っている	おり、伝達の確認や実施につい ては、日頃の訓練や火災現場 等で行っている	か お て 等	3り、伝達の確認や実施につ 「は,日頃の訓練や火災現場 ずで行っている	L\	年度 ・連絡体制の再確認を実施		連絡体制の再確認を実施
②水防団同士の連絡体制の確保	備計画策定中		28年度 ・デジタル無線機及びトラン シーバーを配備済み 28年度 ・地域住民及び周辺自主防災	•	・デジタル無線機及びトラン シーバーを配備済み ・地域住民及び周辺自主防災	•	・連絡体制を確保する		み ・トランシーバーを2台配備	済 ・消防団として連絡体制確保済 み・トランシーバーを2台配備 施 ○ ・霞ヶ浦中岸で共同点検を実施	•			・各行動部長に携帯型無線機を 配備した・毎年、河川事務所が実施する	配備した		連絡体制について確保する 河川事務所が実施する重要		布済み。	1	各消防団に携帯型無線機を 布済み。 6月18日に共同点検を実施
③水防団や地域住民が参加する 水に対しリスクが高い区間の共同 点検	洪 要水防個所等の共同点検への参加 ・毎年、消防本部主導の水防訓		会とともに河川堤防重要箇所 の巡視に参加		・地域住民及の周辺自主防災会ともに河川堤防重要箇所 の巡視に参加 新型コロナウイルス感染症拡	•	要水防個所等の共同点検への 参加		・H32年度 ・段ケ洲中岸で共同点検を美点・H32年度 ・実施に向けた取り組みを継続		重要水防箇所等の共同 参加していく	検に		・毎年、川川寺務所が実施9 る 重要水防箇所等の共同点検に 参加。 (・各関係機関が連携し、タイム	重要水防箇所等の共同点検に 参加。	防る	5個所等の共同点検に参加す 5	<i>f</i>	年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		6月18日に共同点検を実施 6月6日に共同点検を実施 水防団を兼務する消防団員
④関係機関が連携した実働水防 線の実施	練を実施	1120年度 112	0年设美超视的		制型コロアパイルへの本征加大のため訓練中止	^	予測の必要はど物質し使品する	*1029年度	"大郎」、一川リル収り報子で観ぎ	次 △ ・夫郎□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	△ 付別所依例(図の地域)と、 イン(小夏川・利根川財 づしい・避難行動実働型 対応副維を実施した。 ・H28年度に策定したの 根川東水運難計画の う。 ・国土交通省と連携して イムライン検証訓練を行)(に基)水害 川・利 圧を行 ・H30年月	·H30.2 世 ·H32年度	(*哲向体復興の連携は、テイム ライン(小真川・利根川)場合。 基づいた避餐行動実働室の水 等対加減極実施 ・小東川・利根川洗水避難計画 に基づいた図上型訓練を実施 (H302) ・毎日にママイ・タイムライン検証 訓練を実施 ・要配達利用施設に指定して 込の質種福祉設と連携して避 整調練を実施した。(R16)	ライン(小貝川)・利根川対応)に 基づいた避難行動実働型の水 害対応訓練を実施) ・小貝川・利根川洪水避難計画 に基づいた図上型訓練を実施。 (H30.2)	兼に声ジい ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がた、AMの凹臭か不助のお助 が乱(さお)、AMの凹臭のよう ついては広報路、団員によっ かけそ心策略、ホームペー 、コミーティーFM等で募集し く。	集 る ·	年度、「木が凹と水板するの料の出臭い 加入促進を使すための募集広 報を実施。新たにち名の女性消 防団員が入団となった。	カ 幸	小が山近常水がする川川回頭 川入促進を使すための募集 服を実施。新たに5名の女性 方団員が入団となった。
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	いて募集活動の実施チラシの配布のぼり旅の作成	•H28年度 •H3	32年度 ・市報等での募集の実施を検討	0	・市報等での募集の実施を検 討	0	・実施の必要性を精査し検討する	•H29年度	·H32年度 ·実施に向けた取り組みを継続	読 △ ・実施に向けた取り組みを継続	Δ・消防団入団の募集広報	を実施 ・H28年月	€ •H32年度	・水防団を兼務する消防団員の 加入促進を促すための募集広 報を市広報誌やホームページ 掲載、市内行事において消防 団を募集した	・水防団を兼務する消防団員の加入促進を促すための募集広報を作すた場合である募集広報表でホームページ掲載、市内行事において消防団を募集した・水防団員募集チラシを作成、全戸配布を実施(R2.11)	兼に声	現在、消防団員が水防活動 ・一般しており、消防団員の募 ・こいては広報誌、団員によ ・かけやコミニティーFMを利り た募集活動を実施済み	集 る	年度・現在、消防団員が水防活動を 兼務しており、消防団員の募集 については広報誌、団員により 声かけやコミティーFMを利用 した募集活動を行い、新たに5 なの女性消防団員が入団と なった。	# () ()	現在、消防団員が水防活動 旅務しており、消防団員の募 こついては広報誌、団員によ 当かけやコミニティーFMを利 上募集活動を行い、新たに 名の女性消防団員が入団と なった。
⑥地域の建設業者による水防支抗 体制の検討・構築	・建設業協会との災害協定締制 済み 援						・実施の必要性を精査し検討する	•H29年度	·H32年度 ・実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続	Δ ・実施を検討する	·H28年月	€ ·H28年度	・市建築業組合との間で、風水 害等の応急対策を含む災害協 定を結んでいる ・市建設業組合に小貝川・利根 川洪水避難図上型訓練に参加 してもらった	 市建築業組合との間で、風水 審等の応急対策を含む災害協 定を結んでいる 市建設業組合に小貝川・利根 川洙水避難図上型訓練に参加 してもらった 		体制について構築済み	•H28年度 •H28	年度・体制について構築済み	•	体制について構築済み
⑦内水被害危険箇所の把握及び 情報共有	プを共有	·H28年度 ·H2	28年度 ・内水ハザードマップ作成済み	•	- 内水ハザードマップ作成済み	•	・消防,消防団、警察等と共同で、内水等の危険個所マップを 作成し共有する		・H32年度 - 実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続	Δ ・担当課により点検を実	Eする ・H28年月	€ ·H32年度	・担当課により点検や側溝等の 改修を行っており、また災害時 や平時に関わらず、必要な際に は危険箇所の共有を行う	○ ・担当課により点検や側溝等の 改修を行っており、また災害時 や平時に関わらず、必要な際に は危険箇所の共有を行う	防	区長、消防署員や水防団(消 方団員)と情報共有、点検を9 5済		年度・令和2年度、内水氾濫ハザードマップ作成に向けた地区への 協力依頼を行う。 ・区長、消防署員、消防団員や 地区代表者と情報を共有する ための点検を実施した	• .	令和2年度、内水氾濫ハザー マップ作成に向けた地区へ(â力依頼を行う。 区長、消防団員へ 地区代表者と情報を共有する こめの点検を実施した
		舌動の回復を	 可能とするための排水活動の取	7組	<u> </u>	I			I .		1			1							
1)排水計画(案)の作成及び排 ①排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規 水事を報宜した権水計画(案)を作成	・排水ポンプの設置個所の選定 まで行った排水計画(案)の作	·H28年度 ·H3	32年度 計画策定を検討中	0	計画策定を検討中	0	検討する	·H29年度	・H32年度 ・実施に向けた取り組みを継続	読 Δ -実施に向けた取り組みを継続	△ ・排水ポンプの設置個所 まで行った排水計画(案	D選定 ・H28年原 の作	€ ·H32年度	・排水ポンプの設置個所の選定 まで行った排水計画の作成に 向け、市内排水機場の現場状	〇 ・排水ポンプの設置個所の選定 まで行った排水計画の作成に 向け、市内排水機場の現場状		計画策定に向け関係機関と 銭中	協 -H28年度 -H29	年度・排水機場の運転に関する協定 を見直し、平成29年5月に変更 協定を締結した。	. 4	排水機場の運転に関する協 ・・見直し、平成29年5月に変 な定を締結した。
水害を想定した排水計画(案)を作成 ②排水訓練の実施	水防訓練との同時実施を検討			0	計画策定を検討中	0	・検討する	・H29年度	・H32年度 ・実施に向けた取り組みを継続	読 △ ・実施に向けた取り組みを継続	成	- 各自 · H28年原	€ -H32年度	同げ、市内排水候場の現場状況等の確認を行った。 ・排水訓練については各排水施 設管理者等が各々で操作確認 等をしている	同け、市内排水機場の現場状況等の確認を行った。 ・排水施線については各排水施設管理者等が各々で操作確認等をしている	E O - II	防災訓練と合同で実施してい o	、 -H28年度 -H28	協定を締結した。 年度・防災訓練と合同で実施している		版定を締結した。 防災訓練と合同で実施している。 3
	10. 1. 10Cate - 00 maters - w	1100 /5 /5	32年度 ・計画策定を検討中		計画策定を検討中	0	検討する	- H20年度	・H32年度・実施に向けた取り組みを継続	読 △ ・実施に向けた取り組みを継続	Δ -		1		45000		計画策定に向け関係機関と	拉 . 1128年度 . 1133	年度・計画策定に向け土地改良事	0 -	計画策定に向け土地改良事

			湖東市						稲動市						かすみがうら古						油柿市			
頁 内容	実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	兄 実施内容	実施期間 着手 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実別
対策の主な取組		相子 元]	1	1 1				相子 元]	I.				1	相士 元]	1					相子 7	6 J			
洪水を河川内で安全に流す	対策																							
①堤防整備																								
②波浪対策																								
 避難行動、水防活動、排水流	 活動に資する基盤等の整	備																						
①雨量·水位等の観測データ及び 洪水時の状況を把握·伝達するための基盤の整備	\$ -																							
②防災行政無線の改良、防災ラジ 才等の配布	7		: ・防災無線のデジタル化改修 (23千局の更新)		5災無線のデジタル化改修 3子局の更新)		- 防災無線デジタル化に伴う実施設計 ・防災無線 (デジタル化)	·H27年度 ·H30年度	・デジタル化への移行実施	•	・デジタル化への移行実施	•	・霞ヶ浦地区の防災行政無線デ ジタル化(H28年度~H33年度) を進め、平成34年度には市内 全域の防災行政無線をデジタ ル化する		H29年度デジタル親局(操作。 整備実施済み H30・31年度屋外子局67局 備済み。R1・2年度屋外子局6 局整備着手。R2年度戸別受信 機68局整備予定。 (H28年度実施設計実施)	整 H3 60 備 備 (H	9年度デジタル親局(操作。 備実施済み 0・31年度屋外子局67局表 6日・2年度屋外子局50局 6日・2年度戸別受信機68局 - 28年度実施設計実施)	1) O - 9	市内全域に防災行政無線屋 拡声子局を整備済 防災ラジオを有償配布中	•H28年度 •H2	8年度 ・	(費) 【無 〇:	がグラジオを有機配布中 債配布要件に該当する方については、 配布を実施の 無償配布要件) 生活保護受給者 神栖市ひとり事らし高齢者等緊急通報 神極市ひとり事らし高齢者等緊急通報 が作成する避難行動要支援者名簿	届シ マ
③水防活動を支援するための新打術を活用した水防資機材等の配便	・水防団員の安全を確保する。 支 数の資機材の充実を図る 篇	た ・H29年度 ・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ -	8施に向けた取り組みを継 続	ž Δ	・水防団員の安全を確保するための資機材の充実を図る	·H30年度 ·H32年度	実施に向けた取り組みを継続	続 △	RIの台風で水害が発生した地 区に防災倉庫を設置し、水嚢等 を配備した。	0	・より効果的な資機材の配備を 検討する	*H28年度 *H32年度	・R2年度当初予算に資機材 の購入を予算化(水のう・土の 製作器・水難ポックスウォー)	等 〇 ・3 うう ル)	を機材等の購入(水のう・土 製作器・水難ボックスウォー)	n O •	新技術を活用した水防資機材 の配備	·H30年度 ·H3	2年度			
④水位計や量水標、CCTVカメラ等 の設置		t +H29年度 +H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ -1	変施に向けた取り組みを継続	ž Δ	・POTEKAの設置	・H28年度 ・H28年度	・超高密度気象観測POTEKA 市内4カ所に設置	Aを	・超高密度気象観測POTEKAを 市内4カ所に設置	•	・県の設置状況を考慮しつつ必 要であれば市でも設置を検討す る	・H28年度 ・H29年度	・H29年度POTEKA設置(市 4カ所)	内 • · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	29年度POTEKA設置(市) i所)	hj • .	水位計や量水標、カメラの整 	·H29年度 ·H2	9年度 ・制ウェザニューズへ水防対策 支援業務を委託しており、その 中で水位予測情報等の情報打 供を受けている。	後 ● · 樹 臼 足 提	刺ウェザニューズへ水防対策支援業務 しており、その中で水位予測情報等の 供を受けている。	所を要 O情報
⑤浸水時においても災害対応を組続するための施設の整備及び自 発電装置等の耐水化	・庁舎が浸水想定区域外であ 対象なし 家	ų					・自家発電装置の耐水化を図る・庁舎が浸水想定区域外であり対象なし	+H29年度 +H32年度	・支所・地区センターの自家 電装置耐水化の対策を検討	発 f	・支所・地区センターの自家発 電装置耐水化の対策を検討	0	・庁舎が浸水想定区域外であり 対象外					· *	宇舎が浸水想定区域外であり 象外		映を交げている。			
第 電表回等の耐水化	・水中ポンプの準備		E・建設業組合との応援協定により り R1年度 台風19号時 2箇所設置、 10/25大雨時 1箇所設置	り Ri 台	建設業組合との応援協定によ 年 風12号時 豊簡所排水ポンプ設置	¢ 0	・重要危険個所については共同 点検等を計画予定・水防訓練等で水防工法実施	+H28年度 +H28年度	・近隣市町村との水防訓練実施。	y	・近隣市町村との水防訓練実施。	•	・関係課とともに対策を検討する	・H28年度 ・H28年度	・田伏地先に内水排水ポンプ 置済み	設●・直	日伏地先に内水排水ポンプ 済み	段 •	非水ポンプの整備	*H29年度 *H2	9年度 ・昨年度及び今年度内水被害 に備え水中ポンプを購入し、債 蓄倉庫に配備した。	: • · 次	内水被害に備え水中ポンプを購入し. 債庫に配備した。	備蓄
↓ 策の主な取組 ①逃げ遅れ 広域避難を考慮したハザート		着手 完了 日確な避難行動のた	*			1		着手 完了			1		+	着手 完了	1					着手	L J			
①想定最大規模降雨による浸水 定区域図の公表																								
②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表																								
③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画 (楽)を策定する	+H28年度 +H32年度	・湖来・稲敷・神栖・香取4市に よる協定をH29.2締結 ・協定4市及び関係各所とDIG 訓練をH31.1実施	0 -)	朋来・稲敷・神栖・香取4市に る協定をH29 2締結	: 0	地震人の中で土は労働引 工																	
			・R1.10.13台風19号による利村 川の増水により香取市の避難 勧告発令の際に広域避難受入 実施	艮	る協定をH29.2締結 3定4市及び関係各所とDIG 練をH31.1実施	ā	・協議表の中で仏曳を類れ関(楽)を策定する	-H28年度 -H32年度	- 広域避難協定4市(潮来市、 敷市、神橋市、香取市)において広域避難所(7箇所)を設定 (H29.2水郷4市(潮来市、稲市、神橋市、香取市)「大規材 宮時における広域避難の連打に関する協定」縁続	い 定 敷 膜水	・広域避難協定4市(潮来市、福敷市、神橋市、香取市)において広域避難所(7箇所)を設定 (H29.2が郷4市(潮末市、稲敷市、神橋市、香取市)「大規模が 書時における広報建贈の選携 に関する協定」締結	t r	・協議会の中で広域避難計画を 策定するなど今後策定を検討 する	: -H29年度 -H32年度	・広域避難計画(案)を検討 ・R19.27、脳接の石岡市とピナ 現場水害時における広域の連携に関する協定」を締結 た。	- F	広域避難計画(業)を検討 11.9.27、隣接の石岡市と「大 模水害時における広域避験 連携に関する協定」を締結。	0	去域避難計画の策定	·H28年度 ·H3	2年度 ・H29.21に終結した水郷4市(第 未市、稲敷市、神橋市、春取 市川大規模水帯等向における広 域避線の連携に関する協定) ついて水郷4市で協議を重ね 避難場所の設定及び、初駒マ ニアル等を作成した。	神域に	129.2[二締結した水郷4市(湖来市、福東 橋市、春歌市)「大規模水等時におけえ 遊覧の連携に関する協定」について水 で協議を重ね、避難場所の設定及び、 ニュアル等を作成した。	る広 K郷4
④広域避難を考慮したハザードマブの作成・周知等	・想定最大規模降雨における。 水を対象に、広域避難を反映 た洗水ハザードマップを策定す る	LI I	・R1.10.13台風19号による利札 川の増水により香取市の避難 勧告発令の際に広域避難受入 実施 (2ヶ所開設:476名避難)	記 ・ 1 ・ 3 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 8 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7	北定4市及び関係各所とDIG 線をH31.1実施 現成しベルを用いた避難動力 の発令を周知するため防災 カフルット(ハザードマップ級 記令和元本アノの政11・市民 配布 同 令和4年度更新予定		・協議委のリヤで仏域を輝けて 第2を東定する ・想定最大規模時間における別 水を対象に、広域避難を反映した洪水・パザードマップを策定す る		敷市、神橋市、香取市)において広域避難所(7箇所)を設定 (H29.2水郷4市(潮来市、稲) 市、神橋市、香取市)「大規様 審時における広域避難の連	い 定 敷 模水 携	敷市、神栖市、香取市)において広域避難所(7箇所)を設定 (H29.2水郷4市(潮来市、稲敷 市、神栖市、香取市)「大規模が 害時における広域避難の連携	t 水	・協議会の中で広域避難計画を 策定するなど今後策定を検討 する ・ ・ ・ 洗水浸水想定区域見直し依、 市のハザードマップの作成の際 に、所せて検討		-R1,9.27、隣接の石岡市とけ 規模水害時における広域避野 の連携に関する協定」を締結 た。	- F規のた	1.9.27、隣接の石岡市と「大 標水実時における広域選集				来市、稲敷市、神栖市、香取 市)「大規模水害時における広 域避難の連携に関する協定」 ついて水郷4市で協議を重ね 避難場所の設定及び、初動マ	神域市マー - 通い月 - 4.1% - 4	栖市、香取市)「大規模水害時における 避難の連携に関する協定」について水 で協議を重ね、避難場所の設定及び、	る広 水郷4 ・初動
	水を対象に、広域避難を反映 た洪水ハザードマップを策定する 3 2ッ	L gr	・RI101分属19号による利利 川の増水により要取市の運動 動告発やの際に広域型量子入 実施 (2ヶ所開設:47名運動 ・一等成レベルを用いた運動報告 ・ウンフレット・パナーマップ組 戦)を令和元年7月改訂し市民 に配布	順 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	線をH31.1実施 感滅レベルを用いた避難動き の発令を周知するため防災 ンフレット(ハザードマップ掲 を令和元年7月改訂し市民 配布	- to	・ 想定長大規模降雨における洪水を対象に、広域評響を反映し	ŧ -H29年度 •H31年度	版市、海橋市、書歌市)において には城建園市(三朝)でを設 (H292 2水郷4市(潮来市、穏 市、海橋市、書歌市)「大原館 等例によりて広を建園の連 に関する協定:締結) 「最大学」になり子を作成、H314 戸配布済	い定 製機水 機携	敷市、神極市、香取市 (において広域避難所 (7箇所) を設定 (H29.2水郷4市(潮末市、稲敷市、神栖市、香取市) 「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」解結 (大規模水区域を反映した洪水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	t t t t t t t t t t t t t t t t t t t	策定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し後、市のハザードマップの作成の間	・H29年度 ・H32年度	**日1927、隣接の石両町だけ、 規模水香幣・1分の広域観 の連携に関する協定」を締結 た。 ・浸水想定区域の見慮しに伴 い、海水がサードマップを改計 は、海水がサーバーマップを改計 は、電路がサーバーでは、 は、電路がサーバーでは、 は、電路がサーバーでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	- F規のた	1.9.27、隣接の石岡市とし大 様水書等に計ける広場登建 連携に関する協定」を締結 。 水想定区域の見直しに伴 洪水ハザードマップを改定 合助災マップとして配布した 域超難を反映した洪水ハ	0 .	広域避難を考慮したハザード ップの策定	-H29年度 -H3	来市、稲敷市、神橋市・香設 市)「大規模水害時における 近 東運動の連携に関する協定) ついて残場所の設定及は、初助マ ニュアル等で稼む。 に 対応した淡水・パートマップを まり行物区を選して女戸配布 実施手来。 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	神城市マ:	橋市、巻取市)「大規模水溶酶における 避難の連携に関する協定について で協議を重ね、避難場所の設定及び、 ニュアル等を作成した。 最大規模の浸水想定区域に対応した洪 ザードマップを平成29年度に作成。HO 月より行政区を選じて全戸配布を実施。 実施定に基づく、広報報節の避難余	る広 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)
⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充 ⑥季配慮者利用施設の遊離計画	水を対象に、広域避難を反映 た洪水ハザードマップを策定す で ・ 洪水浸水総地図の公表後、記 置に向けた検討を行う	ひ ・H29年度 ・H29年度 ・ H29年度	・R1.10.1分属。19号による利利 川の豊水により等取市の連盟 動きかもの際に広域直接を入 実施・研修、476名 連載 ・「単原レベルを用いた連貫結婚 等の発令を見知するため助文 ルンフレット(ハザードマップ指 観)を令和元年7月改訂し市民 に配布 整定区域向1.2億所に「想定法 水変」の表示実施(うち3.8所に「想定法 水変」の表示実施(うち3.8所に「想定法 水変」の表示実施(うち3.8所に「想定法 水変」の表示実施(うち3.8所に「想定法	III	線をH311実施 建成レベルを用いた避難動型 の発令を周知するため防災 ンプレット(ハザードマップ 記令和九年7月改訂1市民 配布 ・和4年度更新予定		・想定義大規模時間における決 ・想定義大規模時間における決 ・だが後に、広城連載を反映。 ここのでは、 このでは、 ・ は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	1 -H29年度 -H31年度 2 -H29年度 -H32年度	数市、海絡市、豊敬市において になは延興が、日前から数 (1420.2/無4市(第米市、間米市、 市、神絡市、急が市)大規修 音等によける広域運動の連 に関する協定上側の連 ・一元大原水区域を反映した派 ・一元大原水区域を反映した派 ・一元大原水区域を反映した派 ・一元大原水区域を反映した派 ・一元、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一	い定 敷敷 機構 株本 4名	数市、神橋市、香取市)において広域建築所(7箇所)を設定 て広域建築所(7箇所)を設定 (1429.北郷4市(湯奈市、稲敷市 市、神橋市、海町市 1大規模が 書等に入計さる広域建業の連携 に関する協定。 最大度水区域を反映した洗水 ハザードマップを作成、H31.4名 戸配布済 ・実施済市町村を視察、導入に	t ***	策定するなど今後策定を検討する ・洗水浸水想定区域見直し後、市のハザードマップの作成の際 に併せて検討 ・洗水浸水想定区域見直し後、市のハザードマップの作成の際	・H29年度 ・H32年度	**日1927、隣接の石両町だけ、 規模水香幣・1分の広域観 の連携に関する協定」を締結 た。 ・浸水想定区域の見慮しに伴 い、海水がサードマップを改計 は、海水がサーバーマップを改計 は、電路がサーバーでは、 は、電路がサーバーでは、 は、電路がサーバーでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	- F規のた	19.27、解接の石岡市と/光 操水・雷時に対な広域製建 連携に関する協定」を締結。 ・ を を を を を を を を を を を を を	0 7	広域避難を考慮したハザード ップの策定	-H29年度 +H3 -H29年度 +H3 -H29年度 +H3	来市、稲敷市、神橋市、香敦 市)大規模水等時における協定) のは最近の連携に関する協定) のは、一般では、一般では、一般では、 ・最大規模の浸水想定区域に 対応した流水・パゲードマップを 対応した流水・パゲードマップを 対応した流水・パゲードマップを 対応した流水・パゲードマップを メリカード・対応、ため、 ・漫画を定し基って、広域基盤 の避難をを洗水・パゲードマッ 別に示している。 2年度 現底に対応する。 リストに対応す	な に : 上上月を ・ ポパース・	橋布、書飲市/大規模水雷時/おけえ 型類の連携に耐える協定について、 で協議を重ね、運動場所の設定及び、 ニュアル等を作成した。	るk郷4動 水の:。を 大30。 法 か を 200 を
⑤束るごとまちごとハザードマップ 整備 拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 建難勧告の発令に着目した ①避難勧告の発令に着目したタイ	水を対象に、広域避難を反映 た漢水ハザードマップを策定す ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	U # H29年度	・R1101分度、19号による利利 川の増水により等取市の避難 動きかもの際に広域型量子、 実施 一部第2・76名 運動 ・1・東北レベルを用いた運動館等 等の余を包囲知するため助文 ルンフレッド(ハザードマップ指 観と令和元年7月改訂し市民 に配布 ・電柱広告を利用し市内の浸浸 数定区場所13部所に「物変速 水炭」の表示を実施(うち3部 は水番料を重整調所に整づ は水番料を重整調所に整づ は水番料を重整調所に整づ に水番料を重整調所に整づ に水番料を重整調所に整づ に水番料を重整調所に整づ ・1・3年所の薄書を利用能致・4 所の認定とども聞に計画作成	型	様を1311実施 対象となった。 対象となった。 対象を対象がある。 対象を対象がある。 対象を対象がある。 対象を実施 対象が表現る。 対象が表現る。 対象が表現る。 対象が表現る。 対象が表現る。 対象が表現る。 がまれる。 が表現る。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 はれる。 はれる。 はれる。		・想定量大規模時間における別 ・想定量大規模時間における別 水を対象に、広域理器を反映し 大を対象に、広域理器を反映し である。 ・ 漢末深水野地図の公会後、設 置に向けた検討を行う ・ 平配慮委員用階級において算 定している理解計画の第定計 変更の中に水番よりなとして位置	* +H29年度 *H31年度	数市、海絡市、書数市に公前・企業 (429.24 郷4市・湯東市、福東市、南 (429.24 郷4市・湯東市、南 (429.24 郷4市・湯東市、南 (429.24 郷4市・湯東市、山田 (429.24 郷4市・大田 (429.24 郷4市・大田 (429.24 8年) であった。 (429.24 8年)	い定数機構	数市、神橋市、香取市におい で広域建築所、7箇所を設定 (1429 2水郷4年に御来市、租敷 市、神橋市、多取市「大規模」 書等における広域建理の連携 に関する協定・連絡 ・最大浸水区域を反映した洗水 ・サードマップを作成、H31.4名 一東施済市町村を模察、導入に 同けて検討中。	(策定するなど今後策定を検討する ・洪木浸水想定区域見直し依。 市の・サード・フラの作成の際 に併せて検討 ・洗水浸水想定区域図の公表 後、設置に向けた検討を行う。 ・浸水想定区域内に該当施設な	*H29年度 *H32年度 *H29年度 *H32年度	**同主27、開発の石頭市だけら広境型 開教・書物・1分の広境型 の連携に関する協定」を締結 た。 ・多水管定区域の受重して作 、海水のザードップを設 地を的数ツップについては検討 中。 ・予算化に向けた内部検討	- 「規のた	19.27、解接の石岡市と/光 連携に関する協定」を締結 を表現を反域の見直して存 を表現を反域の見直して存 を表現を反域の見直して存 を表現を表現しているのである。 をおいている。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		広域遊覧を考慮したハザード ププの策定 をあごとまちごとハザードマッ 登 歴記慮者利用施設の遊園針 の作成及び遊園訓練の実施	-H29年度 -H3 -H29年度 -H3 -H29年度 -H3	来市、現飲市、神橋市、香設 市)「大規模・書時における 市)「大規模・書時における 近域理的連携に関する協定) ついて残場合かで協議を当 直覚場所の設定設は、初間マニュアル等を作成した。 ないた法状パッチードマップネ 平成29程に作成、103 (4) より行政区を選にで金配市 実施子果。 ・労働に定し基づく。広域登費 の避費を洗けた、45年によって では、200 (4) は、100年度に地域防災計画を では、200 (4) は、200 (4) は、200 (4) は、200 (4) は 変数子果。 ・一次では、200 (4) は、200 (4) は、200 (4) は 変数子果。 ・一次では、200 (4) は、200 (4) は、200 (4) は 変数子果。 ・一次では、200 (4) は、200 (4) は、200 (4) は では、200 (4) は	で は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	福布、書飲市/大規模水雷時/おける 理想の連携に耐くな逆について、 で協議を重ね、避難場所の設定及び、 ニエアル等を作成した。 ま大規模の選水思定域に対なした。 ザードマップを平成20年間に作成、H日 長と好音及を登して全戸配布を実施 退番協定に基づく、広域運動の連難先 がザードマップ内に示している。 連携所がどの自然災害に対応している になりた数不自板を整備中 水系水板変区域中の条形を発音機体 であり、一の水が施業と直接機体 のから、一の水が施業と直接機体	る(版4) 本
⑤求るごとまちごとハザードマップ 登備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 2難動告の発令に着目した。 ①避難動告の発令に着目したタイムラインの作成	水を対象に、広域避難を反映 た洪水ハザードマップを策定す ・洪水浸水総地図の公表後、計 面に向けた検討を行う ・変配慮者利用施設において計 定している避難計画の単定計 でしている避難計画の単定 対け、避難訓練等を支援する タイムラインの作成 ・タイムラインの作成	以 → → → → → → → → → → → → → → → → → → →	・R1.10.1分度、19号による利利 川の増水により等表示の避難 動音を全の際に広域を観撃入 実施・研診と、70名を運動 大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	III	様を1311実施 で成レベルを用いた避難結合の発令を周知するため防災ンカンルントのインディマップ機 シを令和元本7月改訂し市民 の一名の受水深紀確のため、共 デーク更新を実施 3・所の高齢福廷施設、3・の認定とも、間に計画作成 の認定とも、間に計画作成 はない他別級別を禁止し、結 ない他別級別を禁止し、初兄施設之策 ケバ流・科根川下流について対 後、毎年度更新予定 学生を対象とロマイタイムラ・	- 1	(集)を策定する 「地定長大陸横陽雨における。 水をが像に、広域圏を反映した法人ハザードマップを策定す 「流水浸水を地図の公養後、設置に向けた検討を行う。 「要配慮者利用施設において指定している過数計画の海定計でしている過数計画の方を対すって、過数割級等を支援する 「中本人ラインの策定を行う	* +H29年度 *H31年度 * +H29年度 *H32年度 * +H29年度 *H32年度 * +H29年度 *H32年度	数市、海絡市、書数市に公前・企業 (429.24 郷4市・湯東市、福東市、南 (429.24 郷4市・湯東市、南 (429.24 郷4市・湯東市、南 (429.24 郷4市・湯東市、山田 (429.24 郷4市・大田 (429.24 郷4市・大田 (429.24 8年) であった。 (429.24 8年)	い定数機構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	数市、神橋市、各取市において 広域建樹、「四所・名政・ に成域建樹、「四所・名政・ (1429 × 郷4 市、御東市、 和敷 市 ・ 大阪 市 ・ 神橋市 ・ 参取市) 大阪県 労 書待における広域建健の連携 ・ ・ 最大浸水区域を反映した洗水 ハザードマップを作成、 H31.4名 戸配布済 ・ 実施済市町村を視察、 導入に向けて検討中。 ・ 実施に向けた取り組みを実施中 ・ 運贈に着目したタイムラインを 作成 ・ 新型コロナウイルス係染症の	K K O	策定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し依。 ・流水浸水想定区域見直し依。 市のかサードマップの作成の際 ・流水浸水想定区域図の公表 ・洗水浸水想定区域図の公表 ・洗水浸水想定区域図の公表 ・洗水浸水想定区域内に該当施設な	*H29年度 *H32年度 *H29年度 *H32年度	*・引き27、開発の石両町と大 競技・需要は、大 ・浸水型定区域の見直しに伴 い、洗水がザードマップを改 ・設定を経め見直しに伴 い、洗水がザードマップを改 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	- F規のた :	19.27、解接の石岡市と/光 提供不管時におなば減速 連携に関する協定」を締結 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		広域遊費を考慮したハザード フブの策定 まるごとまちごとハザードマッ 登備 疑応虚者利用版胶の避難計 の作成及び避難訓練の実施 起域動告の発令に着目したタムラインの策定	- H25年度 - H3 - H25年度 - H3 - H25年度 - H3	来市、報飲市、神橋市、香歌 市)下規模水等時における協定) のは、 連載機の連携に関する協定) つまで、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	で は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	福布、書か市/大規模水雷時/おける運動の連携の連携の連携の連携の連携の連携の連携の連携の連携の連携では、これでは高速を重ね、運動場所の設定及び、これが考を作成した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応している。 大規模の浸水態を回域を対域に対応している。 大規模の対応性に対応している。 大規模の対応性に対応している。 大規模の対応性に対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は	る版4 ・ 株
⑤束るごとまちごとハザードマップ 整備 拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 建難勧告の発令に着目した ①避難勧告の発令に着目したタイ	水を対象に、広域避難を反映 た洪水ハザードマップを策定す ・洪水浸水総地図の公表後、計 面に向けた検討を行う ・変配慮者利用施設において計 定している避難計画の単定計 でしている避難計画の単定 対け、避難訓練等を支援する タイムラインの作成 ・タイムラインの作成	以 → → → → → → → → → → → → → → → → → → →	・R1.10.1分風、19号による利利 川の増水により等表市の連結 動き条件の際に広域重接を入 2.2ヶ所開設・7-0-8 連載 等の発令を周知するため設 が、アポートでリンドを 観を令和元年7月改訂し市民 に配布 「電柱広告を利用し市内の浸漬 水叉の表示学業施(うち3部所に「想定 水叉の表示学業施(うち3部所に「想定 水叉の表示学業施(うち3部所に「想定 水叉の表示学業施(うち3部所に「想定 水叉の表示学業施(うち3部所に「想定 水叉の表示学業施(うち3部所に「想定 水叉の表示学業施(うち3部所に「想定 水叉の表示学業施(うち3部所に「想定 水叉の表示学業施」を 1-3ヶ所の障害者利用配弦・4 かのと思うに、他には「計画性弦・4 のこちの個別説明を実施	III	様を1311実施 対象となった。 対象となった。 対象を対象がある。 対象を対象がある。 対象を対象がある。 対象を実施 対象が表現る。 対象が表現る。 対象が表現る。 対象が表現る。 対象が表現る。 対象が表現る。 がまれる。 が表現る。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 がまれる。 はれる。 はれる。 はれる。	- 1	(集)を策定する 「地定長大陸横陽雨における。 水をが像に、広域圏を反映した法人ハザードマップを策定す 「流水浸水を地図の公養後、設置に向けた検討を行う。 「要配慮者利用施設において指定している過数計画の海定計でしている過数計画の方を対すって、過数割級等を支援する 「中本人ラインの策定を行う	* +H29年度 *H31年度 * +H29年度 *H32年度 * +H29年度 *H32年度 * +H29年度 *H32年度	数市、海絡市、書数市に公前のでは、 は、1987年の一部では、 (1429.24個4市(湯来市、間来市、間等市に、前来市・利米市・利米市・利米市・利米市・国・市・大規制・電子・14日本・14日本・14日本・14日本・14日本・14日本・14日本・14日本	い定数機構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	数市、神橋市、各取市において 広域建築所、信頼・高級市(湖東市、超敷 市、地橋市、参取市)大規模の連携 ・一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、	K K O	策定するなど今後策定を検討する ・洪水浸水想定区域見直し依。 ・流水浸水想定区域見直し依。 市のかサードマップの作成の際 ・流水浸水想定区域図の公表 ・洗水浸水想定区域図の公表 ・洗水浸水想定区域図の公表 ・洗水浸水想定区域内に該当施設な	-H29年度 -H32年度 -H29年度 -H32年度 -H29年度 -H28年度	・明1827、開発の石頭耐たける広境型 接換水震響に対る広境型 の連携に関する協定と神経 た。 ・浸水等支援・データで表す。 ・浸水等支援・データで表す。 ・浸水は14年月・市内全門 ・デップで表す。 ・デップで表す。 ・デップで表す。 ・デップについては検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- F規のた :	19.27、解接の石岡市と/共 機水香物にお立成強雄 連携に関する協定」を締結 。 。 を水想定区域の見直しに伴 東水ハザードマップを改成 等が設立マグといて最本し、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		広域遊覧を考慮したハザード ププの策定 をあごとまちごとハザードマッ 登 歴記慮者利用施設の遊園針 の作成及び遊園訓練の実施	- H25年度 - H3 - H25年度 - H3 - H25年度 - H3	来市、報飲市、神橋市、香歌 市)下規模水等時における協定) のは、 連載機の連携に関する協定) つまで、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	で は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	福布、書か市/大規模水雷時/おける運動の連携の連携の連携の連携の連携の連携の連携の連携の連携の連携では、これでは高速を重ね、運動場所の設定及び、これが考を作成した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応した。 大規模の浸水態を回域に対応している。 大規模の浸水態を回域を対域に対応している。 大規模の対応性に対応している。 大規模の対応性に対応している。 大規模の対応性に対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は対応性は	る(版4) 本

4X 7 114107 (17001)																		実施中(検討	対中を含む)、 Δ:実施	に向けた耳	双り組みを継続、 ×:実施	晒していない、	■(一):対象外また	たはR2年度以	L 降実施		
内容	実施内容	実施	期間 山の1/5	潮来市 R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	租敷市 H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		・ ・ 期間	かすみがうら市 H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期		神栖市 E度宝績 3	実施状況	R2年度実績	実
災教育や防災知識の普及	X,857.70	着手	完了	11710000	X4000100	TE TO XIN	34200000	X,EF TO	着手 完了	TIOTAL TEXAS	74250100	THE TOTAL STATE OF	J 1.00 D 1.00	X,10.7.10	着手	完了	TIOT(TT) DECEMBE	34,000	12722	34,000,000	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	着手	完了	I DO NIE	74.00 0 4.00	12 1220	<u></u>
水災害に事前準備に関する問い わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	*H28年度	・H28年度 ・市役所総署	務課に設置	• •	市役所総務課に設置	•	設置を検討中。	·H28年度 ·H29年	・質問内容に応じた問合せ窓に を担当部毎に設置	•	・質問内容に応じた問合せ窓口 を担当部毎に設置	•	・設置を検討する	•H29年度	・H32年度 ・設置	置について内部検討中	0	・設置について内部検討中	0	・問い合わせ窓口の設置	•H28年度 •H	+32年度 ・質問内容を踏ま が個別に対応し	Eえ、担当部署 ている。	0	・平時は、問い合わせ内容に応じて、担当 で対応。災害時は、防災安全課を窓口とし 対応。	当課して
水防災に関する説明会の開催	・実施について検討する	・H29年度	・H32年度 ・実施に向け	けた取り組みを継続	Δ -	実施に向けた取り組みを継続	Δ	実施について検討する	•H29年度 •H32年	・行政区代表者等へ防災に対する説明会を実施	- 1	・行政区代表者や民生委員等 の会議において、へ防災に対す る説明会を実施	•	- 常陸川水門現地見学会に参 加	•H28年度	う研修	3.29自主防災組織をつく 多会(参加者:浸水想定員 有する地域の区長)	 Z	・R1.8.29自主防災組織をつく う研修会(参加者:浸水想定区 域を有する地域の区長)	•	- 国, 県による出前講座等の開催	•H28年度 •H	+32年度 ・常陸川水門現均 加	也見学会に参	0	常陸川水門現地見学会に参加	
教員を対象とした講習会の実施	・浸水想定区域にある小中学も を対象に講習会を実施する	交・H29年度	とした防災金	度の小学生を対象 教育が契機となり、 報共有。勉強会の	ے ا	平成30年度の小学生を対象 :した防災教育が契機となり、 女員間で情報共有。勉強会の 験討	0	浸水想定区域にある小学校を 対象に講習会を実施する	-H29年度 -H32年	度 H31(R1)年度に中学校にて、設 習会を実施。	Ä	H31(R1)年度に中学校にて、講習会を実施。	•	・実施に向けて検討する	•H29年度	•H32年度 •実施	に向けた取り組みを継続	続 △	・実施に向けた取り組みを継続	売 △	・国. 県による出前講座等の開催	*H29年度 *H	・小学校をフィー。 学から講師を招き 講演会を実施	ルドに筑波大 き震災に関する		・小学校をフィールドに筑波大学から講師 き震災に関する講演会を実施	を招
①小学生を対象とした防災教育の 関節	・実施について検討する	·H29年度	小学校(6校	関において市内の全 支)において各2回 里科)、計12回実施 生)	〇 令 小 回	8和元年度において市内の全 ハ学校において各2回、計12 国実施(今後 継続)	0	浸水想定区域にある小学校を 対象に、実施について検討する	-H29年度 -H29年	ま ・市防災訓練にて、小学校等も 含めて、地域住民を含めた訓 を実施	練	・霞ヶ浦河川事務所職員による マイタイムライン講習会を市小 学校にて実施。	•	・実施に向けて検討する	•H29年度	・H32年度 ・風水 災訓:	K害を対象とした市総合I 練への参加呼びかけ	防	・風水害を対象とした市総合R 災訓練への参加呼びかけ	→	・国. 県による出前講座等の開催	•H29年度 •H	・小学校をフィー。 学から講師を招き講演会を実施		0	・小学校をフィールドに筑波大学から講師 き震災に関する講演会を実施	疹招
5出前講座等を活用した講習会の 実施															•H29年度	·H30年度 会事	9.15 茨城県住民避難力 業(東野寺地区)	協・	·R1.9.15 茨城県住民避難力 会事業(東野寺地区)	協							
®プッシュ型の洪水予報等の情報 発信	・実施に向けて検討する	・H29年度	・H29年度 員、消防(水 対象とし防) 等配信サー	(防)団員、市職員を 災に特化したメール	員対	各地区区長、民生委員児童委 』、消防(水防)団員、市職員を 対象とし防災に特化したメール 詳配信サービスを整備	•	実施に向けて検討をする	·H29年度 ·H29年	ョ・広報車、行政防災無線、メール配信、エリアメール等により配信	, •	・広報車、行政防災無線、メール配信、エリアメール等により配信		・メール、ツイッター等による周 知やその他の方法を検討	•H29年度	テム(い、メ	炎無線親局の発令判断シ (<mark>音声合成装置</mark>)整備に≮ ペール、市アブリ、ツイッタ 難情報を発信可能となる	¥ !—	・防災無線親局の発令判断シ テム(音声合成装置)整備に作 い、メール、市アブリ、ツイッタ へ避難情報を発信可能となる	⊭	・ブッシュ型の洪水予報等の情報入手手段の周知	•H28年度 •H	+32年度 ・Lアラートと連携 利用し、避難情報 予報を発信してし	最と併せて洪水	0	・エリアメール/緊急速報メールを利用し、 難情報と併せて洪水予報を発信している	
⑦水位計やライブカメラ等の情報を リアルタイムで提供	・実施に向けて検討する	•H28年度	・H32年度 ・予算化に向	向けた内部検討	0 .	予算化に向けた内部検討	0	ホームページで川の防災情報 等をリンク先で提供する	•H28年度 •H32年	8 R1.9, 10の一連の風水害にお て、川の防災情報の内容をリンクや資料として提供した	siv • ii	R1.9, 10の一連の風水害におい て、川の防災情報の内容をリン クや資料として提供した	•	・ホームベージで川の防災情報 等をリンク先で提供する	*H28年度	や川(会総) う研修	つへ霞ヶ浦滅災対策協議 の防災情報をリンク。区 会や自主防災組織をつ 多会で各種防災情報を取 るアプリ等を周知する。	長 うろ !	市HPへ霞ヶ浦滅災対策協議 や川の防災情報をリンク。区 会総会や自主防災組織をつう う研修会で各種防災情報を取 得するアプリ等を周知する。	Ē	・ホームページ、スマートフォン やテレビなどに水位計やライブ カメラの情報をリアルタイムで提 供	·	129年度 市ホームページ 報」へのリンクを	に「川の防災情 設定している	•	市ホームページに「川の防災情報」へのり を設定している	Jンク
⑧許可工作物管理者への防災教育の事施	・実施に向けて検討する	・H29年度	・H32年度・実施に向け	けた取り組みを継続	Δ -	実施に向けた取り組みを継続	Δ	実施に向けて検討をする	・H29年度 ・H32年	実施に向けた取り組みを継続	読 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けて検討する	•H29年度	・H32年度 ・実施	色に向けた取り組みを継	続 △	・実施に向けた取り組みを継続	* Δ	・操作規則の制定 ・履行検査における周知	·H28年度 ·H ·H28年度 ·H	+32年度 +32年度 +32年度	8検討中	0	・策定に向け内部検討中	\exists
①水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施	伝達訓練を実施している	LION FE ME	状況の把握 派遣に活用		i: σ.	5。また、11月の情報伝達訓練 に於いて防災に特化したメール O一斉配信実施		連訓練を実施している	1100 (718)	* NOTE - 1. PER T. L. OF TRANSPORTED TO				施していく	1100/7 100	続実	06		消防団兼任のため、普段から続実施		確認と伝達訓練の実施	LIGOTE BE	100年度 小型性的線大点	7.7. E. E. M. P.		ルを整備している。	
②水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	•H28年度	・H29年度 ・消防系統で	で確保済み	• •	消防系統で確保済み	•	連絡体制は確保済	·H28年度 ·H28年	・消防・水防団として連絡体制 確保	le •	・消防・水防団として連絡体制を 確保	•	・連絡体制を確保する	•H29年度	・H32年度 ・無線 部に	泉機と簡易無線機を分団 配備済み	各 •	無線機と簡易無線機を分団: 部に配備済み	各 ●	・水防団同士の連絡体制の確 保	•H28年度 •H	129年度 ・小型無線機を名 み	分団へ配備済	•	・小型無線機を各分団へ配備済み	
③水防団や地域住民が参加する洪 水に対しリスクが高い区間の共同 点検	・河川事務所が実施する重要2 防箘所等の共同点検に参加する	水・H28年度	・H32年度 (5月)、湖末 出水期前点	所主催の共同点検 来土木事務所主催の 記検(6月)に参加	(5 ±	河川事務所主催の共同点検 5月)、潮来土木事務所主催の は水期前点検(6月)に参加 K年度は実施なし	0	河川事務所が実施する重要水 防箇所等の共同点検に参加する	-H28年度 -H32年	宋1.6河川事務所が実施した1 要水防箘所等の共同点検に参加	車 ○ 参	・R1.6河川事務所が実施した重 要水防箇所等の共同点検に参 加	0	・河川事務所が実施する重要が 防笛所等の共同訓練に参加する	・H28年度	•H32年度 R1.5.	31共同訓練実施	0	R1.5.31共同訓練実施	0	・河川事務所が実施する重要7 防箇所等の共同点検に参加	K •H28年度 •H	- i32年度 ・河川事務所のま 加	共同点検に参	0	- 河川事務所の共同点検に参加	
④関係機関が連携した実働水防訓 練の実施	・利根川水系連合水防演習に 加する ・広域水防訓練の実施	参・H29年度	・H32年度 ・実施に向け	けた取り組みを継続	Δ -	実施に向けた取り組みを継続	1	利根川水系連合水防演習に参 加する ・広域水防訓練の実施	•H30年	・広域避難協定4市において、 域連携図上訓練を実施	広 •	・水防訓練を実施 ・広域避難協定4市において、広 域連携図上訓練を実施	•	毎年、消防本部主導の水防訓 練を実施					R1.6.9消防水防訓練実施	0	・利根川水系連合水防演習への参加・関係機関と連携した広域水防訓練の実施	ī	(香取市, 潮来市市)の合同DIG訓	. 稲敷市, 神栖 練を実施。	•	・災害協定に基づき、水郷4市(香取市、海市、福敷市、神栖市)の合同DIG訓練を実	期来 と施。
5)水防活動の担い手となる水防協 力団体の募集・指定を促進		・H30年度	·H32年度				1	集していく		・水防団を兼務する消防団員 加入促進を実施し、団員を募ま した。	集	・水防団を業務する消防団員の 加入促進を実施し、団員を募集 した		集していく					・実施に向けた取り組みを継続		・広報紙やホームページ等で水 防協力団体を募集		Ф		0	・水災害時には、消防団が管轄区域内の 被害の対応をしている。消防団の募集に では、経常的に実施しているが、水防協; 体の募集については実施していない。	こつい
⑥地域の建設業者による水防支援 体制の検討・構築	・実施を検討する		·H28年度 ·既存の災犯		令 訓 和	既存の災害応援協定で対応 8和元年の台風15・19号を教 川に協定内容を一部見直し、令 D3年1月再締結		実施を検討する		・担当課で個別に災害時協定 で対応		・担当課で個別に災害時協定等で対応	•	実施を検討する	•H29年度	・H32年度 ・実施	色に向けた取り組みを継続		・実施に向けた取り組みを継続		-建設業者と災害時における応急復旧に関する協定の締結済				•	・H23年度に建設業組合と災害時における 急復旧に関する協定を締結している。	る応
⑦内水被害危険箇所の把握及び 情報共有	・水防団等と情報共有、点検を 行う	•H29年度	の情報共有 及び排水ポ	該分団(徳島地区)と すと危険箇所の点検 ペンプの操作訓練を 元年10月)	- 12 DJ	徳島地区及び洲崎地区の水 5団との情報共有を実施(台風 2号)	0	水防団等と情報共有、点検を 行う	-H29年度 -H32年	g -R1.9, 10の台風被害に遭った 箇所を取りまとめ、水防団等と 情報共有した。		·R1.9, 10の台風被害に遭った 箇所を取りまとめ、水防団等と 情報共有した。	•	・水防団等と情報共有、点検を 行う	•H28年度	防団	の共同訓練の際、地元/ に参加をいただき、情報 図った。	#	上記の共同訓練の際、地元水 防団に参加をいただき、情報: 有を図っている。	.	・水防団等と点検を実施し、内 水被害危険箇所の把握及び情 報共有	*H28年度 *H	+32年度 ・過去の台風等原 の被害状況を蓄 内水被害危険箇 るように、データ・ ている	積し、経験的に 所が把握でき		・過去の台風等風水害災害時の被害状況 蓄積し、経験的に内水被害危険箇所が把 できるように、データベースを作成している	把握
嵌の主な取組 ③一刻も早い		活動の回復	夏を可能とするため	の排水活動の耳	双組					<u> </u>			•										<u> </u>				
水計画(案)の作成及び排水	Market Semmers over	計・H29年度	・H32年度 既存の「台層	風・大雨に備えた事	85	で 存の「台風・大雨に備えた事	0	検討する	・H29年度 ・H32年	夏・計画策定を検討中	0	・建設課にて実施中。	0	計画策定の検討を行う	・H29年度	・H32年度 ・実施	もに向けた取り組みを継	e 🗘	実施に向けた取り組みを継続	ŧ Δ	・排水ポンプの設置箇所を選定	*H28年度 +H	H32年度 ・作成に向け内音	8検討中	0	計画策定までは至っていないが、災害時	時に
①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成	・排水ポンプの設置箇所の選定 まで行った排水計画(案)を作成する。 ・防災訓練と合同で実施するも		施(令和元年	i」の一部見直しを実 年7月改訂)	te.	前行動計画」の一部見直しを実 を 本年度は防災訓練を中止し情				変・消防団の訓練と併せて実施		・消防団の訓練と併せて実施		・計画に基づく排水訓練の実施					・実施に向けた取り組みを継		した排水計画(案)の作成 ・防災訓練と合同で実施	·H30年度 ·H			-	・計画策定までは至っていないが、災害時は、関係各課と連携して、水中ポンプの影等の対応を行っている。	及置
②排水訓練の実施	・防火訓練と音向で美胞するが 計を行う	R 17234度	*H32年度 * 市防災制 当部署にて 練を実施	株(TT月)の原、担 「樋門・水門の操作訓	# # L	本年度は防火訓練を中止し情 限伝達訓練のみのため実施な ・。		WJ 久岬球C ロ 同 じ 失能 9 る	1125年度 1125年	文 一州州田の訓練と近ば(天龍		- Any DED の副林と近とて美胞	•	・a i mai、本 フトか小訓録の失胞を検討	- 01234-茂	1132年度 美原	SI〜I™II / ICAXツ相のを続き	100 E	· 大心(2円17に取り組みを終わ	π Δ	・ WJ 火御林 C ロ PJ ぐ 大能	11304-19 1·H	102千戊				
③内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	・排水ポンブ等の設置箇所の過 定まで行った排水計画(案)の 作成		の設定及び	プ設置箇所(2箇所) 『台風・大雨に備え 計画』の改訂	O • 1	排水ポンプ設置箇所(2箇所) 2設定及び「台風・大雨に備え - 事前行動計画」の改訂	0	検討する	・H29年度 ・H32年	ま 計画策定を検討中	0	・建設課にて実施中。	0	・計画策定の検討を行う	•H29年度	・H32年度 ・実施	色に向けた取り組みを継	続 △	・実施に向けた取り組みを継続	売 <u></u>	・排水ポンプの設置箇所を選定 した排水計画(案)の作成	·H28年度 ·H	+32年度 ・作成に向け内部	8検討中	0	作成に向け内部検討中	

			行方市						- Home	鉾田市						小美玉市						美浦村			度以降実
目 事項 内容	実施内容	実施期間 着手 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	美》 着手	短期間 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間 差手 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状
ハード対策の主な取組	201-74-1-1-100																								
(1)洪水を河川内で安	(至)、減す対策																								
①堤防整備																									
②波浪対策																									
(2)避難行動、水防活	動、排水活動に資する基盤等	の整備																							
①雨量·水位等の観 洪水時の状況を把握 めの基盤の整備	測データ及び I・伝達するた																								
8)の基盤の登備		を徹底す・H28年度 ・H28.3.3	11 ・防災行政無線、メルマガ、エリ	•	防災行政無線、メルマガ、エリ	U O -1	防災行政無線のデジタル化	·H29年度	•H32年度	・防災行政無線のデジタル化	0 1	防災行政無線のデジタル化		災行政無線のデジタル放送	·H29年度 ·H30年度	・機器のデジタル対応完了	•	・機器のデジタル対応完了	•	・H30年度以降を目標に防災行	·H30年度 ·H32年度				
②防災行政無線の改 才等の配布		·H28年度 ·H28.10	ア放送等の情報伝達方法の利 便性を向上 29 市内全域においてエリア放送	• 7	プラレビ等の情報伝達方法の リ便性を向上、聞き逃し対策に リーダイヤルを増設					(継続中)	(継続中)	·F	D移行 別受信機全戸配布済み	·H28年度 ·H28年度		•		•	政無線(同報系)の設置を検討 している					
	・防災対応型エリア放 ・非常用電源車の検証 ・消防団の装備の基準	・H29年度 ・H32年	を開設 変 ・非常用電源車の検討 変・装備を拡充	0	難視エリアの改善 公用車を改修し、計13台に 500W以上の給電機能を追加。	• ·:	水防団員の安全を確保するた かの資機材の充実を図る	: ·H28年度	・H32年度	・デジタル簡易無線機を配備	0 .	デジタル簡易無線機を配備	O -ji	機材の充実の検討	・H28年度 ・H32年度	・資機材の備蓄・購入	0	・消防団にライフジャケットを配 隣(H28)	0 5	・水防団員の安全を確保するが めの資機材の充実を検討する	: ·H28年度 ·H29年度	・ライフジャケット40着の購入	● ・ラ・	イフジャケット40着の購入	
③水防活動を支援す 術を活用した水防資	るにめの新技 伴い沓機材の拡充を	36			装備を拡充	•																			
④水位計や量水標、	・国や県が設置してい 設備を活用する	る既存の				- 1	国や県が設置している既存の 投備を活用する						• 7	メラを設置する	·H28年度 ·H28年度	・カメラ設置済み	•	・国や県が設置している既存の 設備を活用する	•	・用水路(高橋川)が氾濫し、浸水する地域に監視カメラを設置	+H28年度 +H28年度	・監視カメラを設置	● ・監	視カメラを設置	•
の設置	331,337,4																			9 0					
⑤浸水時においても! 続するための施設の	・各庁舎は浸水想定 災害対応を継 数値 B 7 5 白宝	[域外				·) 实	庁舎が浸水想定区域外であり 対象なし	J					*/f	舎が浸水想定区域外のた 対象無し						・庁舎が浸水想定区域外					
発電装置等の耐水化	t	n((中) 1100万亩 1100万			人员技术社会公司和内施工		Orenie 1.12 - On Fish 1.11	r unor the	LIGO OT MIX	中央を発送された日本		*******		数1.45±1 = = / 4c+4-4	1100 T W 1100 T W	開放しめ上しつ。 づたか 本		双型热力与禁心水 电电阻	*	四本版/室標刊(142)20201 2	Luce to the Luce to the	MHX 1.0 + 0.77 = .	20	果皮ものよの2コニート	
⑥内水被害危険箇所	・質機材リー人会社と 援協定による対応 所の対策	D災害心 *H28年度 *H32年	き・台風接近時に、溢水想定箇所に3回、延べ12基の排水ポンプを設置	0 .	台風接近時の溢水想定箇所 :仮設排水ポンプ設置を継続	力 対	成設排水ホンノの点検及び制 見整備箇所の検討	計・H28年度	*H32年度	内部危険箇所の点検を実施	0	内部危険箇所の点検を実施	0 - 9	警と協力しマップ作成中	*H28年度 *H32年度	・県警と協力しマップ作成中	0	・災害協定に基づき、内水氾濫 時に必要に応じ排水ポンプの 供を依頼する。	提	・用水路(高橋川)か氾濫し、3 水する地域の対策を検討	-H28年度 -H28年度	・設置済みの土のうステーション の点検及び交換を実施	・設	直済みのエのつステーン に検及び交換を実施	3 ⊅ •
			行方市							鉾田市						小美玉市						美浦村			
目 事項 内容		実施期間					-	実別	拖期間					-	実施期間					****	実施期間				
	実施内容			実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	* -		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	**	- H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	** -	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状
		着手 完了						石士	完了						着手 完了						着手 完了				
	〕逃げ遅れゼロに向けた迅速		こめの取組																						
(1)広攻避難を考慮し	たハザードマップの作成・周知	1等																							
①想定最大規模降雨 定区域図の公表	同による浸水想																								
@#####################################	Ele L 7 in St																								
②想定最大規模降雨シュミュレーションの公	リースの心室 公表																								
	(案)を検討する	難計画 +H29年度 +H32年	宴 ・検討継続	0	広域避難は要しない	• (協議会の中で広域避難計画 案)を策定する	・H29年度	・H32年度	市内の避難施設で収容可能な ため、広域避難は要しない。	• if	内の避難施設で収容可能な め、広域避難は要しない。	il· • 1	議会の中で広域避難計画 ()を策定する	・H28年度 ・H32年度	・広域避難計画(案)を検討	0	市内の避難施設で収容可能な ため、広域避難は要しない。		・協議会の中で広域避難計画 (案)を策定する		・稲敷広域組合構成市町村によ り災害時相互応援協定(広域避 難含む)を締結	り災	敷広域組合構成市町村に (害時相互応援協定(広域 (ない)を締結	こよ O 食避
③広域避難計画の策																						無益のどが特別 ・一稲敷広域消防本部圏内市町 村広域避難計画を策定(今後、 ・一年のは一部である。) ・策定に向け内部検討	·福 村広	製広域消防本部圏内市町 製広域消防本部圏内市町 に域避難計画を策定(今後 地域画大統字を会) 定に向け内部検討	订 发 、
④広域避難を考慮し	・想定最大規模降雨! 水を対象に、広域避難 たハザードマッ た洪水ハザードマッフ	:おける洪 ・H29年度 ・H30年 を反映し を策定す	宴 -検討継続	0	広域避難なしのハザードマッ 「の改定を実施	• •;	想定最大規模降雨における決 kを対象に、広域避難を反映し と洪水ハザードマップを策定す	H ·H29年度 	•H32年度	・ハザードマップを改訂した ※広域避難はなし	*	ハザードマップを改訂した :広域避難はなし	水	定最大規模降雨における洪 を対象に、広域避難を反映し 洪水ハザードマップを策定す	·H28年度 ·H32年度	・想定最大規模降雨における決水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップの策定を検討する		・霞ヶ浦の想定最大規模降雨 おける洪水を対象に、洪水ハ ザードマップの策定した(広域 避難は考慮しない)		・想定最大規模降雨における 水を対象に、広域避難を反映し た洪水ハザードマップを策定す	+ ·H30年度 ·H30年度	・策定に向け内部検討	O ·策	定に向け内部検討	0
プの作成・周知等	0	***	· 即組大線線	Α	即組太維統	- A	出水温水総抽図の八車後 前	ひょいつの年間	- U22年度	雪体(=向)+1-取組太維結	A 18	* 体に向けた取組を維結	5	オ温水総物図の八事後 鉛	. 山20年度 . 山22年度			避難は考慮しない) ・実施に向けた取組を継続	^	る。洪水温水総物図の八串後(2. 山の年間 。山の年間	・鉛帯に向けて内部検針	0 .00	悪に向けて内部投針	
⑤まるごとまちごとハ 整備・拡充	置に向けた検討を行	《表传、版 *H29年度 *H32年	X AARL CHENT	Δ.	収組を継続	<u>∆</u> ≝	洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	X 1120419.	11324/6	大部に同け/12月4祖と他代		施に回げた収組を継続	Δ ·;	こ向けた検討を行う。	11204/2 11324/2	・洪水浸水総地図の公表、設置を検討。		大心に同けた状態と転続		・洪水浸水秘地図の公表後、 置に向けた検討を行う。	(1130年度 1132年度	axillicing () CP7 nP1xa1		直に向けて内部検討	ΑŬ
	·要配慮者利用施設(: おいて策 ・H29年度 ・H32年	*地域防災計画へ掲載、避難確保計画策定の支援を実施中	0 -1	R3年1月までに策定支援完 、今後は訓練支援を継続。	• •	要配慮者利用施設において領	€ ·H29年度	・H32年度	・地域防災計画への掲載済	• •	也域防災計画への掲載済	• .3	配慮者利用施設において策	・H29年度 ・H32年度	・施設における水害に対する避 難計画作成	•	・水害ハザードマップ内の要配 感者施設の避難計画作成済	e •	要配慮者利用施設が浸水想					
⑥要配慮者利用施設 の作成及び訓練の促	定している避難計画の 面の中に水害も対象 づけ、避難訓練等を3)策定計 :して位置 :接する	保計画策定の支援を実施中	7	", 今後は訓練支援を継続。	定面	をしている避難計画の策定計 画の中に水害も対象として位置 づけ、情報提供及び避難訓練						idai	、ている避難計画の策定計 カ中に水害も対象として位置 け、情報提供及び避難訓練 を支援する。【H29年度~】		難計画作成 ・避難訓練等の実施支援		虚者施設の避難計画作成済避難訓練等の実施支援	0	定区域外。					
						等	等を支援する						等	と支援する。【H29年度~】											
⑦ハザードマップポー 活用した周知サポー の活用	ータルサイトを ト、地図情報																								
(2)避難勧告の発令に	 に着目したタイムラインの作成																								
	・策定済み	•H27年度 •H28.3	・避難指示(緊急)、避難準備・ 高齢者等避難開始に名称変更	•	H27年度に完了, その後避難 前告等の伝達基準変更に伴う 対訂等を実施。	•	タイムラインの策定を行う	·H29年度	・H32年度	・タイムラインを作成した	•	タイムラインを作成した	• • • • • •	イムラインの策定を行う	·H29年度 ·H32年度	策定に向け内部検討中	0	・タイムラインを策定	•	・タイムラインの策定を行う	・H28年度 ・H32年度	・策定に向け内部検討	〇 -策	定に向け内部検討	0
①避難勧告の発令に ムラインの作成																									
		する ・H29年度 ・H32年	夏 ・想定訓練を検討	0	想定訓練を検討	O -1	ロールブレイング等の実践的 な訓練の実施する	・H29年度	・H32年度	・訓練方法等の内部検討	0	訓練方法等の内部検討	O ・E	ールプレイング等の実践的 II線の実施する	-H29年度 -H32年度	・訓練方法について内部検討中	0	訓練方法について内部検討	0	・ロールプレイング等の実践的 な訓練の検討	•H28年度 •H32年度	・訓練方法について内部検討	0 -34	練方法について内部検討	0 1
	5く首長も参加									1					1 1	1	1 1		1	l	1 1		1		1
②タイムラインに基づした実践的な訓練	がく首長も参加																								\perp
	0. 「佐除度の色																								

			行本市				1		公 田市							●:実施済み、〇:実施	中(検討ロ	中を含む)、Δ:実施[こ向けた取	7り組みを継続、 × : 実	施していない	,\ ■ (-)):対象外またはR2年度	度以降実施・)	:対象外またはR2年月	度以图
項 内容	実施内容	実施期間 着手 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	定 実施内容	実施期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	目	H31(R1)年度実績 実	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実
 3)防災教育や防災知識の普及	及	石于 元		1		1		石于 元				1		石ナーフ	τJ				1		- 石士	元」				
①水災害に事前準備に関する問 合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を検討は	・H28年度 ・H28年度	・建設部や関係各課と連絡を 執って窓口を設置・HPの拡充(関係機関の情報を リンク)	ě	・建設部や関係各課と連絡を 執って窓口を設置・HPの拡充(関係機関の情報を リンク)	•	・問い合わせ窓口を設置する	*H28年度 *H28年	度 ・総務課危機管理室を窓口と た。	±L •	・総務課危機管理室を窓口とした。	•	・設置について検討する	·H28年度 ·H3	12年度 担当	当部署や体制について検討	0 •1	窓口を一本化している	•	・設置について検討する	•H29年度	・H32年度 ・	設置について検討	0 -1	受置について検討	
②水防災に関する説明会の開催	・実施について検討	・H28年度 ・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	t A	・実施に向けた取り組みを検討	0	・実施について検討する	·H28年度 ·H32年	度 ・実施に向けた取り組みを継 (H28常陸川水門現地見学会 参加) ・ 茨城県住民避難力強化事	el:	・実施に向けた取り組みを継続 (H28常陸川水門現地見学会に参加) ・支城県住民避難力強化事業	:	・水防訓練を五月に実施	·H28年度 ·H3	- 漫:	防訓練を五月に実施k水想定域のある行政区の区 民生委員へ説明会実施		曼水想定域のある行政区の[: 民生委員へ説明会実施	₹ •	・実施について検討する	•H28年度	·H32年度 (実施に向けた取り組みを継制 H28常陸川水門現地見学会(身加)	Δ ·9	R施に向けた取り組みを継続 28常陸川水門現地見学会 加)	
③教員を対象とした講習会の実施	・講習会等を検討	・H29年度 ・H32年度	・講習会を検討	0	•講習会を検討	0	・実施について検討する	・H29年度 ・H32年	東施 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京		- 大会議会 (大会議会) (大会表表	8	・毎年実施する総合防災訓練時 に教育施設を避難場所に指定 し、実施を検討	·H28年度 ·H3	2年度 教員		O ·禁	教育委員会と実施について杉 する	0	・小中学校が浸水想定区域外	F					1
	・実施について検討	・H29年度 ・H32年度	・学校単位の防災訓練を継続3 施	* O	学校単位の防災訓練を継続事施	K 0	・実施について検討する	・H29年度 ・H32年	度 ・小学生向けに配布する防災 ラシを検討	ξ Ο	・小学生向けに配布する防災ラランを検討	0	毎年実施する総合防災訓練時に教育施設を避難場所に指定し、実施を検討	·H28年度 ·H3	12年度 小学 を配	学校等に防災訓練のチラシ 記布	O •\$	教育委員会と連携し出前教室 随時実施	•	・実施について検討する	・H29年度	·H32年度 -	美浦村防災訓練時に校舎を 明して避難訓練を実施(小学生 8加)	利 〇 ・身	長浦村防災訓練時に校舎を して避難訓練を実施(小学 5 加)	·利 :生
④小学生を対象とした防災教育の実施	•												し、大店で快計									2	9 IJA /	2	<i>mu)</i>	
⑤出前講座等を活用した講習会 実施	・情報入手方法などの周知	-H28年度 -H32年度	・市銀やチラシで掌施	0	・市報やチラシで実施		・情報入手方法などの周知	+H29年度 -H32年	度・緊急速報メールを活用		・緊急速報メールを活用		·検討中	·H28年度 ·H3	2年度 情報	服媒体について検討	0 65	※行政無線 エリアメールの		情報入手方法などの関知を	- 輪 - H28年度	-H32年度 -	入手方法について内部検討	0	(手方法について内部検討	1
⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報 発信	幸吸																協発	かにヤフー株式会社と災害 定を締結し、ブッシュ型情報 信の強化を図った		・情報入手方法などの周知を 討する						
⑦水位計やライブカメラ等の情報 リアルタイムで提供	・市HPの防災情報内で河川事務所、川の防災情報等のリンタを作成	- H28年度 - H28年度 ウ	・川の防災情報等のリンクを作成	•	・川の防災情報等のリンクを作成	•	 関係機関のリンクを貼るなど、ホームページなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する 	*H29年度 *H30年	度 ・川の防災情報等のリンクを 成	作	・川の防災情報等のリンクを作成	•	・関係機関などのリンクをホームページに記載する	·H28年度 ·H2	19年度 ·川i のリ	の防災情報・水位情報等へ ノンクを作成	• · Ji	川の防災情報・水位情報等へ リンクを作成	•	・村の防災Webにて、川の防 情報等のリンクを付し、情報 供を行う	₹ +H28年度 是	·H28年度 · 们	村の防災Webにて、川の防災 情報等のリンクを付し、情報提 もを行った	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	けの防災Webにて、川の防災 報等のリンクを付し、情報損 を行った	MILE
⑧許可工作物管理者への防災券育の実施	・実施について検討	・H29年度 ・H32年度	·河川管理者(国交省)との共同 点検等を利用し、実施を検討	0	河川管理者(国交省)との共同 点検等を利用し実施を検討	0	・国. 県と連携し支援をする	*H28年度 *H32年	度・実施方法等について内部を	検討 〇	・実施方法等について内部検討	0	・検討する	·H28年度 ·H3.	2年度・実	施内容について内部検討	0 -9	実施内容について内部検討	0	検討する	•H29年度	・H32年度 ・	実施方法等について内部検討	N O -9	変施方法等について内部検	.B1
 対策の主な取組 ②洪水氾濫		持間の確保のための	水防活動の取組									-							+					+ +		-
より効果的な水防活動の実																										_
①水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施	・これまでも伝達訓練を実施し ている	*H28年度 *H32年度	・災害時優先携帯等を用い訓練 を実施	₩ O	・災害時優先携帯等を用い訓練を実施	* O	・水防訓練に併せ伝達訓練を 適する	F +H29年度 +H32年	度 ・デジタル簡易無線機で伝達 線を実施		・デジタル簡易無線機で伝達割 練を実施	0	・水防訓練時に実施	·H28年度 ·H3	2年度 ・水	防訓練時に実施	0 -3	連絡体制の再確認を実施	0	・既に、村の防災訓練に併せ 達訓練を実施している	伝 ·H28年度	・H32年度	R2.2.1防災(水防)訓練を実施	新	型コロナの影響で未実施	
②水防団同士の連絡体制の確保	₹		・簡易無線機を各部に配備し、 要領を作成、配布済み		・簡易無線機を各部に配備し、 要領を作成、配布済み	•	・連絡体制を確保する	•H28年度 •H32年	度 ・デジタル簡易無線機を配備	•	・デジタル簡易無線機を配備	•	・検討する	·H28年度 ·H3.	2年度 ·連接計	総体制や連絡方法について 対	9. 字	肖防団が水防団を養務してま ・連絡体制は、火災現場等で !施している 肖防団車両に無線機を配備	•	・連絡体制確保の検討	•H28年度	·H32年度 第	消防車両に無線機及び小型 無線機を配備	O -3	肖防車両に無線機及び小型 線機を配備	
③水防団や地域住民が参加する 水に対しリスクが高い区間の共同 点検	・河川事務所が実施する重要 防箇所等の共同点検に参加。 【H28年度~】	水・H28年度・H32年度	区長や消防団員、地元住民と 共に危険箇所の合同点検に参加	0	・水防訓練のほか、出水期前に 水防重点箇所の共同点検にお いて、行政区民、消防団員が参 加(今年度は新型コロナウイル ス感染症対策によりなし。)	•	河川事務所が実施する重要が 防筋所等の共同点検に参加する	C +H28年度 +H32年	度 ・河川事務所が実施する共同 検に参加	司点 〇	河川事務所が実施する共同が 検に参加	i O	・河川事務所が実施する共同点 検に消防団等とともに参加	·H28年度 ·H3	32年度 ·河 検に	J川事務所が実施する共同点 に消防団等とともに参加	O •R	12年度は共同点検未実施の め不参加	0	河川事務所が実施する重要 防箇所等の共同点検に参加 る	:水・H28年度 す	·H32年度 · 村	河川事務所が実施する合同。 歳に参加	点(),接	可川事務所が実施する合同 に参加	点
④関係機関が連携した実働水防 練の実施	・利根川水系連合水防演習に 加する ・水防訓練の実施		・実施に向けた取り組みを継続・消防夏季訓練の際に水防訓練を実施		・実施に向けた取り組みを継続 ・消防夏季訓練の際に水防訓練を実施	Δ Ο	利根川水系連合水防演習に参加する	・H29年度 ・H32年	度・実施に向けた取り組みを継	続 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・水防訓練を5月に実施	·H28年度 ·H3.	-消	防訓練を5月に実施 協助職員・役所職員で土豪作 訓練を実施	O -A	32年度は未実施	0	・既に美浦村、稲敷市、阿見 市町村で合同の水防訓練を 施している	打3 •H28年度 実	·H32年度	H31.6.15 合同訓練実施	O 新	型コロナの影響で未実施	_
⑤水防活動の担い手となる水防t カ団体の募集・指定を促進	・募集を検討 協	・H28年度 ・H32年度	・実施に向けた取り組みを継続		・実施に向けた取り組みを継続		・広報誌やホームページ等で募集していく	·H29年度 ·H32年	度・広報誌やホームページ等で集	· 募 〇	・広報誌やホームページ等で多集	0	・自主防災組織の活動促進	·H28年度 ·H3	2年度 ・設	対立のための準備会に出席	O •10 00 20	広報紙やホームページで水瓜 を兼務する消防団員の募集 行った	5 0	広報誌やホームページ等で 集を検討する	募 ·H29年度	·H32年度 ·	水防団を兼務する消防団員の ロ入促進を実施し、団員を募約	か O ・7 加	K防団を兼務する消防団員 入促進を実施し、団員を募	の集
⑥地域の建設業者による水防支	・実施を検討 接	・H28年度 ・H28年度	・災害時における資機材のリース協定や市内建設業者と連携 済み	•	・災害時における資機材のリー ス協定や市内建設業者と連携 済み	•	・災害協定締結済み	·H19年度 ·H19年	度	•	•-	•	・検討する	·H28年度 ·H3	12年度 · 支 討	援が可能か協定の確認・検	0	建設業協会と災害協定を締結 ている	.	・実施を検討する	・H29年度	·H32年度 •	実施に向けた内部検討	0 -3	『施に向けた内部検討	_
体制の検討・構築	・消防団と情報共有、点検を行う	- +H28年度 -H32年度	・消防団や対象地区住民と合同 点検を実施	n O	・台風まえに消防団等と点検を 実施	0	·水防団等と情報共有, 点検に 努める	*H28年度 *H32年	度 ・河川事務所が実施する共同 検に参加	司点 •	・河川事務所が実施する共同 検に参加	i •	・水防団等と情報共有. 点検に 努める	·H28年度 ·H3	2年度 ・水	、防団等と情報共有. 点検	O ·1	水防団等と情報共有. 点検	0	·水防団等と情報共有及び点 等の検討	.検・H28年度	·H32年度 ·	実施に向けた取り組みを継続	L Δ •9	変施に向けた取り組みを継続	続
	31、从江南海北水外	活動の回復を可能	- -	We 40																						
対策の主な取組 ③一刻も早)排水計画(案)の作成及び排		山地の凹板を可能な	_ッるにめが排水活動の	・4文示丘																						_
①排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規 水害を想定した排水計画(案)を作成	建設部や関係機関と協議し担	# ・H28年度 ・H32年度 を	・建設部や消防団と協議し、排 水ポンプ設置箇所を選定済み 排水計画(案)の作成に向けた 検討を実施	-	・建設部や消防団と協議し、排 水ポンプ設置箇所を選定済み。 排水計画(案)の作成に向けた 検討を実施	O	・排水ポンプの設置箇所の選定 まで行った排水計画(案)を作 成する	·H29年度 ·H32年	度 ・機場管理者との情報共有、 水計画の検討	排()	・機場管理者との情報共有、排 水計画の検討	0	・関係機関との排水施設の情報 共有	·H28年度 ·H3	12年度 ·排 検計	水区域の選定について内部 対	O ·排検	非水区域の選定について内部 討	8 0	・排水施設等が無いが、検討る	す・H30年度	*H32年度				
②排水訓練の実施	・防災訓練等で実施		・実施に向けた取り組みを継続	t A	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・防災訓練と合同で実施する	•H29年度 •H32年	度・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ	・防災訓練での実施を検討	·H28年度 ·H3	2年度・防	が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	0 -9	実施に向けた取組を継続	Δ	・村の防災訓練と合同で実施 るよう検討する	す・H30年度	•H32年度				
-	・建設部や関係機関と協議し 水ポンプ設置箇所の選定まで 行った排水計画(楽)を作成	非 ·H28年度 ·H32年度	・県河川管理者と協議の上、排	. 0	・県河川管理者と協議の上、排水計画の検討を実施	0	・排水ポンプ等の設置箇所の連	H29年度 ·H32年	度・排水計画(案)について内部 討	検 O	・排水計画(案)について内部核	0	検討する	·H28年度 ·H3.	12年度 ·排:	水計画について内部検討	0 -1	計画策定を検討中	0	検討する	•H30年度	•H32年度				Á

				阿貝町							河内町						●:実施済み、 〇: 利根町	美施甲(検討	N中で367、 △: 美心	二回げた取り	7祖のを秘机、 ^:天	他していない	香取市	年度以降 美 府	他*): 対象がまたはR2平8	艾以降美丽
項目 事項	内容	実施内容	実施期間 着手 完一	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施 着手	期間 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施其 着手		実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施		績 実施状況	況 R2年度実績	実施状法
	対策の主な取組 共水を河川内で安全に流す対	· ##																								
(1)2	※小を利用内で女主に加り対	ж																								
	①堤防整備																									
	②波浪対策																									
	聲難行動、水防活動、排水活! 「	動に資する基盤等の整	備																							
	①雨量·水位等の観測データ及び 洪水時の状況を把握·伝達するための基盤の整備																									
		無線は整備済		度 ・同報系、移動系(デジタル式) 無線は整備済		・同報系、移動系(デジタル式) 無線は整備済	•	防災無線のデジタル化	•H30年度	•H32年度		0	防災無線のデジタル化整備完 了	ft.	方災無線(同報系)のデジタル 実施設計(H28年度)				・実施設計完了		帯に対し戸別受信機の貸与る	世 ·H28年度	・H32年度 ・市町合併以前から、貸 施しており現在も継続中。	。特に	・市町合併以前から、貸与は実施しており現在も継続中。特に	=
	②防災行政無線の改良、防災ラジ 才等の配布	警戒区域内の世帯(希望者) へ、戸別受信機を設置済		度 ・戸別受信機を設置	•	・戸別受信機を設置	•						(R3.2)	1	方災無線(同報系)デジタル化 事	·H29年度 ·	H30年度 ・防災無線(同報系)デジタル 工事(H29年度~H30年度)	化	・防災無線(同報系)デジタル(工事(H29年度〜H30年度)	•	進める		浸水想定区域にある要頁 施設へ積極的な配布を9	己慮者	浸水想定区域にある要配慮者 施設へ積極的な配布を実施	Ť
	③水防活動を支援するための新技	・難時エリアへの機段等を給 ・稲敷広域消防本部と連携を りながら検討する	は +H32年度 +H32年 図 +H28年度 +H28年	度 ・ 消防団員用安全管理資機材 (ライフジャケット)配備済	•	・消防団員用安全管理資機材 (ライフジャケット)配備済	•	・資機材の充実を検討する。	•H28年度	・H32年度 ・	導入資材の選定について検討	4 0	・導入資材の選定について検	計 O ·:	K防団員の安全を図る資機材 充実	·H29年度 ·	H32年度 ・水防団(消防団)の安全を確するための資機材を整備	f保 O	・水防団(消防団)の安全を確信 するための資機材を整備	₩ 0	・新技術を活用したものではないが、基本的な水防資機材に 配備している	: ·H28年度	・ 新技術を活用したもので いが、基本的な水防資機 配備済	:はな .材は	・新技術を活用したものではないが、基本的な水防資機材は 配備済	•
	術を活用した水防資機材等の配備																									
	④水位計や量水標、CCTVカメラ等 の設置	検討する	•H28年度 •H28年	度 ・国や県が設置している既存の 設備を活用する (新たな設置 は予定していない)	•	・国や県が設置している既存の 設備を活用する(新たな設置 は予定していない)	1 •														ら、横利根川の水位データを のホームページにリンク貼り	市	・H28年度 ・川の防災情報へのリンク	/済み ●	・川の防災情報へのリンク済み	4
	の設直	庁舎は浸水想定区域外						-霞ヶ浦流域の浸水想定では対	101						宇舎は浸水想定区域外で自						・利根!!!!!!サの愉彩装性 ト	汀 - H29年度	・H32年度 ・実施に向けた取り組み	た細綿 ∧	・実施に向けた取り組みを継続	* ^
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家	7) 百体发小心定阵纵/7					9	策を要しない。						**	発電装置有り						濫水が貯留される事から避費 誘導を優先する	1 11204-32	1102年度「天郎に阿リルルグ船が	erest A	大郎に同けた扱う値がた。値が	π Δ
	発電装置等の耐水化	・災害協定を締結している事	業 ・H26年度 ・H26年	度 ・レンタル機材等の協力に関す る協定の締結済	•	・レンタル機材等の協力に関す	•	・資材の配備拡充	•H30年度	•H32年度		Δ									・浸水実績図の作成を行う	・H28年度	・H32年度 ・内水ハザードマップを配 発を行っており、災害時の	布し啓	内水ハザードマップを配布し	啓 〇
	⑥内水被害危険箇所の対策	所の協力を得る		る協定の締結済		る協定の締結済																	発を行っており、災害時の を実施	巡視	・内水ハサードマッフを配布し 発を行っており、災害時の巡視 を実施	見
				阿目町							河内町						F-11+8 Pr						香取市		"	
				阿見町							河内町						利根町						省 取巾			
項目 事項	内容		実施期間						実施	期間						実施其	間					実施	期間			
		実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容			H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容		H31(R1)年度実	績 実施状況	况 R2年度実績	実施状況
			着手 完了						着手	完了						着手	完了					着手	完了			
2. ソフト対	│ 策の主な取組 ①逃げ遅れせ	プロに向けた迅速かつst	1確な避難行動の	ための取組																						
	ム域避難を考慮したハザード																									
	①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表																									
	AL 94-79 BH VV 24 3A																									
	②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表																									
		協議会の中で、広域避難計 (案)を策定する	画 ·H29年度 ·H32年	度 ・福敷広域圏市町村で広域避 難計画を検討中	0	- 福敷広域圏市町村で広域避 舞計画を検討中	0 -	・隣接市町村との協定締結	·H28年度	·H28年度 ·	H29.1稲敷地方広域市町村事 务組合構成7市町村にて相互	•	・H29.1福敷地方広域市町村 務組合構成7市町村にて相互		副敷広域組合構成市町村で 討開始	·H28年度 ·	H28年度 ・稲敷広域組合構成市町村に り災害時相互応援協定(広域	ال 134	・福敷広域組合構成市町村に。 り災害時相互応援協定(広域)	i: •	・隣接自治体との協定締結な 事前の調整を図った上で、広	ど ·H28年度	・H32年度 ・協定市間(福敷市、瀬来市、神循 いて広域避難所(7箇所)を設定し	市)にお	・協定市間(稲敷市、瀬来市、神橋市)にお いて広域避難所(7箇所)を設定した。計画	S O
	③広域避難計画の策定	・稲敷広域圏内市町村で検討	·H28年度 ·H28年	度・災害時相互応援協定の締結	•	・稲敷広域市町村圏事務組合 構成市町村を対象とした広域遊 難計画が策定された。(H303)	•			Ř	む援協定締結		応援協定締結 ・R2.6 稲敷市・阿見町・美浦村と広域避難所の提供に係る覚	村	11 JULY 1		難含む)を締結		難含む)を締結		避難計画を策定する	~	- H32年度 ・協定市間(稲敷市、瀬来市、神橋 いて広域避難所(7億所)を設定し は、 に向け、司を終金位籍を追める。 ・ H311.24 協定市間で計画策定へ 抽出のため、DIG訓練を実施した。	の問題点	・協定市関(福敷市、湖来市、神橋市)にお いて広味避難所(7億所)を設定した。計画 定に向け、引き締合協議を進める。 ・H31.1.24 協定市間で計画策定への問題 抽出のため、DIG訓練を実施した。	ià
		難を楽庫したハザードマップの	避 ·H28年度 ·H32年	度 ・策定に向けた内部検討 ・想定最大規模降雨における別	∆ •	・上記広域避難計画に基づき・策定に向けた内部検討・想定最大規模降雨における浸水想定区域のハザードマップを	Δ :	利根川下流管内の洪水浸水 想定区域図の公表後検討を行	•H30年度	・H32年度 ・	ハザードマップ作成業務要託 契約締結	0	書締結 ハザードマップ・防災ガイドブ: クの作成・周知(R2.8)	y • ·;	を対象に、広域楽闘を反映し		H30年度・防災の手引き及びハザード マップを作成し、防災の手引き	±.	防災の手引き及びハザードマップを作成し、防災の手引き		水を対象に、新たな洪水ハサ	洪 ·H28年度	 ・ 出定最大規模降雨における洪水 たハザードマップを作成するため、 調整を行った。 	生体寺の	 ・想定最大規模降雨における洗水を対象と たハザードマップを作成するため、仕様等 調整を行った。 	0
	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等			水想定区域のハザードマッフを	Ē	水想定区域のハザードマッフを	- 1					1 1	【利根川・小貝川・霞ケ浦】	T=	洪水ハザードマップを策定す		の中にはマイタイムラインを持		の中にはマイタイムラインを掲		ドマップを策定する		調整を行った。 ・H30年度に想定最大規模降雨に 水を対象としたハザードマップを作	artan O	開墾を行つた。 1830年度に想定最大規模降雨における沙 水を対象としたハザードマップを作成した。 翌年度に配布周知を図る予定。 1831年度に前年度に作成したハザードマ・	, O
		米疋を検討する		策定し住民へ周知(H30.7月)		策定し住民へ周知(H30.7月)								్			載し、各戸配布により周知を る	SI .	載し. 各戸配布により周知を図 る				歴年度に配布周知を図る予定。 ・H31年度に前年度に作成したハヤ	成した。 ードマッ	H31年度に前年度に作成したハザードマ	
			整 ·H28年度 ·H32年	策定し住民へ周知(H30.7月) 度 ・整備に向けた内部検討	Δ	来定し住氏へ周知(H30.7月) -整備に向けた内部検討	Δ ;	想定区域図の公表後、整備に	•H30年度	・H32年度 ・L	町内各所に想定浸水深を表え た看板を設置		した看板を設置(利根川)	示 • ·;	共水浸水総地図の公表後、設 に向けた検討を行う		る H32年度 -H30年度に指定避難所の案 看板を設置する	内〇	る ・H30年度に指定避難所の案序 看板を設置する	9 0	に関する案内表示板等の設置	路 ・H29年度	翌年度に配布周知を図る予定。	チードマッ 〇 連載 〇	** ・ 市内の一部に設置済であるが、拡充について検討中。	0
		・洪水浸水総地図の公表後、 備に向けて検討する		策定し住民へ周知(H30.7月) 度・整備に向けた内部検討	Δ		Δ .	想定区域図の公表後、整備に 向けて検討する。		L	ンた看板を設置		した看板を設置(利根川) 公共施設20カ所 電柱40カ所	示 ● ・ :	に向けた検討を行う	·H29年度 ·	る H32年度 -H30年度に指定避難所の案 看板を設置する ・浸水恕定深の表示看板につ ては、今後検討	内 O	る - H30年度に指定避難所の案内 看板を設置する ・ 浸水想定深の表示看板につい ては、今後検討	0	に関する案内表示板等の設定 を検討する	Ē	要生度に配布関加を図る予定。 ・1813年度に静度化原化ルン・フェーラン・ ・1822年度・ が、 拡充について検討中	チードマッ O	・市内の一部に設置済である が、拡充について検討中。	
	⑤束るごとまちごとハザードマップ 整備・拡充 ⑥委配慮者利用施設の避難計画	・洪水浸水総地図の公表後、		策定し住民へ周知(H30.7月) 度 ・整備に向けた内部検討 度 ・支援に向けた内部検討 ・県主催で要配慮者施設管理 者等・辺難使発計画の説明を	0	-整備に向けた内部検討 -英塚に向けた内部検討 -英塚に向けた内部検討 -東生催で要配慮者能設管理 者等-英雄健保計画の説明を	Δ ;	想定区域図の公表後、整備に		L	町内各所に想定浸水深を表す た看板を設置 対象施設への個別説明		した看板を設置(利根川) 公共施設20ヵ所	示 ● ・ :	典水浸水総地図の公表後、設 に向けた検討を行う 整理訓練等を支援する	·H29年度 ·	る H32年度 ・H30年度に指定避難所の案 看板を設置する ・浸水想定深の表示看板につ	A O	る - H30年度に指定避難所の案を 看板を設置する - 浸水想定深の表示看板につい	0	に関する案内表示板等の設定 を検討する	Ē	置年第に新南原を図る手法 - 1918年度 (新年度・所北上・ハ・ - 1918年度 - 市内の一部に設置済で が、拡充について検討中 - 1918年度 - 計画作成の概要、作成明等 ムページに掲載し作成支援を また計画米作成態を支援を また計画米作成態を支援を	チードマッ O 事業 O	・市内の一部に設置済である が、拡充について検討中。	
	⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、 備に向けて検討する		策定し住民へ周知(H30.7月) 度・整備に向けた内部検討	0	・整備に向けた内部検討	Δ ;	想定区域図の公表後、整備に 向けて検討する。		L	ンた看板を設置		した看板を設置(利根川) 公共施設20カ所 電柱40カ所	示 ● ・ :	に向けた検討を行う	·H29年度 ·	る H32年度 H32年度 電板を設置する。 ・浸水想定派の表示看板につては、今後検討 H32年度 ・要配慮者利用施設の遊費診	A O	る ・H30年度に指定避難所の家P 看板を設置する ・浸水想定深の表示看板については、今後検討 ・要配慮者利用施設の姿難計	0	に関する案内表示板等の設定 を検討する ・作成に必要な情報の提供及	Ē	要年度に配信機能を総合予定。 ・ 17年度に表示で、 ・ 17年度 日本の 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	チードマッ O 事業 O	・市内の一部に設置済である	
	5束るごとまちごとハザードマップ 整備 拡充 6. 実配底者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 7.ハザードマップボータルサイトを 活用した開かすート・地図情報	・洪水浸水総地図の公表後、 備に向けて検討する		策定し住民へ周知(H30.7月) 度 ・整備に向けた内部検討 度 ・支援に向けた内部検討 ・県主催で要配慮者施設管理 者等・辺難使発計画の説明を	0	- 整備に向けた内部検討 - 支援に向けた内部検討 - 実施で変配虐者施設管理 者等人避難保計画の説明を 開催(131.2月) - 対象となる変配虚者施設全で	Δ ;	想定区域図の公表後、整備に 向けて検討する。		L	ンた看板を設置		した看板を設置(利根川) 公共施設20カ所 電柱40カ所	示 ● ・ :	に向けた検討を行う	·H29年度 ·	る H32年度 H32年度 電板を設置する。 ・浸水想定派の表示看板につては、今後検討 H32年度 ・要配慮者利用施設の遊費診	A O	る ・H30年度に指定避難所の家P 看板を設置する ・浸水想定深の表示看板については、今後検討 ・要配慮者利用施設の姿難計	0	に関する案内表示板等の設定 を検討する ・作成に必要な情報の提供及	Ē	置年第に新南原を図る手法 - 1918年度 (新年度・所北上・ハ・ - 1918年度 - 市内の一部に設置済で が、拡充について検討中 - 1918年度 - 計画作成の概要、作成明等 ムページに掲載し作成支援を また計画米作成態を支援を また計画米作成態を支援を	チードマッ O 事業 O	・市内の一部に設置済である が、拡充について検討中。	
	ち凍るごと歩ちごとハザードマップ 整備 拡充 恋要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の仮達 プハザードマップボータルサイトを 活用した周知サポート、地図情報 の活用	・決水浸水栽培図の公表後、 傷に向けて検討する ・避難別練等を支援する		策定し住民へ周知(H30.7月) 度 ・整備に向けた内部検討 度 ・支援に向けた内部検討 ・県主催で要配慮者施設管理 者等・辺難使発計画の説明を	0	- 整備に向けた内部検討 - 支援に向けた内部検討 - 実施で変配虐者施設管理 者等人避難保計画の説明を 開催(131.2月) - 対象となる変配虚者施設全で	Δ ;	想定区域図の公表後、整備に 向けて検討する。		L	ンた看板を設置		した看板を設置(利根川) 公共施設20カ所 電柱40カ所	示 ● ・ :	に向けた検討を行う	·H29年度 ·	る H32年度 H32年度 電板を設置する。 ・浸水想定派の表示看板につては、今後検討 H32年度 ・要配慮者利用施設の遊費診	A O	る ・H30年度に指定避難所の家P 看板を設置する ・浸水想定深の表示看板については、今後検討 ・要配慮者利用施設の姿難計	0	に関する案内表示板等の設定 を検討する ・作成に必要な情報の提供及	Ē	置年第に新南原を図る手法 - 1918年度 (新年度・所北上・ハ・ - 1918年度 - 市内の一部に設置済で が、拡充について検討中 - 1918年度 - 計画作成の概要、作成明等 ムページに掲載し作成支援を また計画米作成態を支援を また計画米作成態を支援を	チードマッ O 事業 O	・市内の一部に設置済である が、拡充について検討中。	
	5束ることすらごとハザードマップ 整備 拡充 6.要配席者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 プハザードマップボータルサイトを 活用に周知サポート、地図情報 の活用 超難勧告の発令に着目したター 避難勧告の発令に着目したター	・決水浸水栽培図の公表後、 傷に向けて検討する ・避難別練等を支援する	-H28年度 -H32年	策定し住民へ周知(H30.7月) 度 ・整備に向けた内部検討 度 ・支援に向けた内部検討 ・県主催で要配慮者施設管理 者等・辺難使発計画の説明を	0	- 整備に向けた内部検討 - 支援に向けた内部検討 - 実施で変配虐者施設管理 者等人避難保計画の説明を 開催(131.2月) - 対象となる変配虚者施設全で	Δ 3 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	想定区域図の公表後、整備に 向けて検討する。	•H30年度	+H32年度 •	ンた看板を設置	0	した看板を設置(利根川) 公共施設20カ所 電柱40カ所	示 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	に向けた検討を行う 登積別線等を支援する 地質別線等を支援する 地質別線等を支援する	*H29年度 *I	132年度 132年	内 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	る 1,400年度に指定登開所の案内 事務を経過する。 9次が想定項の表示看板については、今後検討 では、今後検討 要配慮者利用施設の逻辑計 面の作成及び訓練実施を促進 する	0	に関する案内表示板等の設 を検討する ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	び -H28年度	置年第に新南原を図る手法 - 1918年度 (新年度・所北上・ハ・ - 1918年度 - 市内の一部に設置済で が、拡充について検討中 - 1918年度 - 計画作成の概要、作成明等 ムページに掲載し作成支援を また計画米作成態を支援を また計画米作成態を支援を	□ はまます。 ○ □ ある ○ ○ □ ホホー ○ ○ □ が の 通	・市内の一部に設置済である が、拡充について検討中。	it: O
	ち凍るごと歩ちごとハザードマップ 整備 拡充 恋要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の仮達 プハザードマップボータルサイトを 活用した周知サポート、地図情報 の活用	・浜水浸水総施図の公表後、 備に向けて検討する ・避難訓練等を支援する	-H28年度 -H32年	策定し住民へ周知(H30.7月) 度 ・整備に向けた内部検討 度 ・支援に向けた内部検討 ・第二性で要配慮者施設管理 者等へ組織確保計画の説明を 開催(H31.2月)	0	・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・集主催で配品を放射・ ・集主催で配品を放射機 ・電主催で配品を放射機 ・海生催で配品を放射機 ・対象となる表記患者施設をで ・大は、で温報機は112月・ ・大は、で温報機は113月・ ・大は、で温報機を計画を持定	Δ 3 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	想定区域図の公表後、整備に向けて検討する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	•H30年度	+H32年度 •	た着板を設置 対象施設への個別説明	0	1.7番板を設置(明報川) 公共施設20万元 電柱40万所 で発施設への個別説明	示 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	に向けた検討を行う	*H29年度 *I	493年度 4930年度に指定避費所の東 事を名置する。 事を名置する。 現在名置する。 現本想定数の表示者板につ では、今後検討 1932年度 - 要配慮者利用施設の避難 面の作成及び削減実施を使け する	内 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	る 1495年度に指定連續所の案庁 専権を経過する。 「東水想定理の表示看板(こ)は では、今後検討 「悪配虐者利用施設の過程計 調を向作成及び別練実施を促進 する	0	に関する案内表示板等の設 を検討する ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援	び -H28年度	開車が1.8年間単位を4.7年 14.3年度 市内の一部に設定法で が、拡死について検討中 14.3年度 ・計画作成の概要、作成明章 た計算本作成の概要、作成明章 を行った。 14.3年度 ・作成中、広境避難協定 14.3年度 ・作成中、広境避難協定	□ はまます。 ○ □ ある ○ ○ □ ホホー ○ ○ □ が の 通	・市内の一部に設置者である が、拡充について検討中。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	it: O
	5束ることすらごとハザードマップ 整備 拡充 5.要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 フハザードマップボータルサイトを 活用に周知サポート、地図情報 の活用 避難勧告の発令に着目したタイ ムラインの作成	・浜水浸水総施図の公表後、 備に向けて検討する ・避難訓練等を支援する	+H28年度 ·H32年 - H28年度 ·H28年	策定し住民へ周知(H30.7月) 度 ・整備に向けた内部検討 度 ・支援に向けた内部検討 ・第二性で要配慮者施設管理 者等へ組織確保計画の説明を 開催(H31.2月)		・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・集主催で配品を放射・ ・集主催で配品を放射機 ・電主催で配品を放射機 ・海生催で配品を放射機 ・対象となる表記患者施設をで ・大は、で温報機は112月・ ・大は、で温報機は113月・ ・大は、で温報機を計画を持定	Δ 3 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	想定区域図の公表後、整備に向けて検討する。 - 避難別継等を支援する。 - 避難別継等を支援する。 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-H30年度 -H28年度	-H32年度 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	た着板を設置 対象施設への個別説明 テェックリスト作成済み	•	1.7番板を設置(明報川) 公共施設20万元 電柱40万所 で発施設への個別説明	● 173	に向けた検討を行う 壁類訓練等を支援する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*H29年度 · I	132年度 132年	NA O	る 1,400年度に指定登開所の案内 事務を経過する。 9次が想定項の表示看板については、今後検討 では、今後検討 要配慮者利用施設の逻辑計 面の作成及び訓練実施を促進 する		に関する案内表示板等の設 を検討する ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・タイムラインの策定・見直しを 行う ・直翼に対する原練のみてあ ・正とか。無年でよりを対象のみであ	世 び *H26年度 ・H26年度	開車が1.8年間単位を4.7年 14.3年度 市内の一部に設定法で が、拡死について検討中 14.3年度 ・計画作成の概要、作成明章 た計算本作成の概要、作成明章 を行った。 14.3年度 ・作成中、広境避難協定 14.3年度 ・作成中、広境避難協定	「	・市内の一部に設置者である が、拡充について検討中。 ・計画の成の音、内点等等をホームーンの ・対面の成の音、内点等等をホームーンの ・対面の成の音、内点等等を示した。 ・対面の表の音を表示がある。 ・通路の対面の表示がある。 ・通路の表示が表示がある。 ・作成中、広域避難協定市との ・開整を今後更に行う	E RA
		・洪水浸水散地図の公表後、 備に向けて検討する ・避難訓練等を支援する ・ イムラインの作成 ・タイムラインを策定する	+H28年度 ·H32年 - H28年度 ·H28年	策定し住民へ周知 (H30.7月) 度 ・整備に向けた内部検討 度・支援に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討 ・現土能で要配慮者能設管理 着等へ避難機計画の設明を 開催 (H31.2角)		・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・意主催で変配産者能設管理 者等・支援確保計画の説明を ・労業となる景配者能設全で ・大はいる経験を分析を ・大はいる経験を分析を ・大きタイムライン策定済 ・クタイムラインに基づく実践的な	Δ 3 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	想定区域図の公表後、整備に向けて検討する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-H30年度	-H32年度 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	た着板を設置 対象施設への個別説明 テェックリスト作成済み	•	した書板を設置(明規川) 公共施設(20万元 電柱40万所 一対象施設への個別説明	● 173	に向けた検討を行う 壁類訓練等を支援する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*H29年度 · I	432年度 433年度に指定者関所の東南に台湾である。 - 134年度 743年度 743	NA O	る 1/30年度に指定避難所の案内 審核を経営する。 「選水想定理の表示看板については、今後検討 ・ 要配慮者利用施設の避難計 調の作成及び訓練実施を促進 する 1 ・ 利根川・小貝川に対応したタームラインを作成済み。(令和元 年5月更新)		に関する案内表示板等の設 を検討する ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・・タイムラインの策定・見直しる 行う ・・産災に対する削減のみであ	世 び *H26年度 ・H26年度	開発が、配発機能を発生の 1432年度 市内の一部に設定法で が、拡充について検討中 1432年度 ・	「	・市内の一部に設置者である が、拡充について検討中。 ・計画の成の音、内点等等をホームーンの ・対面の成の音、内点等等をホームーンの ・対面の成の音、内点等等を示した。 ・対面の表の音を表示がある。 ・通路の対面の表示がある。 ・通路の表示が表示がある。 ・作成中、広域避難協定市との ・開整を今後更に行う	E RA
(2)}	5束ることすらごとハザードマップ 整備 拡充 5.要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 フハザードマップボータルサイトを 活用に周知サポート、地図情報 の活用 避難勧告の発令に着目したタイ ムラインの作成	・洪水浸水散地図の公表後、 備に向けて検討する ・避難訓練等を支援する ・ イムラインの作成 ・タイムラインを策定する	+H28年度 ·H32年 - H28年度 ·H28年	策定し住民へ周知 (H30.7月) 度 ・整備に向けた内部検討 度・支援に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討 ・現土能で要配慮者能設管理 着等へ避難機計画の設明を 開催 (H31.2角)		・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・意主催で変配産者能設管理 者等・支援確保計画の説明を ・労業となる景配者能設全で ・大はいる経験を分析を ・大はいる経験を分析を ・大きタイムライン策定済 ・クタイムラインに基づく実践的な	Δ 3 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	想定区域図の公表後、整備に向けて検討する。 - 避難別継等を支援する。 - 避難別継等を支援する。 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-H30年度	-H32年度 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	た着板を設置 対象施設への個別説明 テェックリスト作成済み	•	した書板を設置(明規川) 公共施設(20万元 電柱40万所 一対象施設への個別説明	● 173	に向けた検討を行う 壁類訓練等を支援する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*H29年度 · I	432年度 433年度に指定者関所の東南に台湾である。 - 134年度 743年度 743	NA O	る 1/30年度に指定避難所の案内 審核を経営する。 「選水想定理の表示看板については、今後検討 ・ 要配慮者利用施設の避難計 調の作成及び訓練実施を促進 する 1 ・ 利根川・小貝川に対応したタームラインを作成済み。(令和元 年5月更新)		に関する案内表示板等の設 を検討する ・作成に必要な情報の提供及 策定を支援 ・タイムラインの策定・見直しを 行う ・直翼に対する阻縁のみてあ ・正とか。無年でよりを対象があった。 ・正とか。無年でよりを対象がある。	世 び *H26年度 ・H26年度	開発が、配発機能を発生の 1432年度 市内の一部に設定法で が、拡充について検討中 1432年度 ・	「	・市内の一部に設置者である が、拡充について検討中。 ・計画の成の音、内点等等をホームーンの ・対面の成の音、内点等等をホームーンの ・対面の成の音、内点等等を示した。 ・対面の表の音を表示がある。 ・通路の対面の表示がある。 ・通路の表示が表示がある。 ・作成中、広域避難協定市との ・開整を今後更に行う	E RA

			阿見町							河内町						利根町						香取市			
内容	実施内容		期間	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施:		H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間 着手 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R R2年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		実施状況	R2年度実績	
災教育や防災知識の普及	į.	旧士	元」			1		旧士	元」						相士 元]						相子 2	5 J			_
	・設置について検討する	·H28年度	・H28年度 ・防災危機管理課、道路公園	1課 •	・防災担当課及び道路担当課で	ে ●	設置について検討する	·H31年度	·H32年度		0	総務課で対応している。	•	・水災害に関する問い合わせ窓	・H29年度 ・H29年度	・総務課担当課において問合せ	•	・総務課担当課において問合	₽ ●	・水災害に関連する担当課が	連 ·H28年度 ·H2	8年度 ・水災害に関連する担当課力	(連 ●	・水災害に関連する担当課が	が退
①水災害に事前準備に関する問い			で対応している		対応している									口を設置		に対応		に対応		携を執って、問い合わせ窓口 設置している	E .	携を執って、問い合わせ窓口 設置済。	· 5	携を執って、問い合わせ窓口 設置済。	15-
合わせ窓口の設置																									
	・実施について検討する	•H28年度	・H32年度 ・開催に向けた内部検討	Δ	・開催に向けた内部検討	Δ	開催について検討する	·H28年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	. 0	・実施に向けた取り組みを継	続〇	・町の出前講座を実施し、水防	·H28年度 ·H32年度	・町の出前講座を実施し、ハ ザードマップや災害情報の収集	0	町の出前講座を実施し、ハ ザードマップや災害情報の収息	0	・自治会等への出前講座によ	る ·H28年度 ·H3	2年度 ・自治会等からの要請により 施している	実 〇	・自治会等からの要請により 施している	実
②水防災に関する説明会の開催														火について周和を固む		方法等について説明		方法等について説明	*	同知で図る		MEC CL-O		MEC CL-S	
	・教育委員会と連携して検討し	・H28年度	・H32年度 ・実施に向けた内部検討	Δ	・実施に向けた内部検討	Δ	実施について検討する	·H31年度	·H32年度		0	・実施に向けた内部検討	0	・実施について検討する	·H29年度 ·H32年度	・町教育委員会と調整し、実施	0	・町教育委員会と調整し、実施	0	・洪水ハザードマップにより、注	曼 ·H29年度 ·H3	2年度・実施に向けた取り組みを継	続△	・実施に向けた取り組みを継	続
③教員を対象とした講習会の実施	E C. C.															について検討する		について検討する		水範囲の再確認、学校での水 災害における避難体制の整備	i	・R1年度に要望があった中等に今年度作成したハザード	?ツ	・R1年度に要望があった中学 に今年度作成したハザードマ	マッ
																				について促進する		プを防災教育用として数十音 位で配布した。	5年	プを防災教育用として数十部 位で配布した。	54
	・教育委員会と連携して検討し	・H28年度	・H32年度 ・実施に向けた内部検討	Δ	・実施に向けた内部検討	Δ	実施について検討する	·H31年度	·H32年度		0	・実施に向けた内部検討	0	・小学校で防災講習会を実施	·H29年度 ·H32年度	・引き続き町内小学校で、マイタ イムライン作成等を実施する。	0	・引き続き町内小学校で、マイ イムライン作成等を実施する。	9 0	・水防災意識の向上のため、	啓 ·H29年度 ·H3	2年度 *H30.11.17 小学生を対象に 防に関する出前講座を実施	水 O	・H30.11.17 小学生を対象に水防に する出前遺座を実施。	-関
④小学生を対象とした防災教育の 実施																「ムノリンドル寺と天祀する。		「ムノリンド成寺と天祀する。		する	,	別に関する国制調圧と大応	'	する出前講座を実施。 ・R2.11.27 市内小学校において、防 教育を実施	方多
大 ル																									
																									Ī
⑤出前講座等を活用した講習会の 事体	0																								
×**																									
	l3	行 ·H28年度	・H28年度 ・防災行政無線、メール配信、 ホームページによる配信	. •	・防災行政無線、メール <u>・ツイッ</u> ター配信、ホームページによる	•	情報入手方法などの周知にいて検討する	つ・H29年度	·H32年度	・実施に向けた取り組みを継続	. 0	・実施に向けた取り組みを継	続 △							情報入手方法等を、再度周知	⑪ ·H28年度 ·H3	2年度 ・広報紙及びHPで周知してい ・R1年度にYahoo!防災速報フ	\S O	・広報紙及びHPで開知している ・RI年度にVahoot防災連報アプリで情報 信できるよう整備した。 ・R2年度(Ctwitterのアカウントを開設し、 報発信ができるよう整備した。	根発
⑥プッシュ型の洪水予報等の情報 発信	i		・メール配信登録の啓発		配信・メール配信登録の啓発		- 45/11/7													, •		リで情報発信できるよう整備	ا ا	値できるよう整備した。 ・R2年度にtwitterのアカウントを開設し、 報酬信ができるよう整備した。	、情
2011																						/0			
	・HPで川の情報のリンクを付し、情報提供を行う	·H28年度	 ・H29年度 ・町HPの防災情報へ震ヶ浦洋 川事務所のHPをリンクし、ラ・ 	河 •	・町HPの防災情報へ霞ヶ浦河 川事務所のHPをリンクし、ライ	•														・市のホームページに、リンク 貼り付けをする	の ·H28年度 H32	年度 ・市のホームページに、リング 貼り付けており、そのリンクラ	7の O	市のホームページに、リンク 貼り付けており、そのリンク先	クロ.
⑦水位計やライブカメラ等の情報を リアルタイムで提供	E		ブ映像や水位計を閲覧できる うにした。	5.t	ブ映像や水位計を閲覧できるようにした。	t .																更新状況を確認した。		更新状況を確認した。	
77171-12201																									
	検討する	・H28年度	 ・H29年度 ・町HPの防災情報へ震ヶ浦洋 川事務所のHPをリンクし、ラー 	河 ●	・町HPの防災情報へ霞ヶ浦河 川事務所のHPをリンクし、ライ	•														・履行検査時において周知を行う	行 ·H29年度 ·H3	2年度 ・実施に向けた取り組みを継	続 △	実施に向けた取り組みを継続	繍
⑧許可工作物管理者への防災教育の実施			ブ映像や水位計を閲覧できる うにした。	5.t	ブ映像や水位計を閲覧できるよ うにした。	t														•					
			31-3140		31-0100																				
策の主な取組 ②洪水氾濫	による被害の軽減、避難	時間の確保	そのための水防活動の取組																						Τ
より効果的な水防活動の実施	施及び水防体制の強化																								_
	・水防団の連絡体制の確認を	行・H28年度	・H32年度 ・消防団が水防団を兼務し連 体制は火災対応や訓練で実施	絡〇	・消防団が水防団を兼務し連絡	0	伝達訓練の実施	·H28年度	·H32年度	・通信訓練として毎年実施して	0	毎年、町総合防災訓練時に任	•	・水防団への連絡体制の確保	·H28年度 ·H32年度	消防団が水防団を兼務しており、防災無線(移動系)及び消防	0	消防団が水防団を兼務しており、防災無線(移動系)及び消	6 O	・国の情報伝達訓練に合わせ	·H28年度 ·H3	2年度 ・H30.5.11の国の情報伝達訓	練 O	・R2.5.26の国の情報伝達訓練	練
①水防団等への連絡体制の再確	?		体制は欠災対応や訓練で美術 している	ae.	体制は火災対応や訓練で実施 している					U.0		送訓練を失肥し(いる。				団登録メールによる連絡体制を		団登録メールによる連絡体制	を	訓練を実施する		に合わせ訓練を継続して実力 ている	eL.	に合わせ訓練を継続して実施 ている	æ
認と伝達訓練の実施																取っている。伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火		取っている。伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火	ře.						
	・連絡体制を確保する	·H28年度	・H32年度 ・消防団が水防団を兼務し連	絡 〇	消防団が水防団を兼務し連絡体制は火災対応や訓練で実施	9 0	連絡体制は確保済	·H28年度	·H32年度	・通信訓練の実施	0		ē •	・水防組合による会議・訓練に より連絡体制を確保している	·H28年度 ·H32年度	災現場等で行っている ・消防団が水防団を兼務してお	0	災担場等で行っている ・消防団が水防団を兼務しております。	0	・水防団(消防団)連絡網(連絡・水防団(消防団)連絡網(連絡・水内)	格 ·H28年度 ·H3	2年度・水防団(消防団)連絡網(連	絡〇	・水防団(消防団)連絡網(連	上絡
②水防団同士の連絡体制の確保			体制は火災対応や訓練で実施している。 している。		している	· _						達訓練を実施している。		より連附体制を埋休している		り、連絡体制は、訓練や火災現 場等で実施している		り、連絡体制は、訓練や火災 場等で実施している		体制)は既に整っている		体制)を整えており、H31.4.1 在の情報に更新した。	ж	体制)を整えており、R2.4.1現 の情報に更新した。	JAX
			消防団車両に無線機を配備		消防団車両に無線機を配備	_										・稲敷広域水防協議会により連絡体制を確保している		・稲敷広域水防協議会により。絡体制を確保している	E						
	・河川事務所が実施する重要	水 ·H28年度	・H32年度 ・河川事務所が実施する共同	同点 〇	河川事務所が実施する共同点 検へ参加。	ā O	共同点検への参加	·H28年度	·H32年度	・利根川下流管内での共同点	0	・利根川下流管内での共同点 検に参加	. •	・利根川区間の共同点検を実施	・H28年度 ・H32年度	河川事務所が実施した合同点 検に参加	0	河川事務所が実施した合同」 検に参加	á O	・合同巡視の際に、地域住民	か ·H29年度 ·H3	2年度 ・地域住民へ合同巡視の参加 要請を検討中	0	・地域住民へ合同巡視の参加要請を検討中	加
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同	洪 の国内寺の共同点検に参加・	9	検へ参加。		f来でシルム。					検に参加		快心沙川		している		19(1~397/M		1R1~397/II		参加を検討する		女師で休削中		安研で快削中	
点検																									
	・既に美浦村、稲敷市、阿見田市町村で全国の大陸訓練を	T3 ·H28年度	・H32年度 ・水防訓練を実施	0	・水防訓練を実施	0	・実施について検討する。	·H28年度	・H32年度	・利根川下流管内にて実施	0	2組合·3組合合同水防訓練 実施	ກ •	・水防組合による水防訓練に参	・H28年度 ・H32年度	・水防組合による合同水防訓練に参加	0	・水防組合による合同水防訓練に参加	ķ O	・毎年度、実施している	·H28年度 ·H3	2年度 ・R1.5.26 水防実技研修会を 施した	* O	・コロナウイルスにより未実施	疮
④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	施している	`										X16		м		103970		1-20/10				BEC/2			
味の天郎																									
	消防団が水防活動を兼務しいる。消防団員募集は、広報	て ・H28年度	・H32年度 ・広報誌やHP、地区ごとの呼 掛けを実施	FU O	・広報誌やHP、地区ごとの呼び 掛けを実施	r 0	・募集・指定の促進について検討する	← ·H31年度	・H32年度		0	ポスターの掲示及び地区ごと 呼びかけを実施している。	:o ●	・促進について検討する	・H29年度 ・H32年度	・水防協力団体の募集・指定を 検討する	0	・水防協力団体の募集・指定を 検討する	0	・水防に関し広報紙により募集 指定の促進を図っている	€・ ·H28年度 ·H3	2年度 ・香取広域消防本部の消防[員募集に合わせてホームペ	1 0	・香取広域消防本部の消防団 員募集に合わせてホームペー	Œ
⑤水防活動の担い手となる水防協 力団体の募集・指定を促進	語、HP等で実施している		1417で失ル		知りを美胞		119 %					けびかりを失能している。				(A 11 1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		trail 9 to		相定の促進を図っている		ジにて募集を実施した。		ジにて募集を実施した。	_
77回件の参照・1日だとに定																									
	建設業組合等との災害協定	締・H19年度	・H19年度 ・H22年度 ・H22年度 定締結済	『協 ●	・町内建設業組合等との災害協会	± •	・水防支援体制について検討	す・H31年度	·H32年度		0	・実施に向けた内部検討	0	・町建設業協会と災害協定を締結し支援体制を確立している	・H28年度 ・H29年度	・町建設業協会と災害協定を締 結し支援体制を確立している	•	・町建設業協会と災害協定を終い、大塚休利を確立している	*	・実施を検討する	·H28年度 ·H2	8年度・建設業協会と「地震・風水器	F. •	・建設業協会と「地震・風水害 の他の災害応急対策業務協	書そ
⑥地域の建設業者による水防支援 体制の検討・構築	문	1日22年度	· П22+皮 上神和所		上 和和 <i>开</i>		చ.							和し又族体制を唯立している		和し又弦体制を唯立している		結し支援体制を確立している				その他の災害応急対策業務 定」を締結した	Ltto	定」を締結した	,
1年前107代前11代																									
	・水防団等と情報を共有し点権	乗 ・H29年度	・H32年度 ・担当課において点検を実施 ・災害時は危険箇所の点検を	i. O	・担当課において点検を実施。・災害時は危険箇所の点検を行	0								・把握および情報共有を行う	・H29年度 ・H32年度	・危険箇所の把握・情報共有を 検討する		・危険箇所の把握・情報共有を	0	・浸水実績図の作成を検討す	る ·H29年度 ・H2	9年度・内水ハザードマップを配布し発を実施。	.啓 ●	内水ハザードマップを配布し 発を実施。	L
⑦内水被害危険箇所の把握及び 情報共有	2117		い情報を共有している	511	い情報を共有している	,										(A 11 1 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		検討する				光で美能。		光を失応。	
1月秋六午																									
策の主な取組 ③一刻+.早L	い生活再建及び社会経済	活動の回行	└────────────────────────────────────	り取組	<u> </u>	1										1	1	1			1 1	1	-		-
非水計画(案)の作成及び排																									-
	・関係機関と情報を共有して相	余 ⋅H29年度	・H32年度 ・実施に向けた内部検討	Δ	・実施に向けた内部検討	Δ														・排水ポンプの設置箇所の選	定 ·H29年度 ·H3	2年度 ・実施に向けた取り組みを継	続 Δ	実施に向けた取り組みを維	£続
①排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成	討していく					-														まで行った排水計画(案)の作成を検討する		/C4E	_		
有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成	*																								
	・水防訓練時での実施を始叶	1. ·H29年度	・H32年度 ・実施に向けた内部検討	^	・実施に向けた内部検討	Δ														・防災訓練と合同で実施する	と ・H29年度 - ロ・	2年度・実施に向けた取り組みを継	緯 ∧	・事施に向けた取り組みを維	£ 5.00
0.11.1 = 11.1	ていく	1120平段	1.05年度「大郎に門1/571時代的		~ (0 X 14 17 / 17 1 19 1 X 1)															う検討する	- 1120+12 I'll	トース 大郎に門けんれり組ので軸	- L	へのこと 門 リノルスツ 他ので 社	NOT.
②排水訓練の実施																									
1	・関係機関と結ねた北古ニア・	金 → 山20年間	・H32年度 ・実施に向けた内部検討		・実施に向けた内部検討															内水被害告除等所の申しむ	- 1429年度	2年度・実施に向けた取り組みを継	結本	・実施に向けた助い組むを継	主動
		A 11234度	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4	スポリートリリノ (CPT pP(大計)															・内小依告厄陝固所の併小訂 画(案)の作成を検討する	TIZO+技 H	- 一人 大心に同じに取り組みを組	TO	へいじに 門いた 取り組のを経れ	Jes.
③内水被害危険箇所の排水計画	別していく																			囲(条)の作成を快討する					

●:実施済み、〇:実施中(検討中を含む)、Δ:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■(-):対象外またはR2度以降実施

項目	事項	内容	実施内容		期間	敷地方広域市町村事務約 H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況
	1044	* 第の主か取組	大心的台	着手	完了	1101(111)牛皮大模	大泥水水	114十及大限	大池八八
1. /\		策の主な取組 大を河川内で安全に流す対	*						
	(1/7	マハと 河川 門 こ 女 王 に 加す 対	ж						
		①堤防整備							
		②波浪対策							
	(2)退	聲難行動、水防活動、排水活動	助に資する基盤等の整備	ŧ					
		①雨量・水位等の観測データ及び 洪水時の状況を把握・伝達するた めの基盤の整備							
		②防災行政無線の改良、防災ラジ オ等の配布							
		③水防活動を支援するための新技 術を活用した水防資機材等の配備							
		④水位計や量水標、CCTVカメラ等 の設置							
		⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家 発電装置等の耐水化							
		⑥内水被害危険箇所の対策							
	1				稏	敷地方広域市町村事務約	8슾		
項目	事項	内容	実施内容	実施 着手	期間	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況
2. ソ	フト対	 策の主な取組 ①逃げ遅れゼ	口に向けた迅速かつ的			の取組			
	(1)戊	「域避難を考慮したハザードマ	アップの作成・周知等						
		①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表							
		①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表							
		定区域図の公表 ② 想定最大規模降雨による氾濫							
		定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表							
		定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマッ							
		定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 50まるごとまちごとハザードマップ							
	(2)遏	定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画	イムラインの作成						
	(2)遏	定区域図の公表 ②想定量大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成。周知等 ⑤変配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	イムラインの作成						
	(2)遏	定区域図の公表 ②想定最大規模除雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成。周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 建難勧告の発令に着目したター 〔汲難勧告の発令に着目したター	イムラインの作成						

●:実施済み、〇:実施中(検討中を含む)、Δ:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■(-):対象外またはR2度以降実施

項目₽		内容	む)、 △:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■(-):対象外またはR2度以降実施 稲敷地方広域市町村事務組合						
	事項		実施内容	実施 着手	期間 完了	H31(R1)年度実績	実施状況	R2年度実績	実施状況
	(3)财	が災教育や防災知識の普及			,,,,	11.			
		①水災害に事前準備に関する問い 合わせ窓口の設置							
		②水防災に関する説明会の開催							
		③教員を対象とした講習会の実施							
		④小学生を対象とした防災教育の 実施							
		⑤出前講座等を活用した講習会の 実施							
		⑥プッシュ型の洪水予報等の情報 発信							
		⑦水位計やライブカメラ等の情報を リアルタイムで提供							
		⑧許可工作物管理者への防災教育の実施							
2. ソ.	ナ対対	策の主な取組 ②洪水氾濫に	よる被害の軽減、避難時	間の確保	のための	水防活動の取組			
	(1)よ	り効果的な水防活動の実施	及び水防体制の強化						
		①水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施							
		②水防団同士の連絡体制の確保							
		③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同 点検		•H28年度		・河川事務所が実施する重要水 防箇所等の共同点検に消防本 部が参加(R1.6)	0	・河川事務所が実施する共同点 検に参加していたが、コロナウ イルスの感染拡大により、R2年 度は消防本部のみで点検を	0
		④関係機関が連携した実働水防訓 練の実施	・年1回霞ケ浦地区水防訓練を 実施	•H28年度	・H32年度	・美浦村、稲敷市、阿見町3市町村で合同の水防訓練に消防本部が参加(R1.6)	0	・例年実施している霞ヶ浦地区 水防訓練が、コロナウイルスの 感染拡大をうけ中止となった。	0
		⑤水防活動の担い手となる水防協 力団体の募集・指定を促進							
		⑥地域の建設業者による水防支援 体制の検討・構築							
		⑦内水被害危険箇所の把握及び 情報共有							
2. ソ.	アント対象	策の主な取組 ③一刻も早い	生活再建及び社会経済活	動の回行	复を可能と	するための排水活動の取	双組		
	(1)排	非水計画(案)の作成及び排水 「	(訓練の実施						
		①排水機場・樋門・水門等の情報共 有、排水手法等の検討を行い、大規模 水害を想定した排水計画(案)を作成							
		②排水訓練の実施							
		③内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成							